

	NS2-添2-001-07改02
	&\$&& 10 月 3 日

VI-2-1-7 設計用床応答スペクトルの作成方針

S2 補 VI-2-1-7 R0

2022 年 10 月

中国電力株式会社

目 次

1. 概要	1
2. 設計用床応答スペクトル及び設計用震度作成に係る基本方針及び作成方法	1
2.1 基本方針	1
2.1.1 設計用床応答スペクトル	1
2.1.2 設計用震度	1
2.2 作成方法	5
2.2.1 応答スペクトルの作成方法	5
2.2.2 設計用床応答スペクトル及び設計用震度の作成方法	6
2.2.3 設計用床応答スペクトル及び設計用震度の作成位置	8
2.2.4 設計用床応答スペクトル及び設計用震度の適用方法	8
3. 地震応答解析モデル	10
4. 設計用床応答スペクトル及び設計用震度	52
4.1 弾性設計用地震動 S_d	52
4.2 基準地震動 S_s	54
4.3 余震荷重を算定するための地震動	56

1. 概要

本資料は、VI-2-1-1「耐震設計の基本方針」のうち「4. 設計用地震力」に基づき、機器・配管系の動的解析に用いる設計用床応答スペクトルの作成方針及びその方針に基づき作成した設計用床応答スペクトルに関して説明するものである。

また、機器・配管系の静的解析に用いる設計用震度及び静的震度についても併せて説明する。

2. 設計用床応答スペクトル及び設計用震度作成に係る基本方針及び作成方法

2.1 基本方針

2.1.1 設計用床応答スペクトル

(1) VI-2-1-6「地震応答解析の基本方針」のうち「2. 地震応答解析の方針」に基づき策定した各原子炉施設の解析モデルに対して、入力地震動を用いた基本ケース*の時刻歴応答解析を行い、各質点位置における加速度応答時刻歴を求める。

入力地震動は、

VI-2-1-2「基準地震動 S_s 及び弾性設計用地震動 S_d の策定概要」に基づくものとして、表2-1及び表2-2に示す。

注記*：各施設の地震応答計算書に記載する解析ケースのうち「基本ケース」を示す。

- (2) (1)で求めた各質点の加速度応答時刻歴を入力として、減衰付1自由度系の応答スペクトルを必要な減衰定数の値に対して求め、床応答スペクトルを作成する。
- (3) (2)で求めた床応答スペクトルに対し、各施設の固有周期のシフトを考慮し、周期方向に±10%の拡幅を行う。
- (4) (3)で求めた床応答スペクトルに対し、材料物性の不確かさ（地盤物性の不確かさ）を考慮して設定した条件を設計用床応答スペクトルⅠとする。
- (5) (3)で求めた床応答スペクトルの震度に対して、すべての固有周期にわたって一律に1.5以上の係数を乗じて設定した条件を設計用床応答スペクトルⅡとする。適用する係数は設計用床応答スペクトルⅡのすべての固有周期における震度が設計用床応答スペクトルⅠ以上となるように設定する。
- (6) 評価作業の合理化や保守的な条件で評価を行うことを目的として(4)及び(5)以外の条件を適用する場合、すべての固有周期における震度が設計用床応答スペクトルⅠ（又は設計用床応答スペクトルⅡ）を上回る床応答スペクトルを適用する。
- (7) 設計用床応答スペクトルⅠ及びⅡ並びに設計用床応答スペクトルⅠ（又は設計用床応答スペクトルⅡ）を上回る床応答スペクトルを総称して、設計用床応答スペクトルという。

2.1.2 設計用震度

- (1) 2.1.1(1)で求めた各質点の加速度応答時刻歴の最大値（最大応答加速度）に対し、材料物性の不確かさ（地盤物性の不確かさ）を考慮して設定した条件を設計

用震度Ⅰとする。

- (2) 2.1.1(1)で求めた最大応答加速度に1.5以上の係数を乗じて設定した条件を設計用震度Ⅱとする。適用する係数は設計用震度Ⅱが設計用震度Ⅰ以上となるように設定する。
- (3) 評価作業の合理化や保守的な条件で評価を行うことを目的として(1)及び(2)以外の条件を適用する場合、設計用震度Ⅰ（又は設計用震度Ⅱ）を上回る震度を適用する。
- (4) 設計用震度Ⅰ及びⅡ並びに設計用震度Ⅰ（又は設計用震度Ⅱ）を上回る震度を総称して、設計用震度という。

表 2-1 入力地震動（基準地震動 S s）

基準地震動 S s			最大加速度 (cm/s ²)		
			水平方向	鉛直方向	
Ss-D		応答スペクトル手法による基準地震動		820	547
Ss-F1	敷地ごとに震源を特定して策定する地震動による基準地震動	断層モデル手法による基準地震動	宍道断層による地震の中越沖地震の短周期レベルの不確かさ 破壊開始点 5	549 (NS) 560 (EW)	337
Ss-F2			宍道断層による地震の中越沖地震の短周期レベルの不確かさ 破壊開始点 6	522 (NS) 777 (EW)	
Ss-N1	震源を特定せず策定する地震動による基準地震動	2004 年北海道留萌支庁南部地震 (K-NET 港町) の検討結果に保守性を考慮した地震動		620	320
Ss-N2	震源を特定せず策定する地震動による基準地震動	2000 年鳥取県西部地震の賀祥ダム (監査廊) の観測記録		528 (NS) 531 (EW)	485

S2 補 VI-2-1-7 R0

表 2-2 入力地震動（弾性設計用地震動 S d）

弾性設計用地震動 S d	最大加速度 (cm/s ²)	
	水平方向	鉛直方向
Sd-D	410	274
Sd-F1	274 (NS) 280 (EW)	169
Sd-F2	261 (NS) 389 (EW)	213
Sd-N1	310	160
Sd-N2	264 (NS) 266 (EW)	243
Sd-1	320	214

2.2 作成方法

2.2.1 応答スペクトルの作成方法

(1) 解析方法

2.1.1(1)で述べた方針で時刻歴応答解析を行い、各モデルの各質点における加速度応答時刻歴を求める。この加速度応答時刻歴を入力波として応答スペクトルを作成する。すなわち、入力波の絶対加速度を \ddot{Y}_i とおけば、質点系の振動方程式は、

$$\ddot{Z}_i + 2 \cdot h \cdot \omega \cdot \dot{Z}_i + \omega^2 \cdot Z_i = -\ddot{Y}_i \quad \dots\dots\dots (2. 1)$$

ただし、

ω : 質点系の固有円振動数

Z_i : i 質点上の質点の相対変位

h : 減衰定数

地震の間の $\ddot{Y}_i + \ddot{Z}_i$ の最大値を ω 及び h をパラメータとして求め、応答スペクトルを作成する。応答スペクトルの作成には、「S e i s m i c A n a l y s i s S y s t e m (S A S)」を使用し、解析コードの検証及び妥当性確認等の概要については、VI-5「計算機プログラム（解析コード）の概要」に示す。

(2) 減衰定数

応答スペクトルは、VI-2-1-6「地震応答解析の基本方針」の機器・配管系の減衰定数を用いて作成する。

(3) 数値計算用諸元

固有周期作成幅	0.05～1.0s
固有周期計算間隔	
0.05 ～ 0.1 s	$\Delta \omega = 4.0(\text{rad/s})$
0.1 ～ 0.15s	$\Delta \omega = 1.5(\text{rad/s})$
0.15 ～ 0.3 s	$\Delta \omega = 0.8(\text{rad/s})$
0.3 ～ 0.6 s	$\Delta \omega = 0.6(\text{rad/s})$
0.6 ～ 1.0 s	$\Delta \omega = 0.5(\text{rad/s})$

2.2.2 設計用床応答スペクトル及び設計用震度の作成方法

(1) 設計用床応答スペクトル

設計用床応答スペクトルⅠは、基準地震動 S_s 又は弾性設計用地震動 S_d による各原子炉施設の基本ケースの時刻歴応答解析から得られる応答波を用いて作成した応答スペクトルを固有周期の多少のずれにより、応答に大幅な変化が生じないう周期軸方向に±10%の拡幅を行うとともに、材料物性の不確かさ（地盤物性の不確かさ）を考慮して作成した床応答スペクトルである。

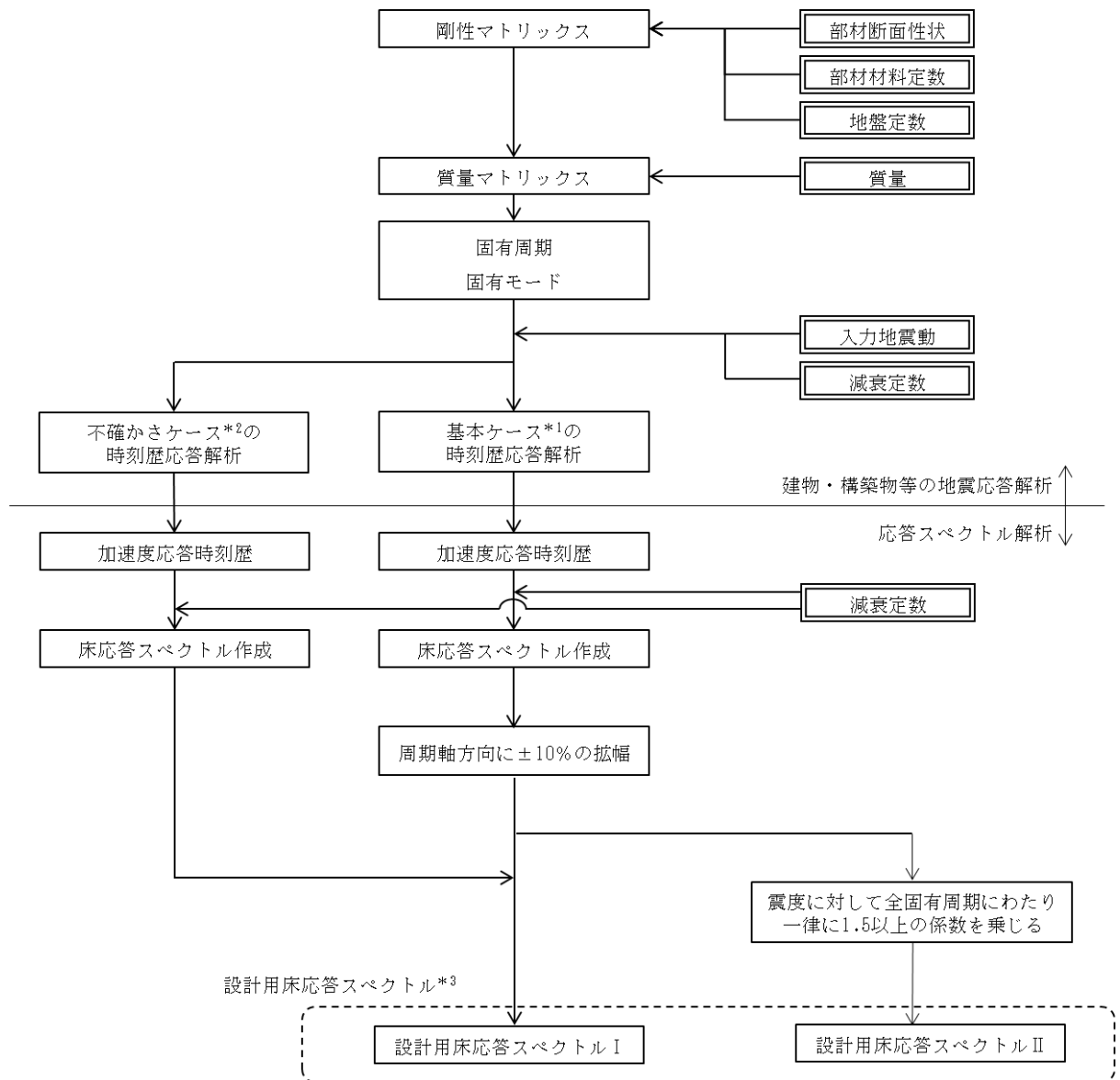
設計用床応答スペクトルⅡは、設計用床応答スペクトルⅠに対して余裕のある条件により機器・配管系の耐震設計を行うことを目的として作成した床応答スペクトルであり、2.1.1(3)の床応答スペクトルの震度に対して、すべての固有周期にわたって一律に1.5の係数を乗じて作成したものである。ただし、係数1.5を乗じて作成した床応答スペクトルが設計用床応答スペクトルⅠを包絡しない場合には、設計用床応答スペクトルⅡが設計用床応答スペクトルⅠを包絡するように1.5を上回る係数を設定する。

設計用床応答スペクトルの作成方法を図2-1に示す。

(2) 設計用震度

設計用震度Ⅰは、基準地震動 S_s 又は弾性設計用地震動 S_d による各原子炉施設の基本ケースの時刻歴応答解析から得られる応答波の最大値（最大応答加速度）に材料物性の不確かさ（地盤物性の不確かさ）を考慮して設定した震度である。

設計用震度Ⅱは、設計用震度Ⅰに対して余裕のある条件により機器・配管系の耐震設計を行うことを目的として作成した震度であり、2.1.1(1)の最大応答加速度に1.5の係数を乗じて作成したものである。ただし、係数1.5を乗じて作成した震度が設計用震度Ⅰを包絡しない場合には、設計用震度Ⅱが設計用震度Ⅰを包絡するように1.5を上回る係数を設定する。



注記*1：各施設の地震応答計算書に記載する解析ケースのうち「基本ケース」を示す。
 *2：各施設の地震応答計算書に記載する解析ケースのうち「不確かさケース」（地盤物性 $\pm\sigma$ ）を示す。
 *3：設計用床応答スペクトルⅠ（又は設計用床応答スペクトルⅡ）を上回る床応答スペクトルを含む。

: インプット

図 2-1 設計用床応答スペクトルの作成方法

2.2.3 設計用床応答スペクトル及び設計用震度の作成位置

図3-1～図3-14の解析モデルについて設計用床応答スペクトル及び設計用震度を作成する。

2.2.4 設計用床応答スペクトル及び設計用震度の適用方法

(1) 概要

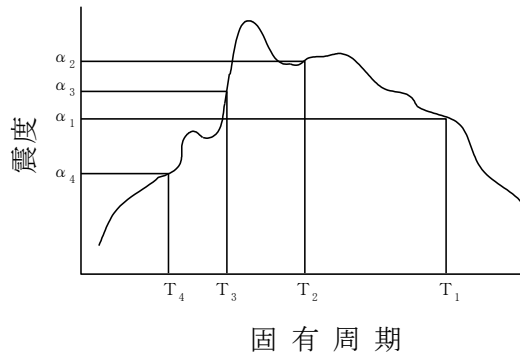
機器・配管系の動的地震力を求める場合は、それぞれの据付位置における設計用床応答スペクトル又は設計用震度を使用して適用震度を定める。この場合、以下の運用方法に従う。

(2) 運用方法

a. 設計用床応答スペクトル

- (a) 設計用床応答スペクトルⅠ，設計用床応答スペクトルⅡ，設計用床応答スペクトルⅠを上回る床応答スペクトル，又は設計用床応答スペクトルⅡを上回る床応答スペクトルを用いる。
- (b) 振動方向に合わせ水平方向及び鉛直方向の各方向の設計用床応答スペクトルを使用する。
- (c) 建物・構築物等床より自立する機器・配管系については，設置階の設計用床応答スペクトルを用い，建物・構築物等壁より支持される機器・配管系及び建物・構築物等中間階に設置される機器・配管系については，上下階の設計用床応答スペクトルのうち安全側のものを用いるものとする。また，建物・構築物等上下階を貫通する配管系及び異なる建物・構築物等を渡る配管系については，それぞれの据付位置の設計用床応答スペクトルのうち安全側のものを用いるものとする。ただし，設計用床応答スペクトルの運用において合理性が示される場合には，その方法を採用できるものとする。

- (d) 設計用床応答スペクトルを用いて動的解析を行う場合には、以下に示す方法によりモード合成を行うものとする。



T_s : S 次の固有周期

α_s : T_s に対応する震度

ϕ_{si} : i 質点における S 次の固有
ベクトルの成分

β_s : S 次の刺激係数

A_i : i 質点の設計震度

$$A_i = \sqrt{\sum_{S=1}^n (\beta_s \cdot \phi_{si} \cdot \alpha_s)^2}$$

b. 設計用震度

- (a) 設計用震度Ⅰ，設計用震度Ⅱ，設計用震度Ⅰを上回る震度又は設計用震度Ⅱを上回る震度を用いる。
- (b) 振動方向に合わせ水平方向及び鉛直方向の各方向の設計用震度を使用する。
- (c) 建物・構築物等床より自立する機器・配管系については、設置階の設計用震度を用い、建物・構築物等壁より支持される機器・配管系及び建物・構築物等中間階に設置される機器・配管系については、上下階の設計用震度のうち安全側のものを用いるものとする。また、建物・構築物等上下階を貫通する配管系及び異なる建物・構築物等を渡る配管系については、それぞれの据付位置の設計用震度のうち安全側のものを用いるものとする。ただし、設計用震度の運用において合理性が示される場合には、その方法を採用できるものとする。

3. 地震応答解析モデル

(1) 原子炉建物

原子炉建物の地震応答解析モデルにはVI-2-2-2「原子炉建物の地震応答計算書」に示す解析モデルを用いる。水平方向の地震応答解析モデルを図3-1(1)及び図3-1(2)に、鉛直方向の地震応答解析モデルを図3-1(3)に示す。

(2) 炉心，原子炉圧力容器及び原子炉内部構造物並びに原子炉本体基礎

炉心，原子炉圧力容器，原子炉内部構造物並びに原子炉格納容器及び原子炉圧力容器ペDESTAL等の地震応答解析モデルにはVI-2-2-1「炉心，原子炉圧力容器及び原子炉内部構造物並びに原子炉本体の基礎の地震応答計算書」に示す解析モデルを用いる。水平方向の地震応答解析モデルを図3-2(1)及び図3-2(2)に、鉛直方向の地震応答解析モデルを図3-2(3)に示す。

(3) 制御室建物

制御室建物の地震応答解析モデルにはVI-2-2-5「制御室建物の地震応答計算書」に示す解析モデルを用いる。水平方向の地震応答解析モデルを図3-3(1)及び図3-3(2)に、鉛直方向の地震応答解析モデルを図3-3(3)に示す。

(4) タービン建物

タービン建物の地震応答解析モデルにはVI-2-2-7「タービン建物の地震応答計算書」に示す解析モデルを用いる。水平方向の地震応答解析モデルを図3-4(1)及び図3-4(2)に、鉛直方向の地震応答解析モデルを図3-4(3)に示す。

(5) 廃棄物処理建物

廃棄物処理建物の地震応答解析モデルにはVI-2-2-9「廃棄物処理建物の地震応答計算書」に示す解析モデルを用いる。水平方向の地震応答解析モデルを図3-5(1)及び図3-5(2)に、鉛直方向の地震応答解析モデルを図3-5(3)に示す。

(6) 排気筒

排気筒の地震応答解析モデルにはVI-2-2-13「排気筒の地震応答計算書」に示す解析モデルを用いる。水平方向及び鉛直方向の地震応答解析モデルを図3-6に示す。

(7) 取水槽

取水槽の地震応答解析モデルにはVI-2-2-18「取水槽の地震応答計算書」に示す解析モデルを用いる。NS断面の地震応答解析モデルを図3-7(1)に、加速度応答算出位置を図3-7(2)に示し、EW断面（海水ポンプエリア）の地震応答解析モデルを図3-7(3)に、加速度応答算出位置を図3-7(4)に示す。

(8) 屋外配管ダクト（タービン建物～排気筒）

屋外配管ダクト（タービン建物～排気筒）の地震応答解析モデルにはVI-2-2-20「屋外配管ダクト（タービン建物～排気筒）の地震応答計算書」に示す解析モデルを用いる。地震応答解析モデルを図3-8(1)に、加速度応答算出位置を図3-8(2)に示す。

(9) 緊急時対策所

緊急時対策所の地震応答解析モデルにはVI-2-2-11「緊急時対策所の地震応答計算書」に示す解析モデルを用いる。水平方向の地震応答解析モデルを図3-9(1)に、鉛直方向の地震応答解析モデルを図3-9(2)に示す。

(10) ガスタービン発電機建物

ガスタービン発電機建物の地震応答解析モデルにはVI-2-2-16「ガスタービン発電機建物の地震応答計算書」に示す解析モデルを用いる。水平方向の地震応答解析モデルを図3-10(1)に、鉛直方向の地震応答解析モデルを図3-10(2)に示す。

(11) 第1ベントフィルタ格納槽

第1ベントフィルタ格納槽の地震応答解析モデルにはVI-2-2-30「第1ベントフィルタ格納槽の地震応答計算書」に示す解析モデルを用いる。NS断面（銀ゼオライト容器エリア）の地震応答解析モデルを図3-11(1)に、加速度応答算出位置を図3-11(2)に示し、NS断面（スクラバ容器エリア）の地震応答解析モデルを図3-11(3)に、加速度応答算出位置を図3-11(4)に示す。また、EW断面の地震応答解析モデルを図3-11(5)に、加速度応答算出位置を図3-11(6)に示す。

(12) 低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽

低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽の地震応答解析モデルにはVI-2-2-32「低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽の地震応答計算書」に示す解析モデルを用いる。NS断面（水室）の地震応答解析モデルを図3-12(1)に、加速度応答算出位置を図3-12(2)に示し、NS断面（ポンプ室）の地震応答解析モデルを図3-12(3)に、加速度応答算出位置を図3-12(4)に示す。また、EW断面の地震応答解析モデルを図3-12(5)に、加速度応答算出位置を図3-12(6)に示す。

(13) ガスタービン発電機用軽油タンク基礎

ガスタービン発電機用軽油タンク基礎の地震応答解析モデルにはVI-2-2-35「ガスタービン発電機用軽油タンク基礎の地震応答計算書」に示す解析モデルを用いる。水平方向の地震応答解析モデルを図3-13(1)に、鉛直方向の地震応答解析モデルを図3-13(2)に示す。

(14) 屋外配管ダクト（ガスタービン発電機用軽油タンク～ガスタービン発電機）

屋外配管ダクト（ガスタービン発電機用軽油タンク～ガスタービン発電機）の地震応答解析モデルにはVI-2-2-37「屋外配管ダクト（ガスタービン発電機用軽油タンク～ガスタービン発電機）の地震応答計算書」に示す解析モデルを用いる。地震応答解析モデルを図3-14(1)に、加速度応答算出位置を図3-14(2)に示す。

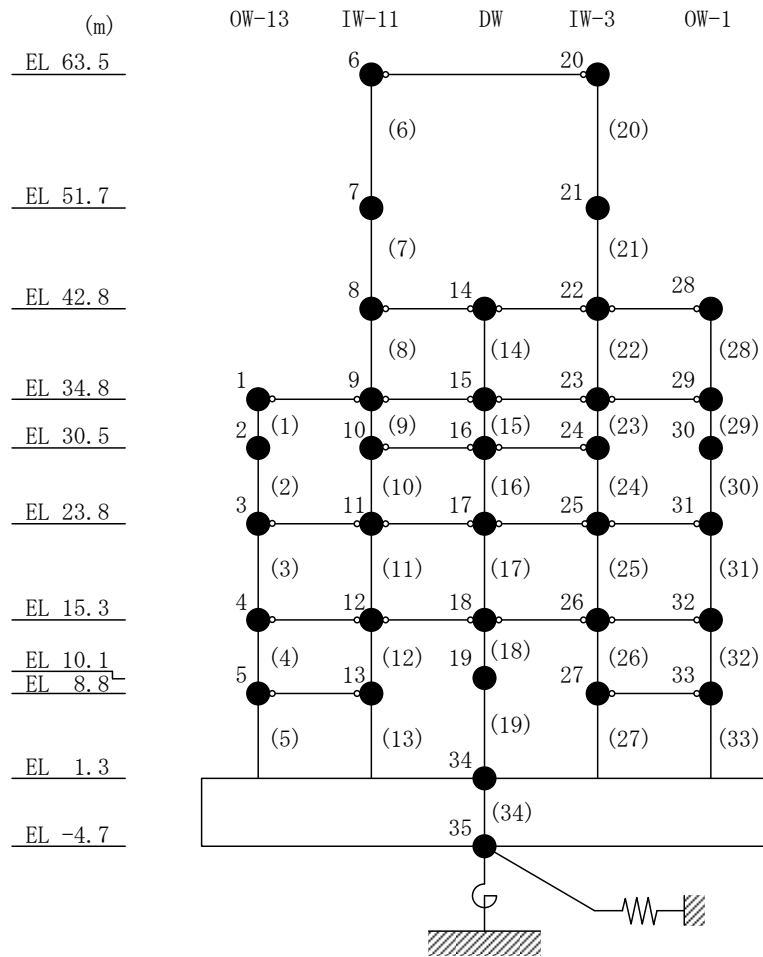


図 3-1(1) 原子炉建物地震応答解析モデル (水平方向 (NS 方向))

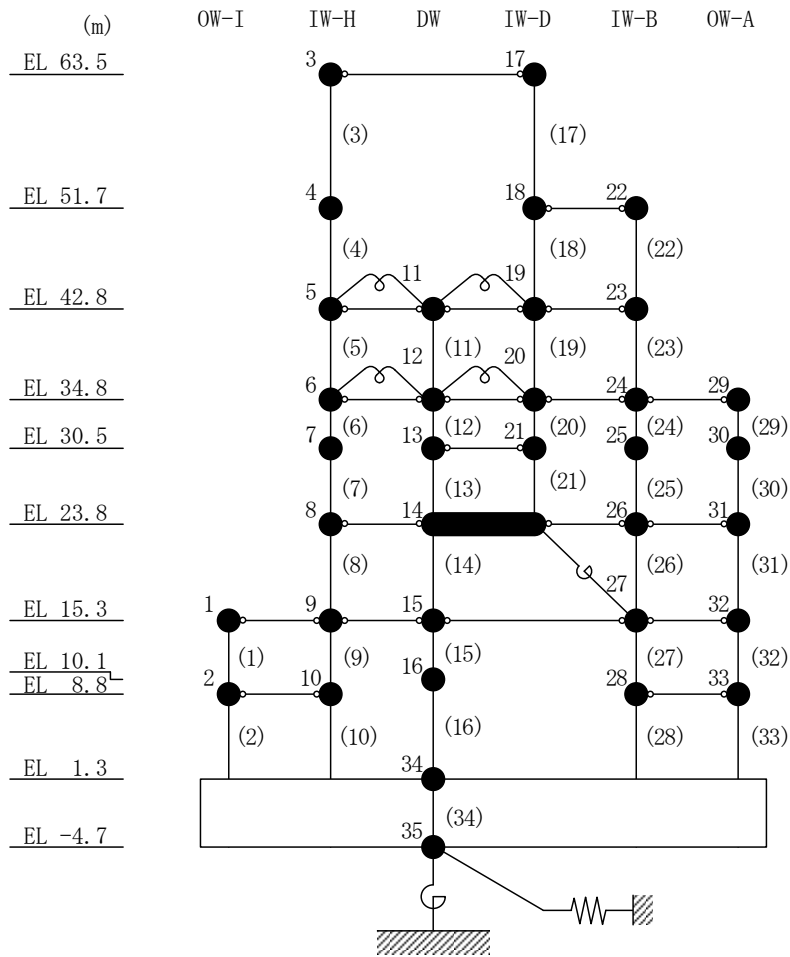


図 3-1(2) 原子炉建物地震応答解析モデル (水平方向 (EW方向))

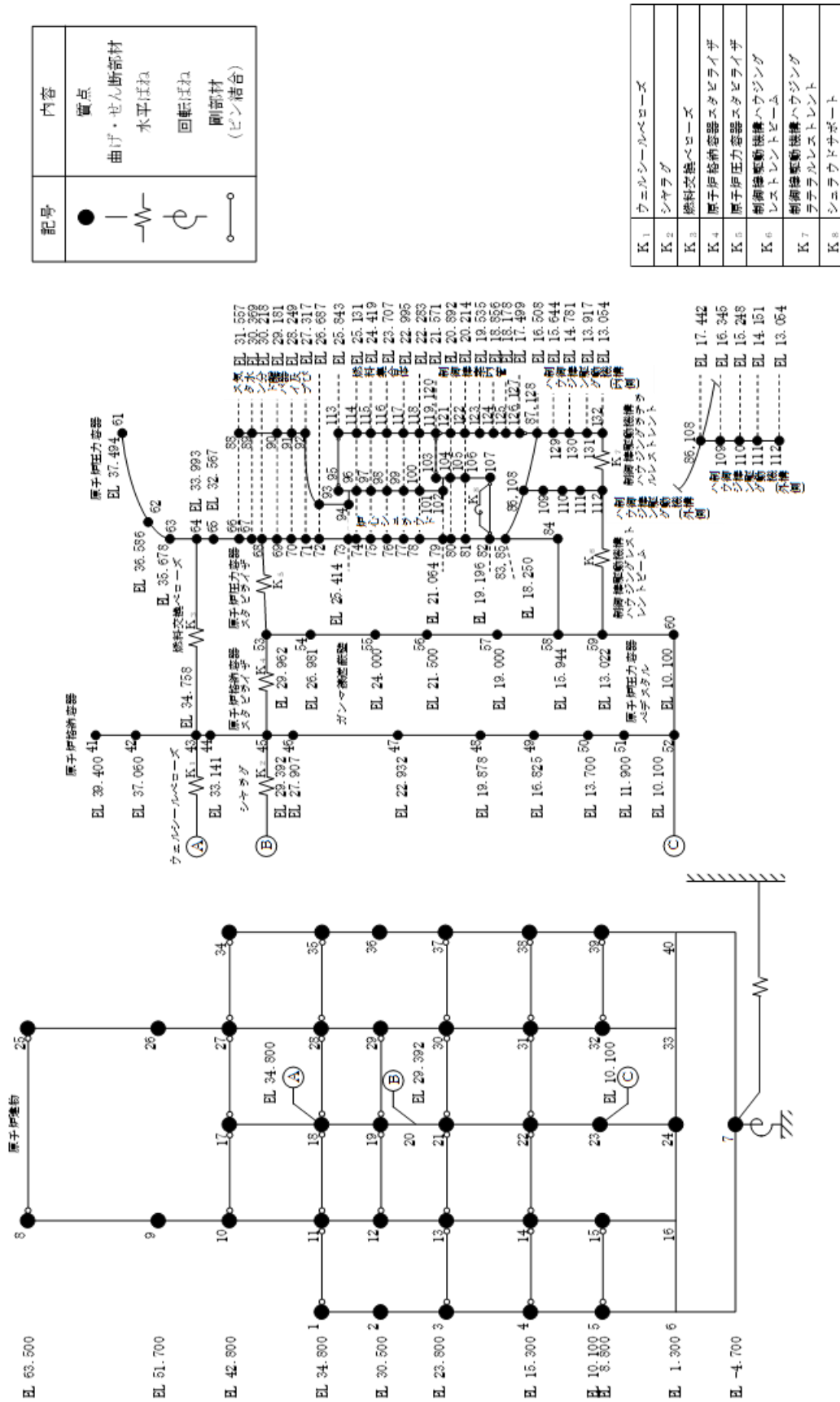


図 3-2(1) 原子炉本体地震応答解析モデル (水平方向 (NS 方向)) (単位 : m)

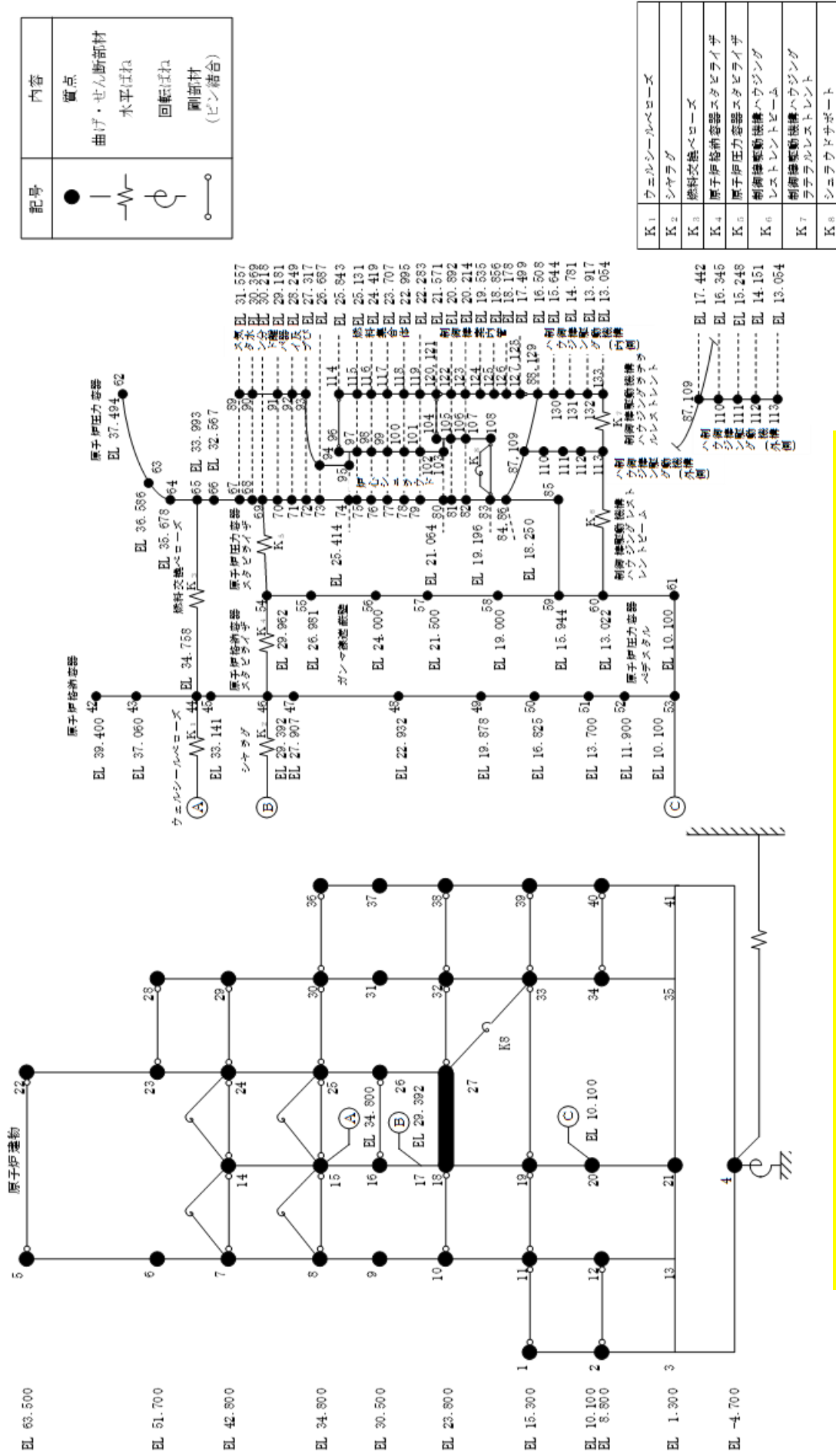


図 3-2(2) 原子炉本体地震応答解析モデル (水平方向 (E-W方向)) (単位: m)

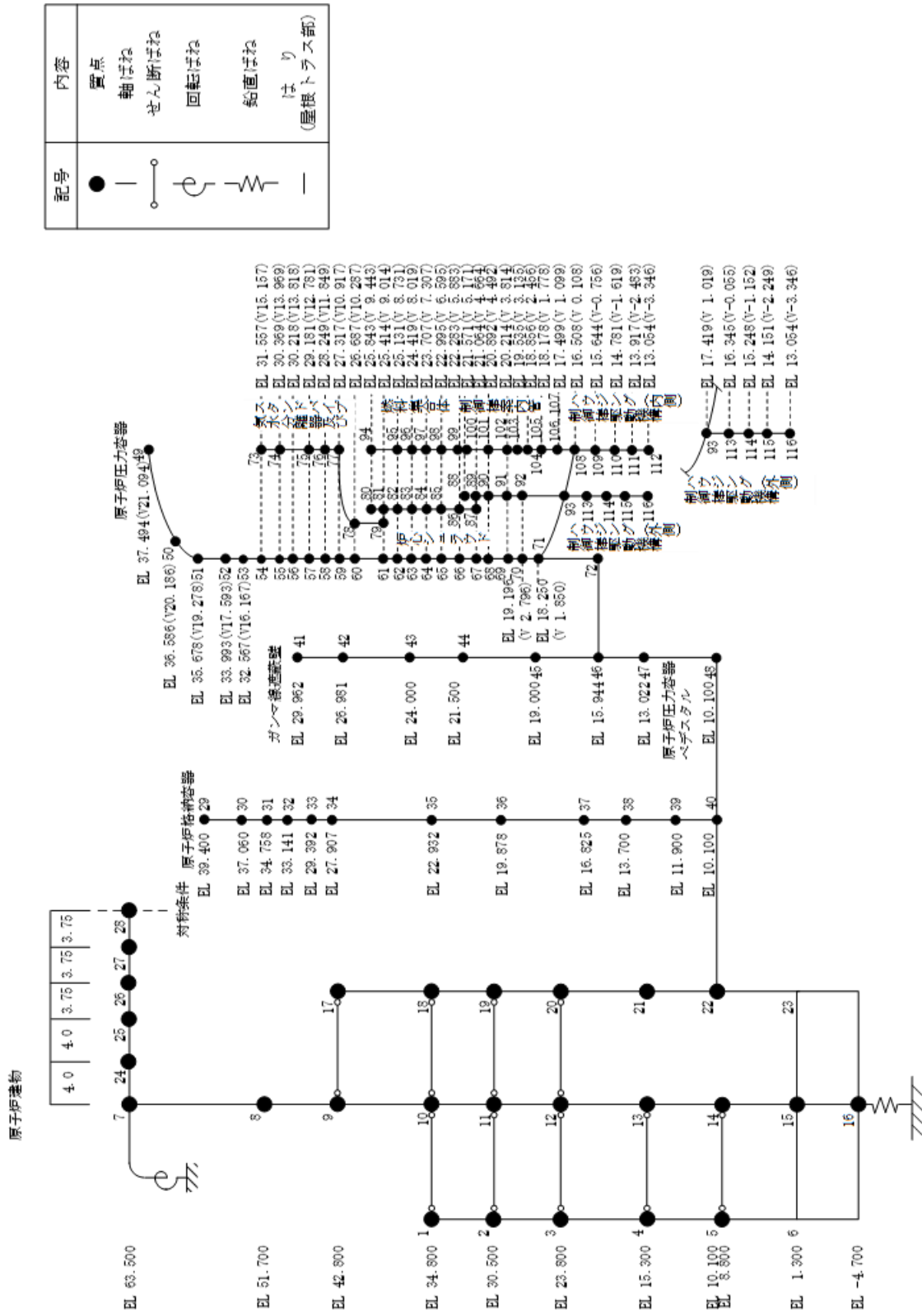


図 3-2(3) 原子炉本体地震応答解析モデル (鉛直方向) (単位: m)

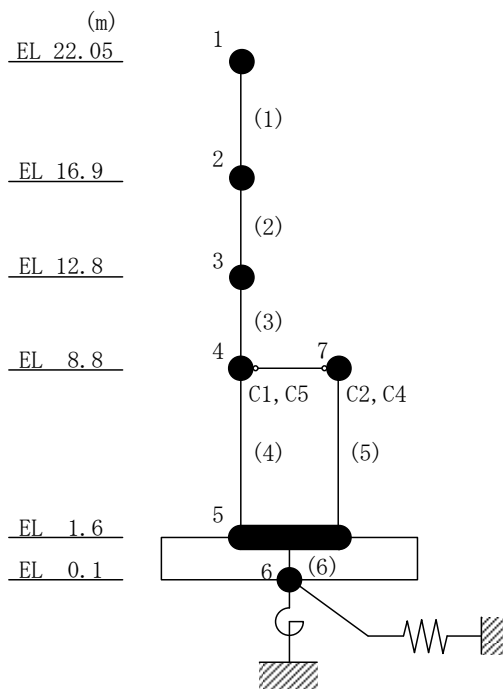


図 3-3(1) 制御室建物地震応答解析モデル（水平方向（N S 方向））

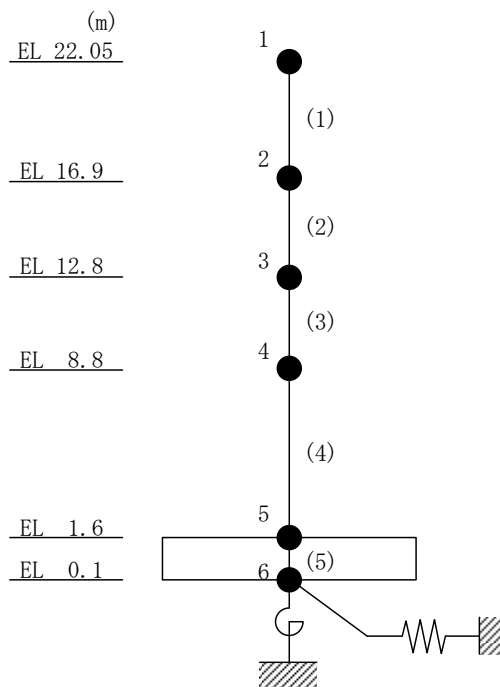


図 3-3(2) 制御室建物地震応答解析モデル（水平方向（E W 方向））

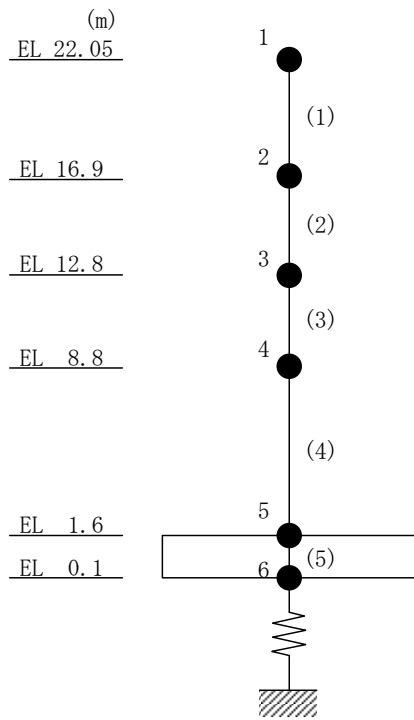


図 3-3(3) 制御室建物地震応答解析モデル (鉛直方向)

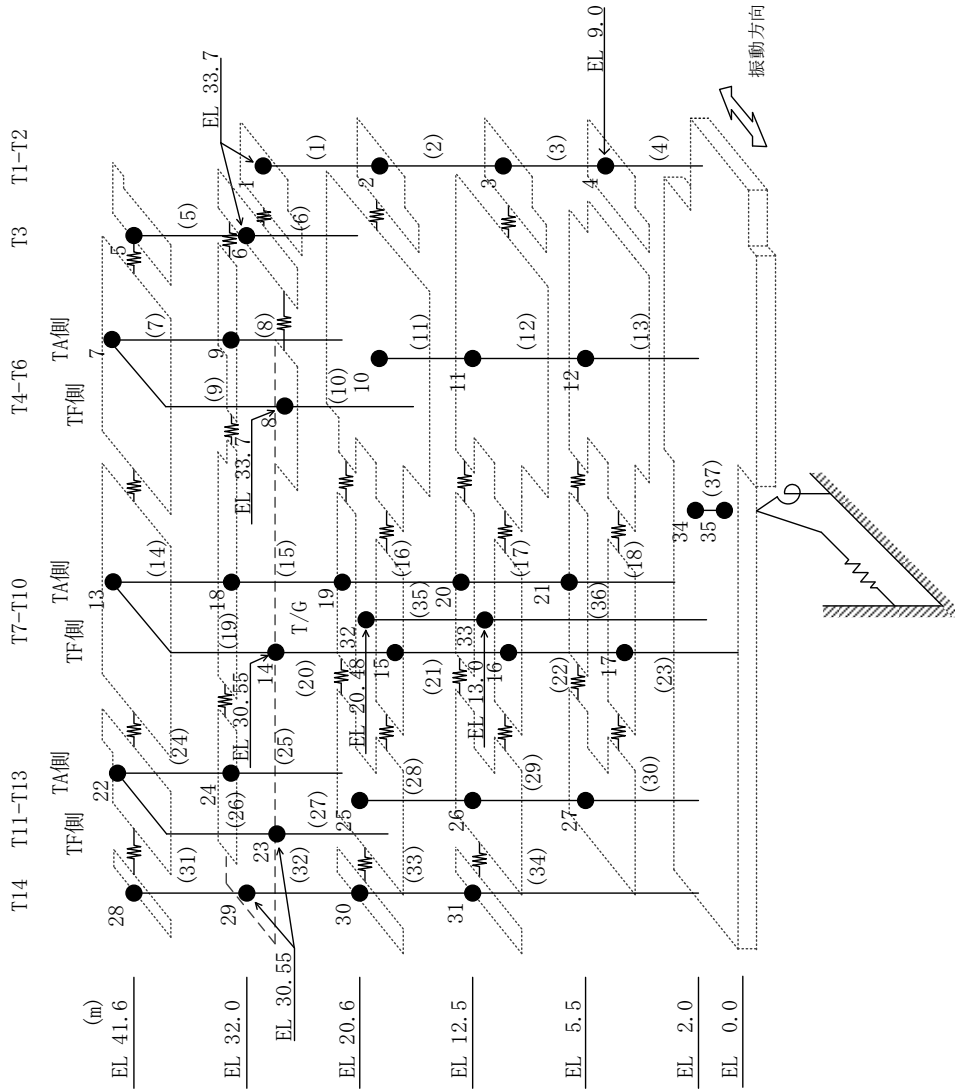


図 3-4(1) タービン建物地震応答解析モデル (水平方向 (NS 方向))

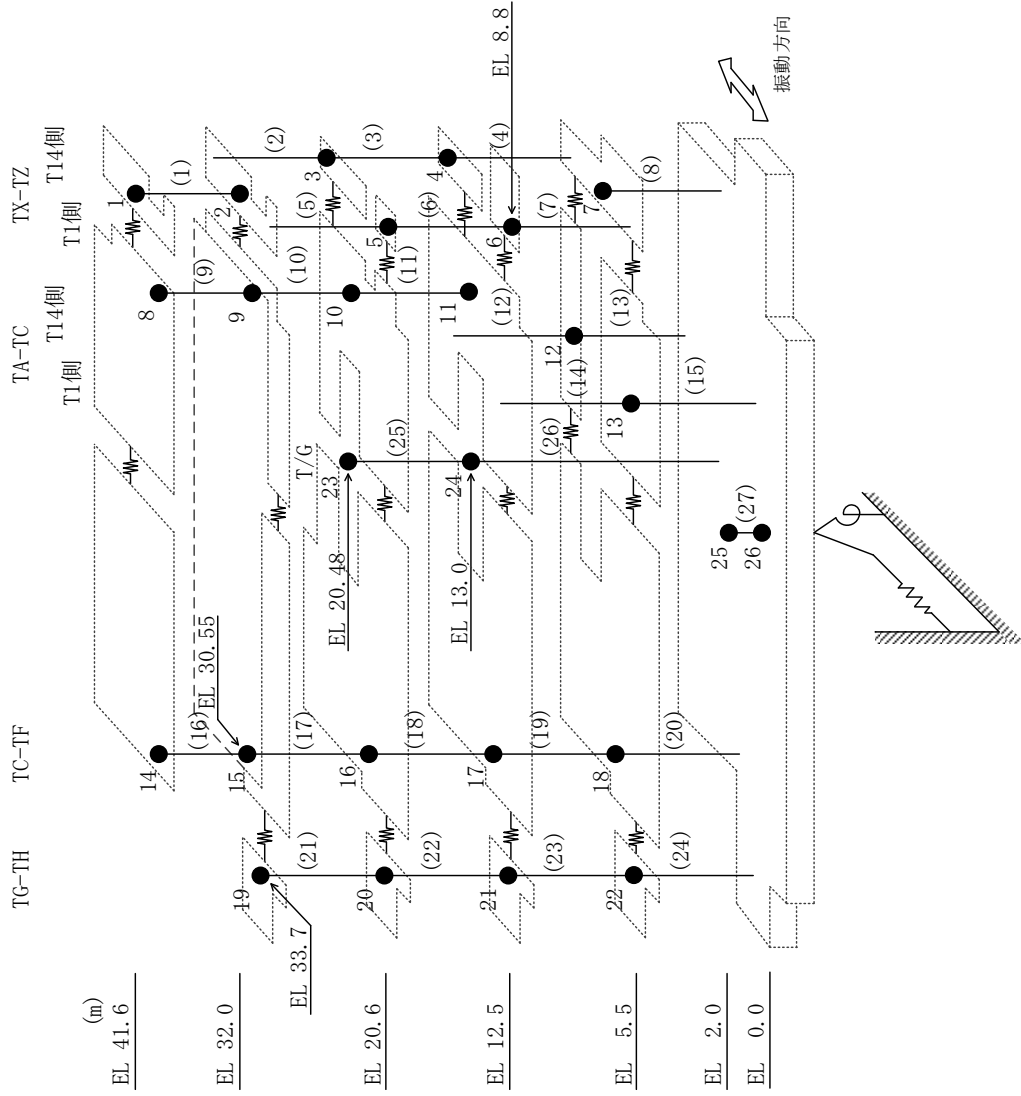


図 3-4 (2) タービン建物地震応答解析モデル (水平方向 (E-W方向))

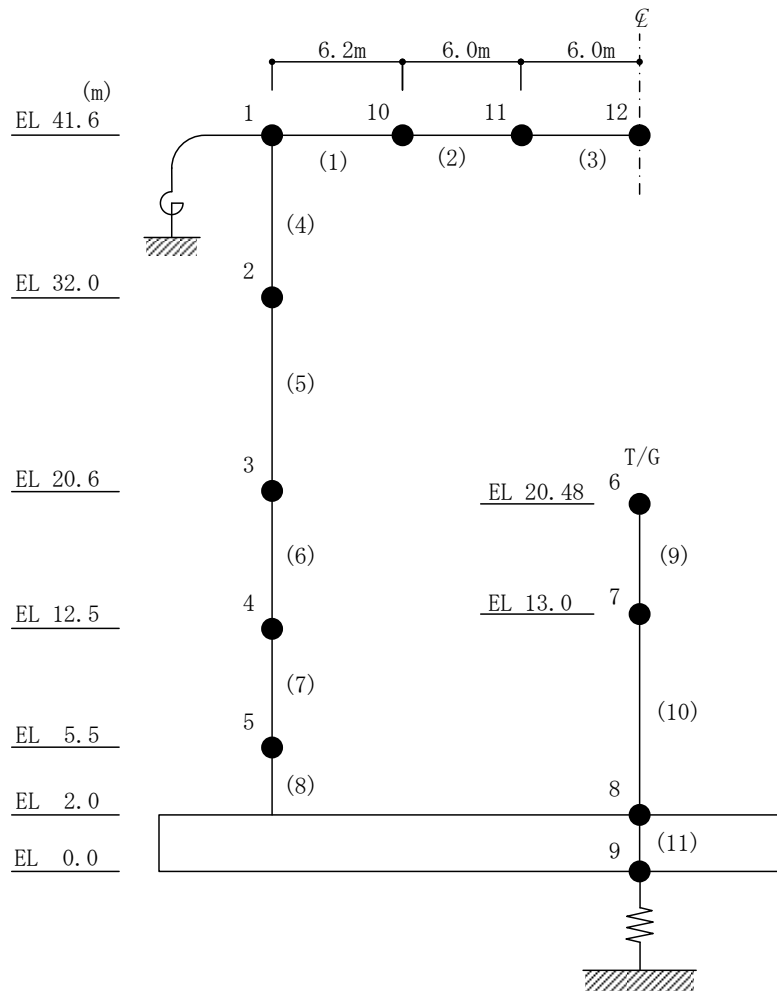


図 3-4(3) タービン建物地震応答解析モデル (鉛直方向)

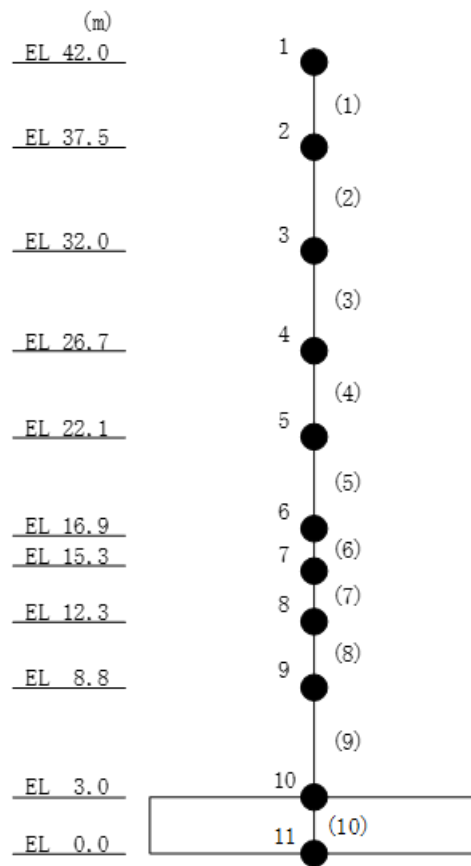
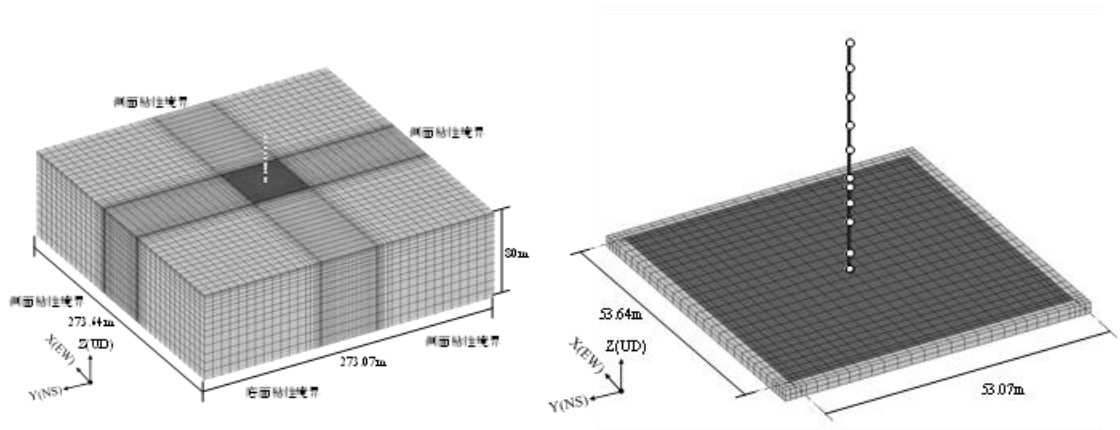


図 3-5(1) 廃棄物処理建物地震応答解析モデル
(水平方向 (NS 方向方向))

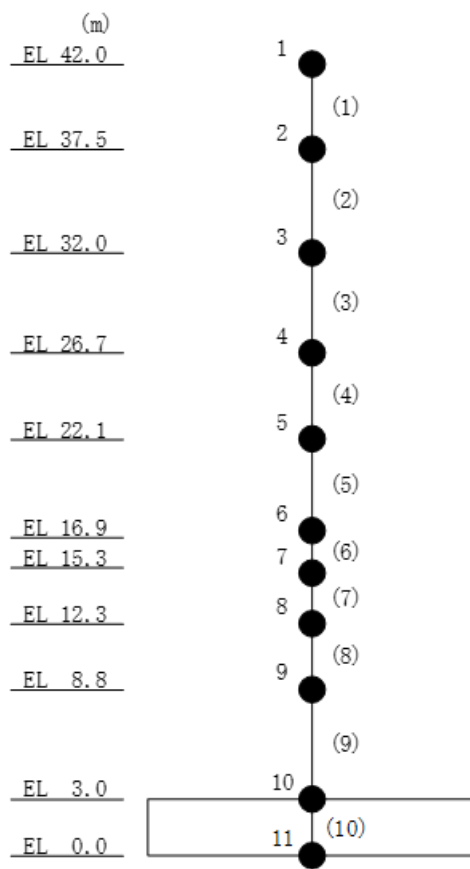
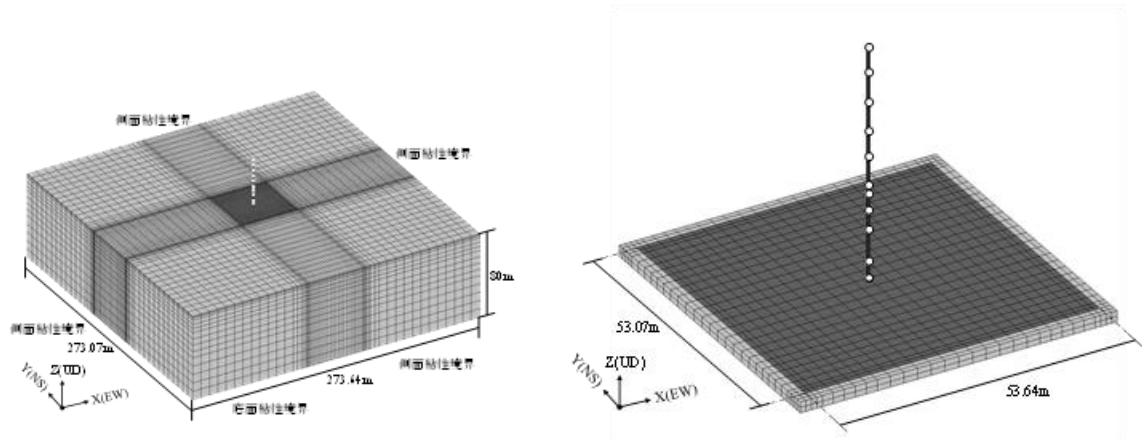


図 3-5(2) 廃棄物処理建物地震応答解析モデル
(水平方向 (E W方向))

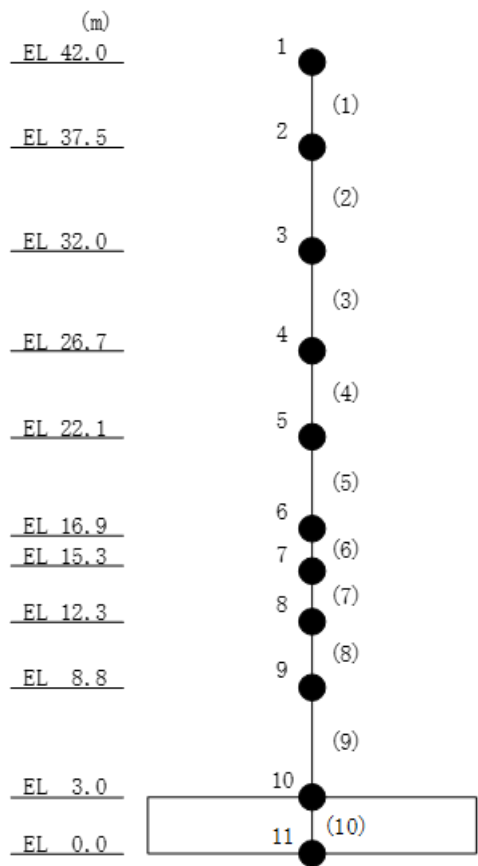
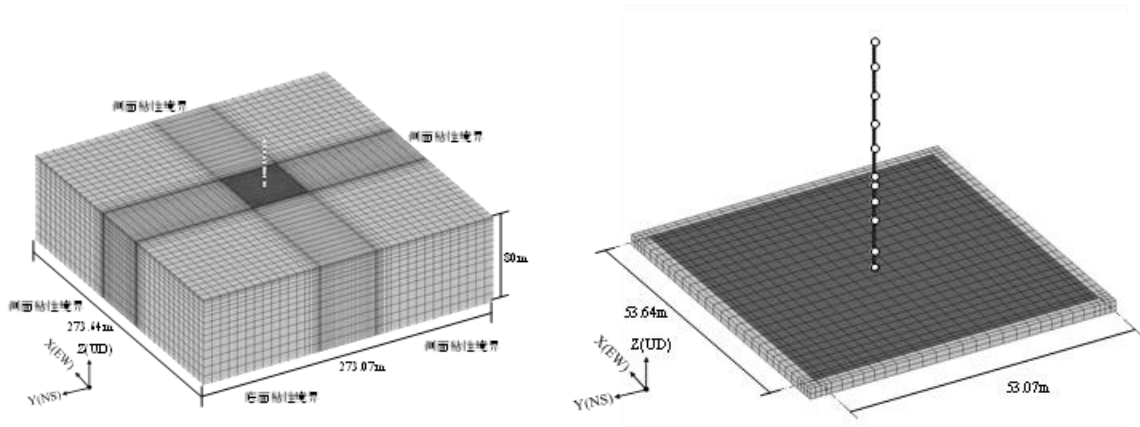


図 3-5(3) 廃棄物処理建物地震応答解析モデル（鉛直方向）

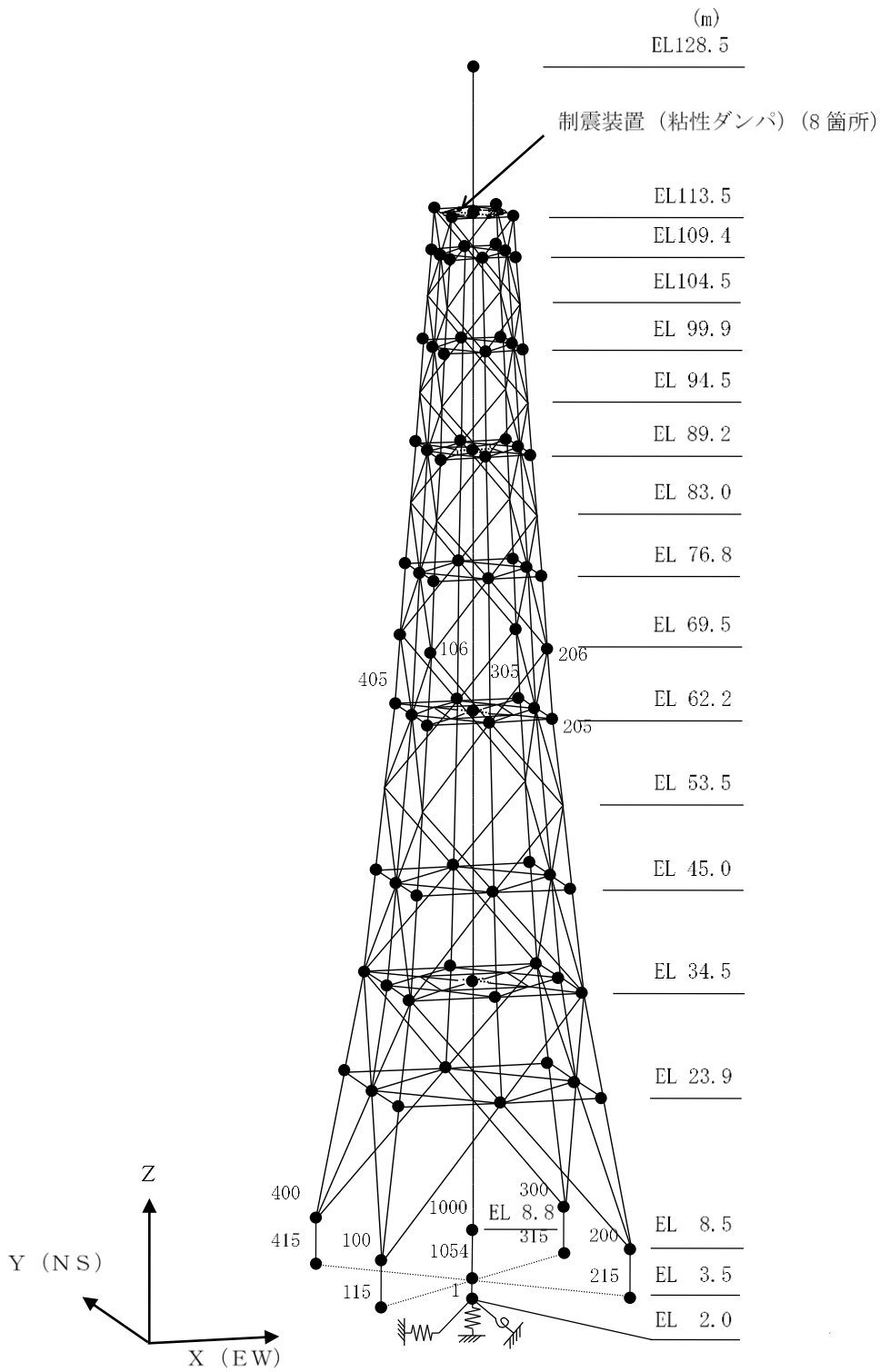


図 3-6 排気筒地震応答解析モデル (水平方向及び鉛直方向)

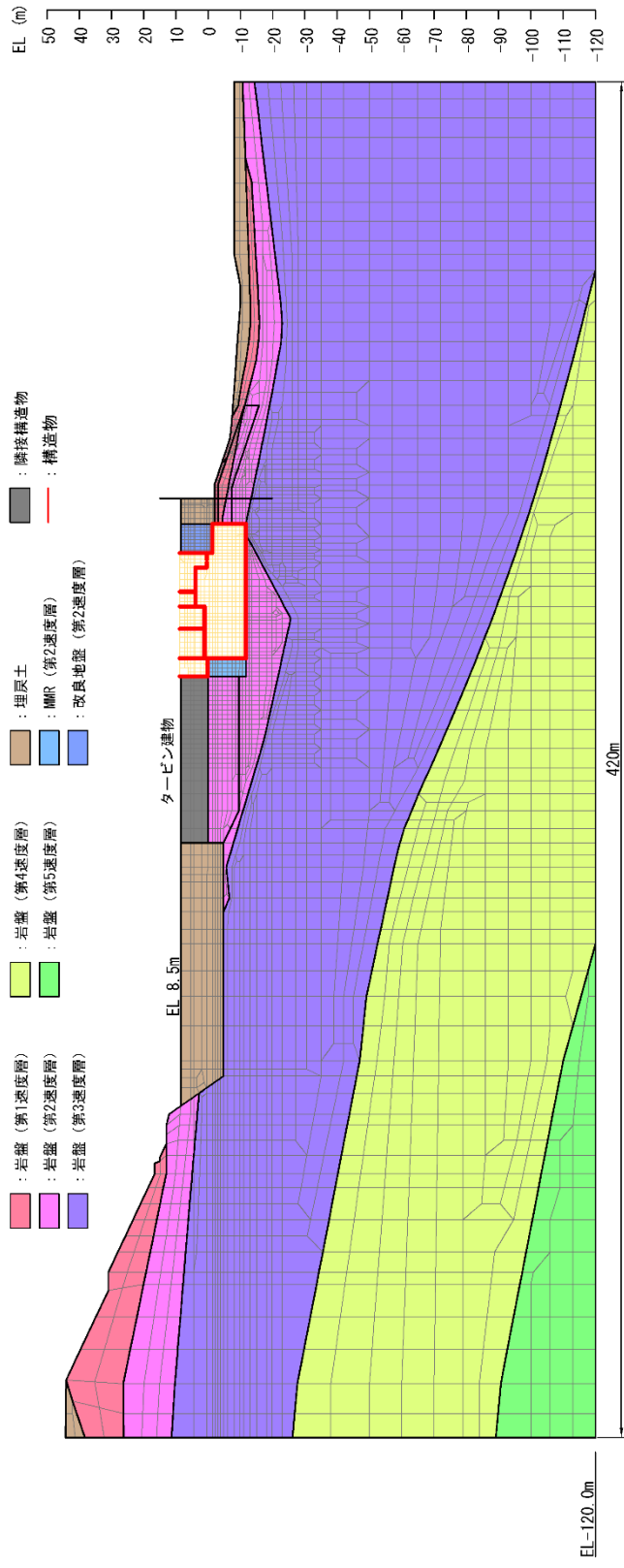
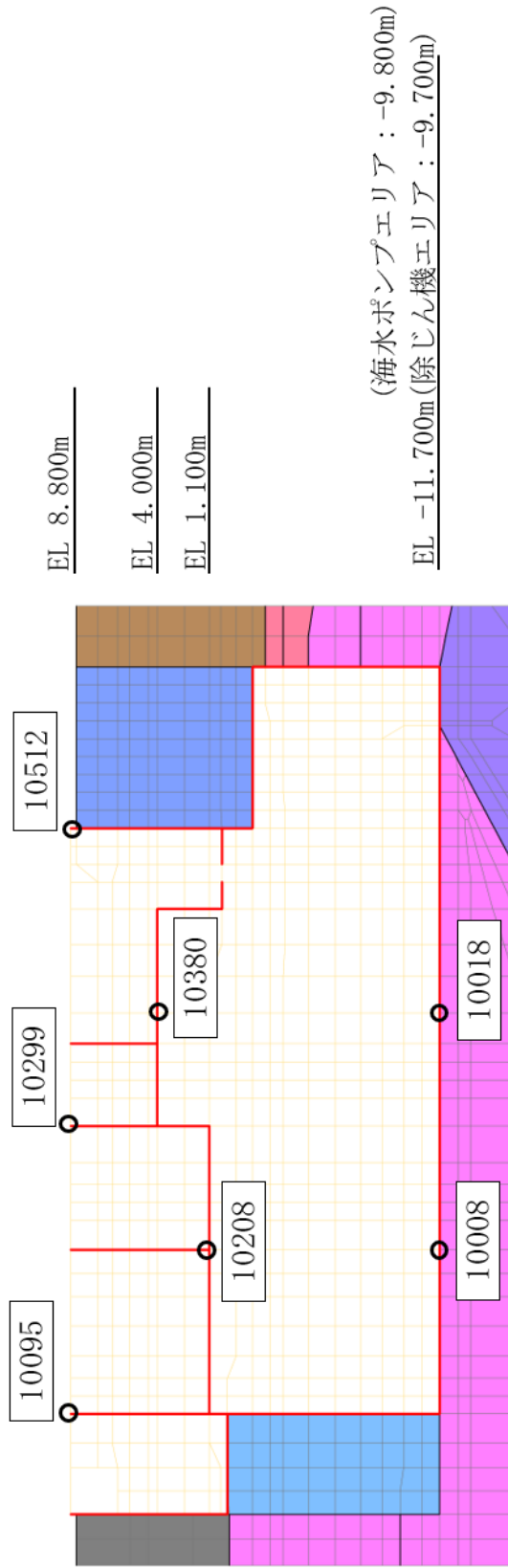


図 3-7(1) 取水槽地震応答解析モデル (NS 断面 (D-D 断面))



注：() 内は機器設置位置レベルを示す

図 3-7(2) 取水槽の加速度応答算出位置（地震応答解析モデル（NS断面（D-D断面））の拡大図）

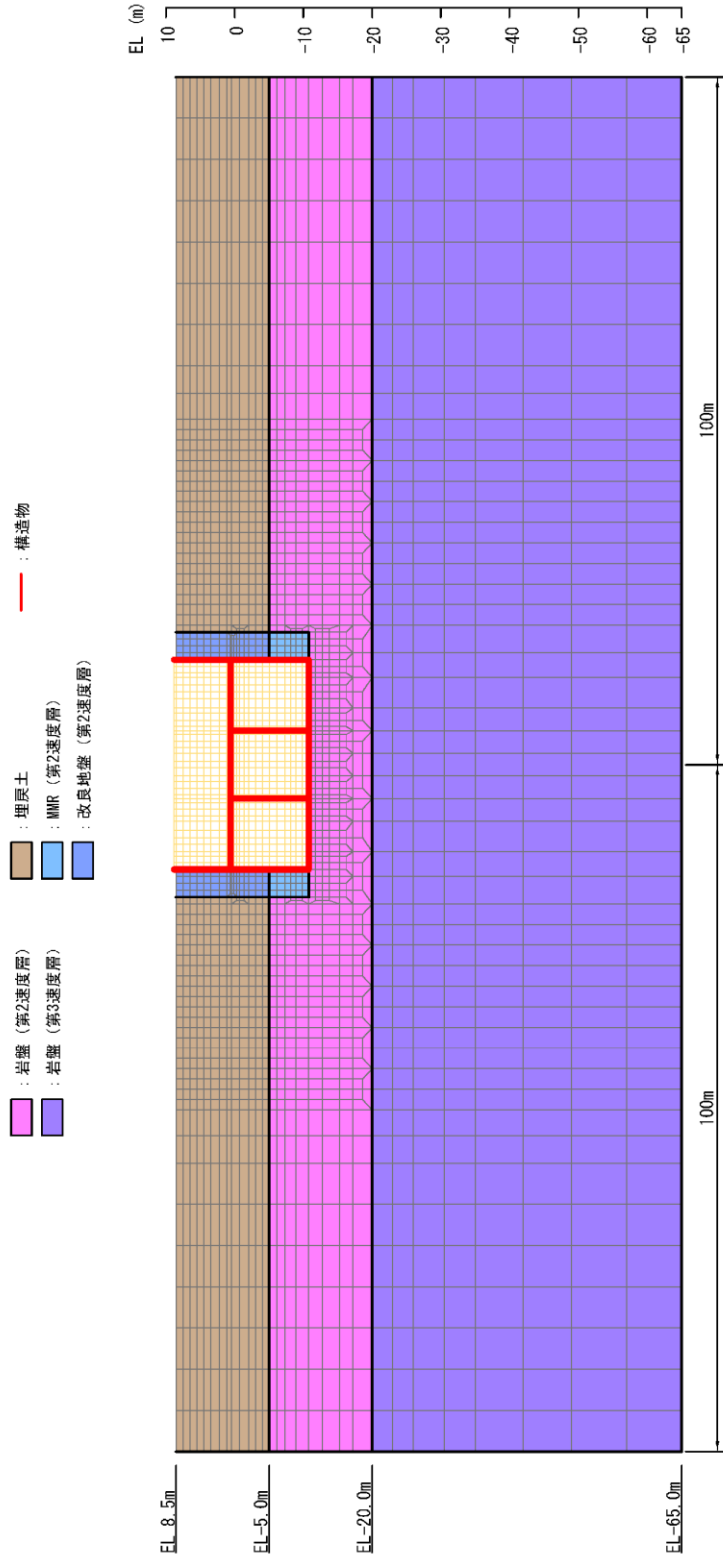
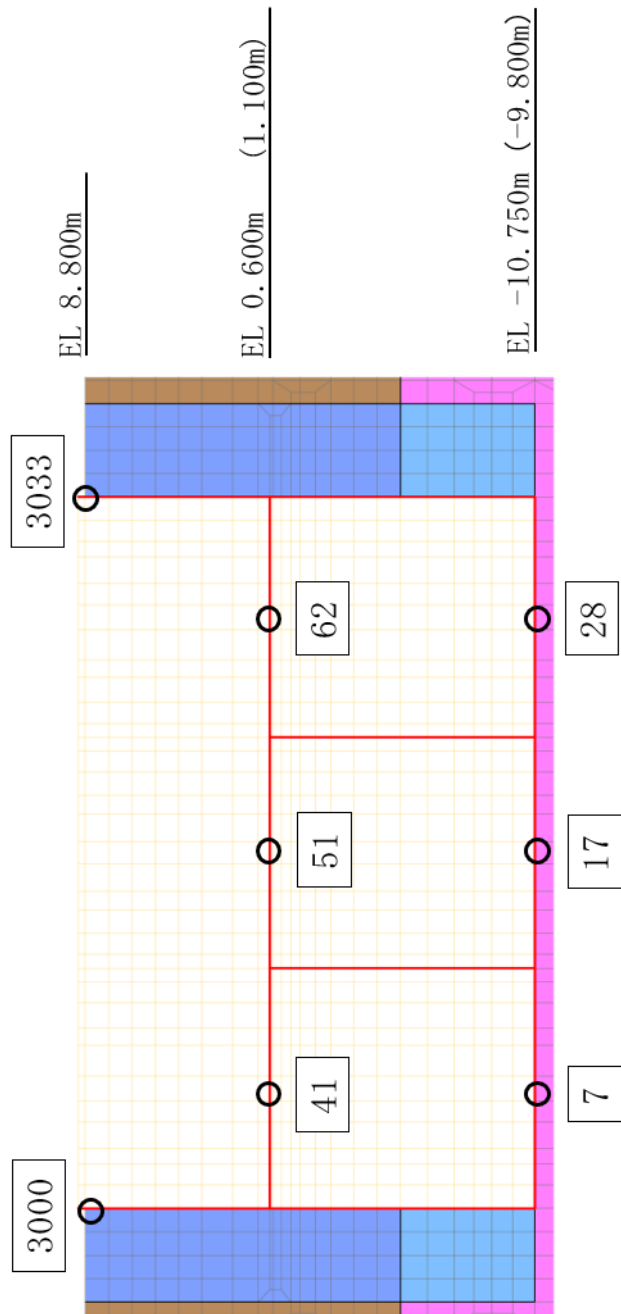


図 3-7(3) 取水槽地震応答解析モデル (E-W断面 (海水ポンプエリア) (B-B断面))



注：○内は機器設置位置レベルを示す

図3-7(4) 取水槽の加速度応答算出位置（地震応答解析モデル（E-W断面（海水ポンプエリア）（B-B断面））の拡大図）

- : 岩盤 (第2速度層)
 - : 岩盤 (第3速度層)
- : 埋戻土
 - : MMR (第3速度層)
 - : 隣接構造物
- : 構造物

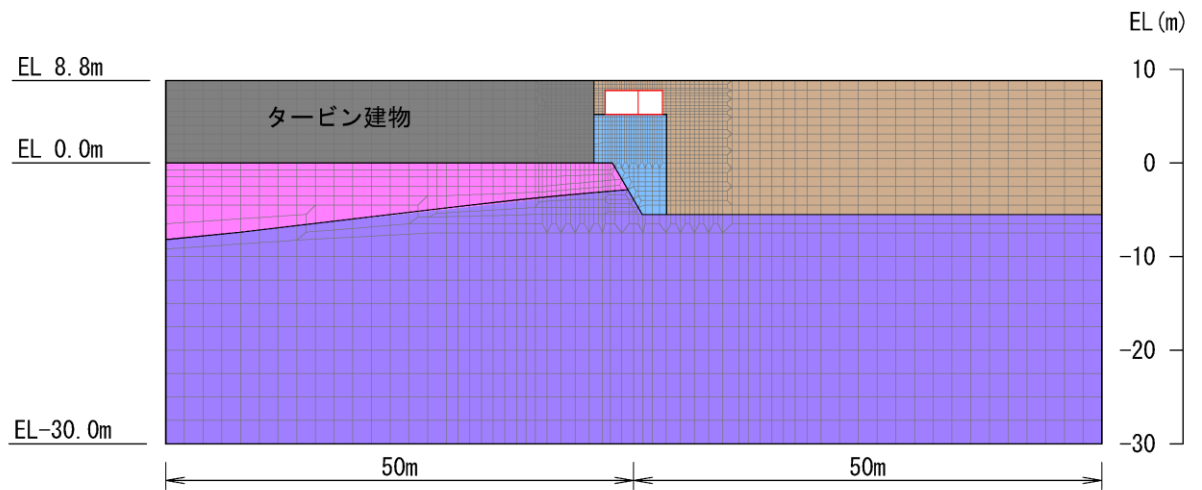
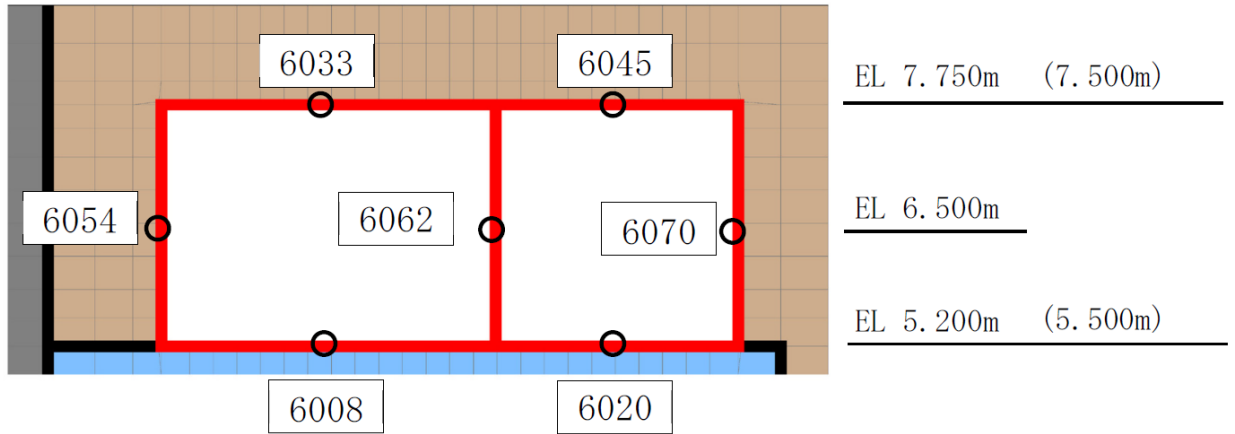


図 3-8(1) 屋外配管ダクト (タービン建物～排気筒) 地震応答解析モデル (A-A断面)



注：() 内は機器設置位置レベルを示す

図 3-8(2) 屋外配管ダクト（タービン建物～排気筒）の加速度応答算出位置
（地震応答解析モデル（A-A断面）の拡大図）

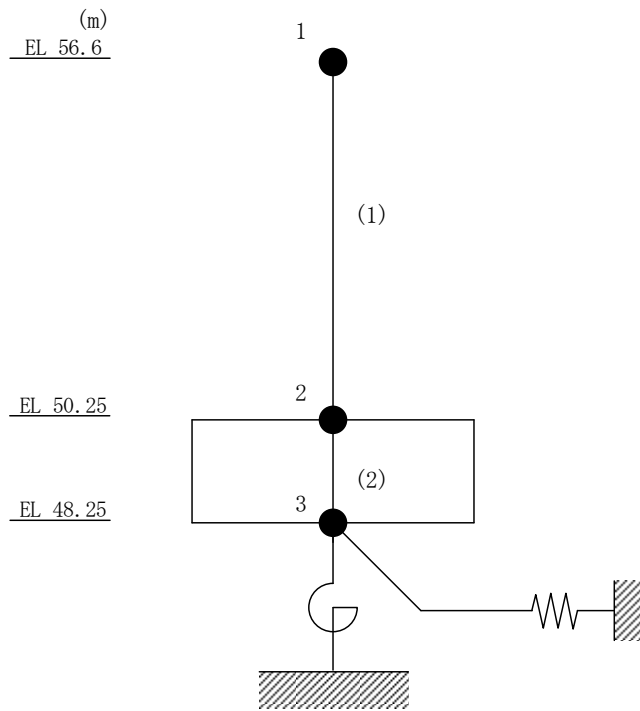


図 3-9(1) 緊急時対策所地震応答解析モデル（水平方向（N S 方向，E W 方向））

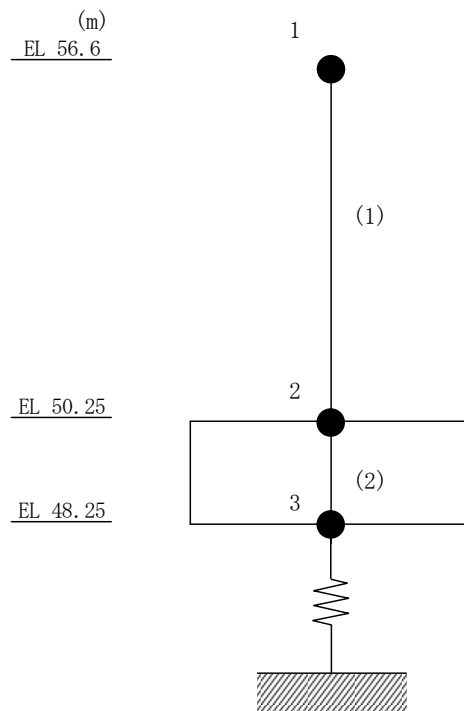


図 3-9(2) 緊急時対策所地震応答解析モデル（鉛直方向）

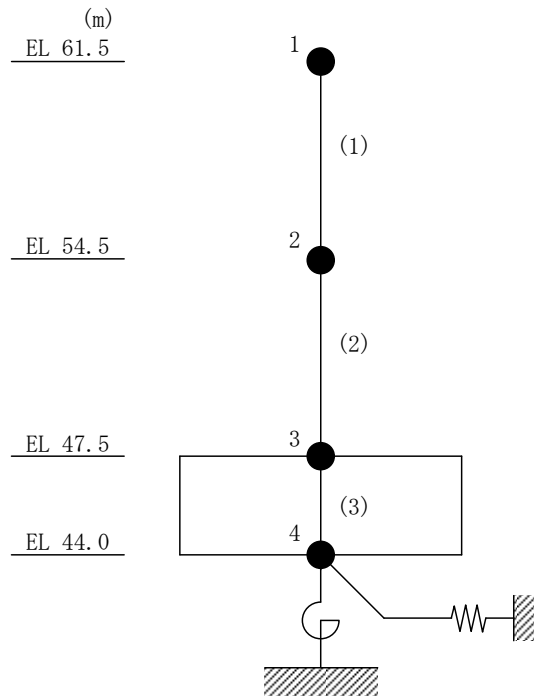


図 3-10(1) ガスタービン発電機建物地震応答解析モデル
(水平方向 (N S 方向, E W 方向))

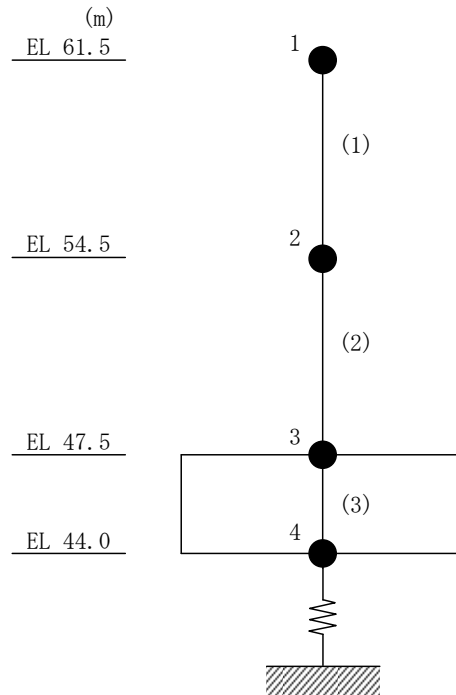


図 3-10(2) ガスタービン発電機建物地震応答解析モデル (鉛直方向)

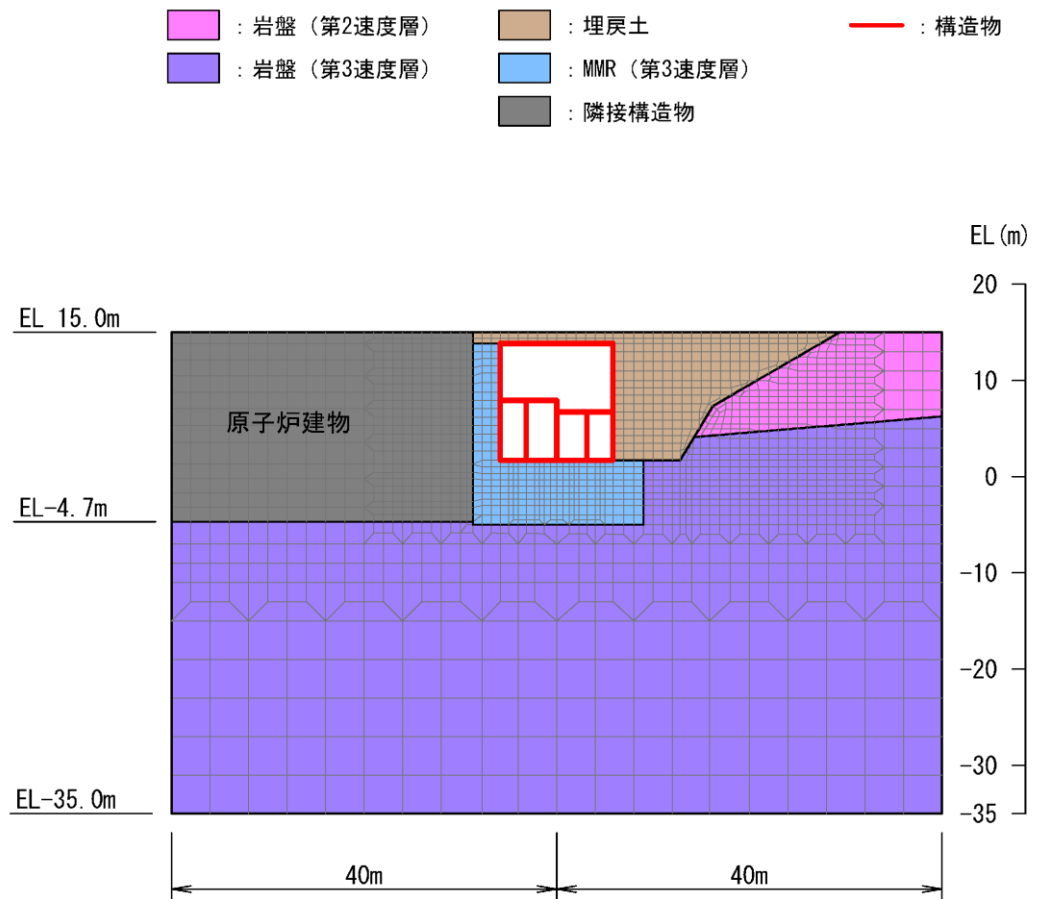
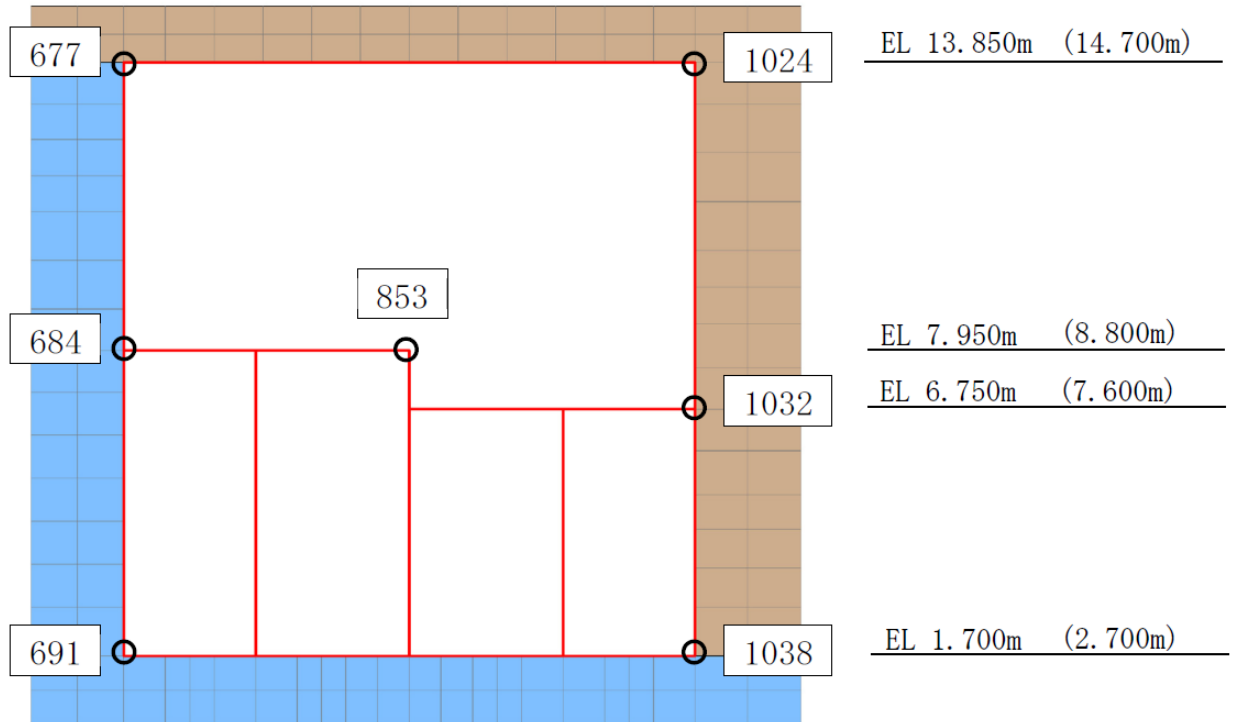


図 3-11(1) 第 1 ベントフィルタ格納槽地震応答解析モデル
(NS 断面 (銀ゼオライト容器エリア) (B-B 断面))



注：（）内は機器設置位置レベルを示す

図 3-11(2) 第 1 ベントフィルタ格納槽の加速度応答算出位置
 (地震応答解析モデル (NS 断面 (銀ゼオライト容器エリア) (B-B 断面)) の拡大図)

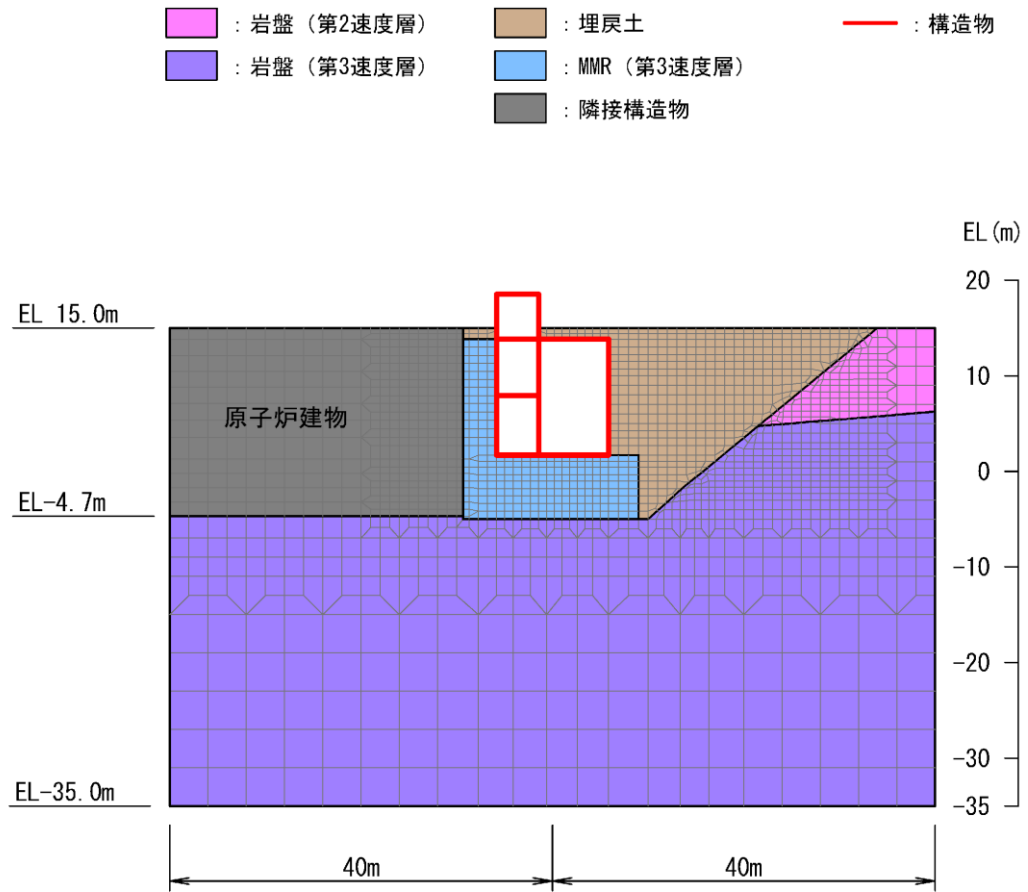
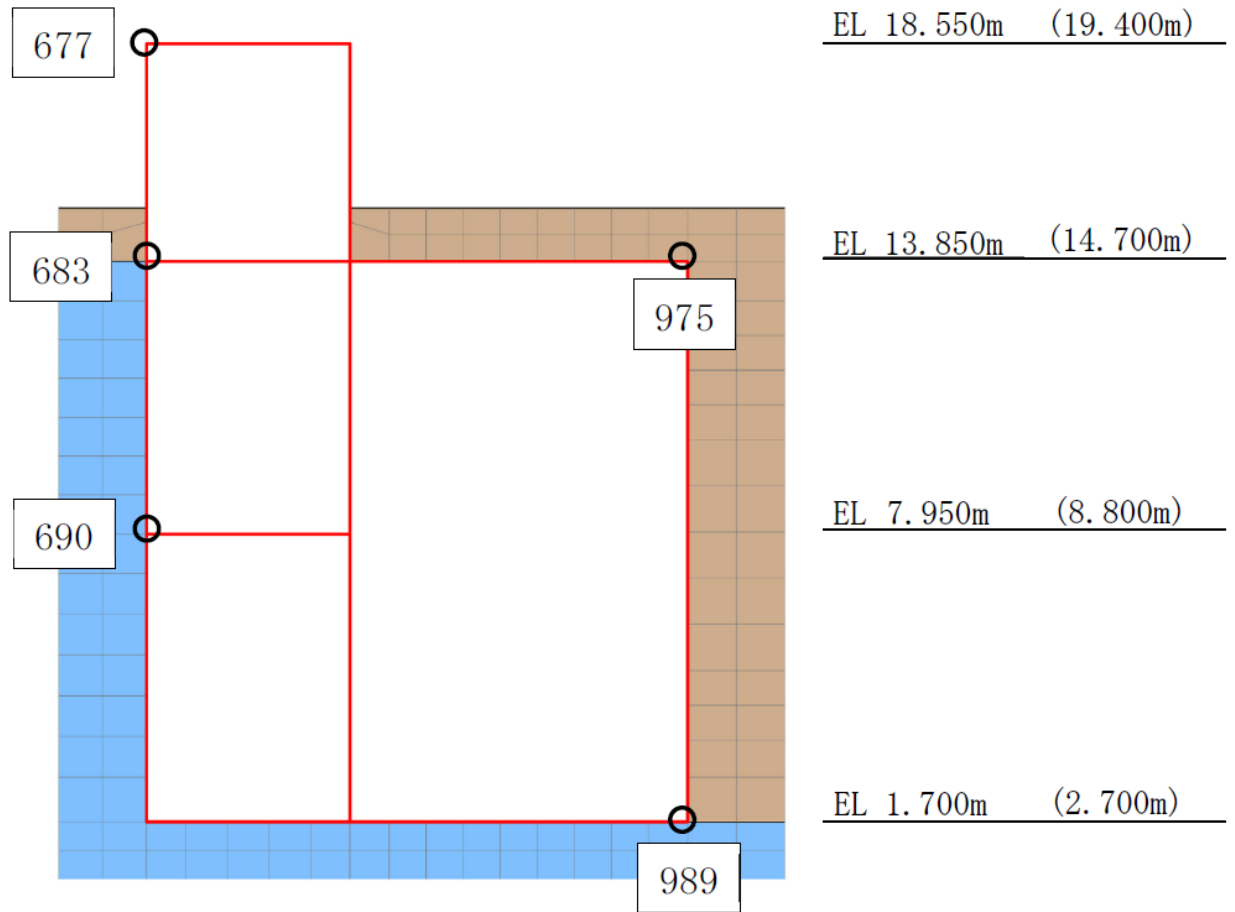


図 3-11(3) 第 1 ベントフィルタ格納槽地震応答解析モデル
(NS 断面 (スクラバ容器エリア) (A-A 断面))



注： () 内は機器設置位置レベルを示す

図 3-11(4) 第 1 ベントフィルタ格納槽の加速度応答算出位置
 (地震応答解析モデル (NS 断面 (スクラバ容器エリア) (A-A 断面)) の拡大図)

- : 岩盤 (第2速度階)
- : 岩盤 (第3速度階)
- : 隣接構造物
- : 埋戻土
- : MMR (第3速度階)
- : 構造物

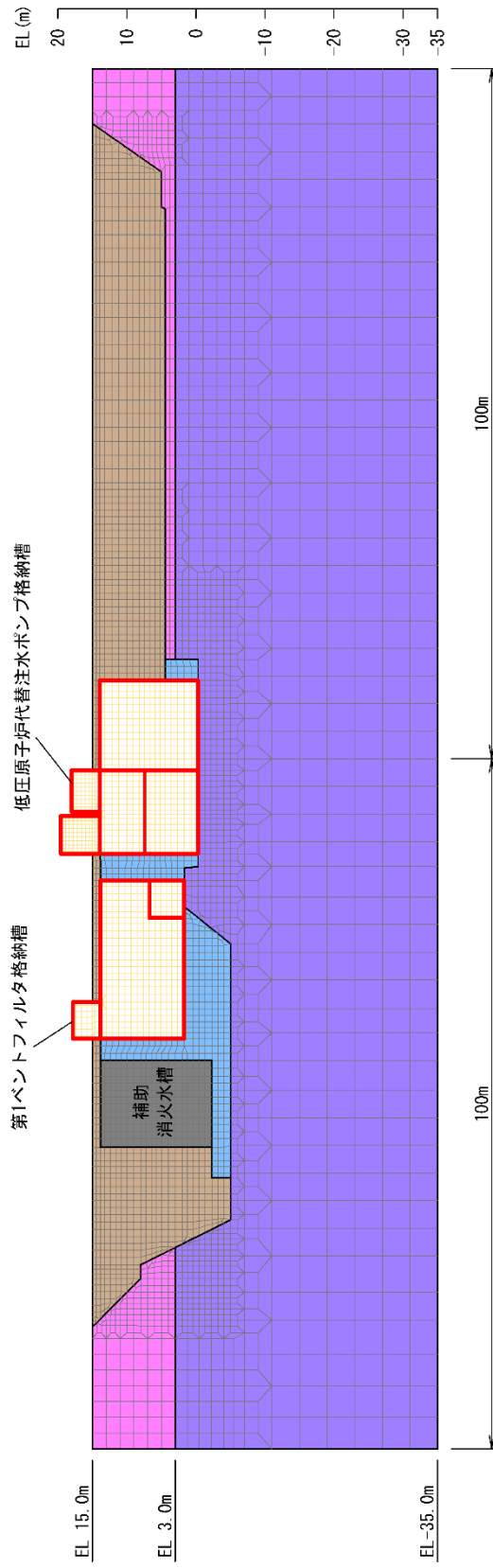
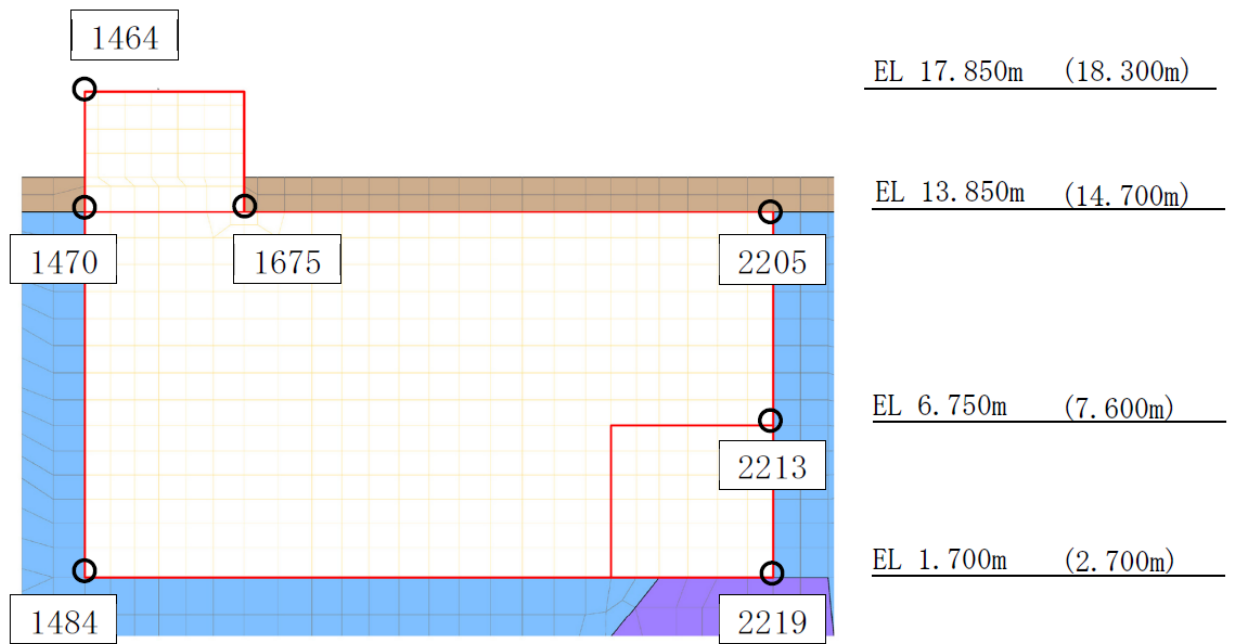


図 3-11(5) 第1ベントフィルタ格納槽地震応答解析モデル (E-W断面 (C-C断面))



注： () 内は機器設置位置レベルを示す

図 3-11(6) 第 1 ベントフィルタ格納槽の加速度応答算出位置
(地震応答解析モデル (EW断面 (C-C断面)) の拡大図)

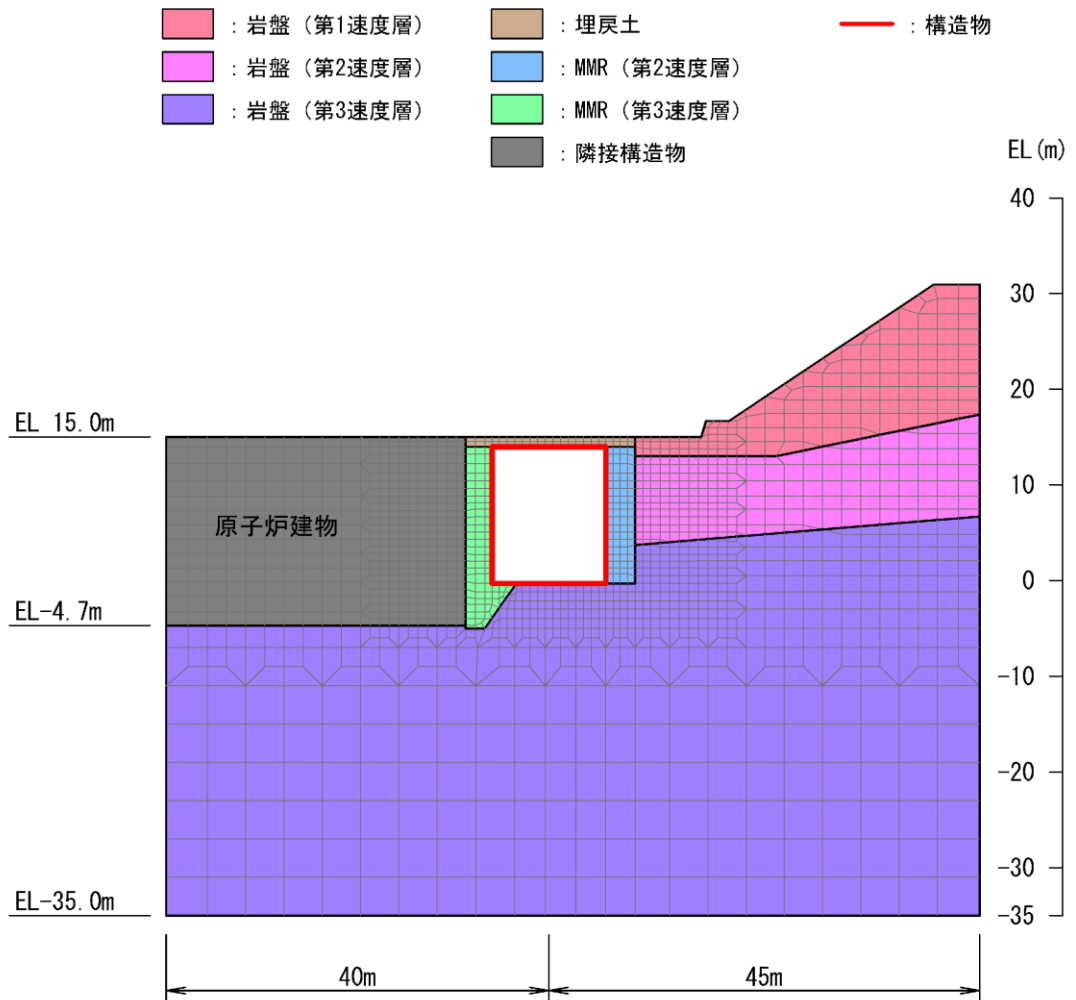
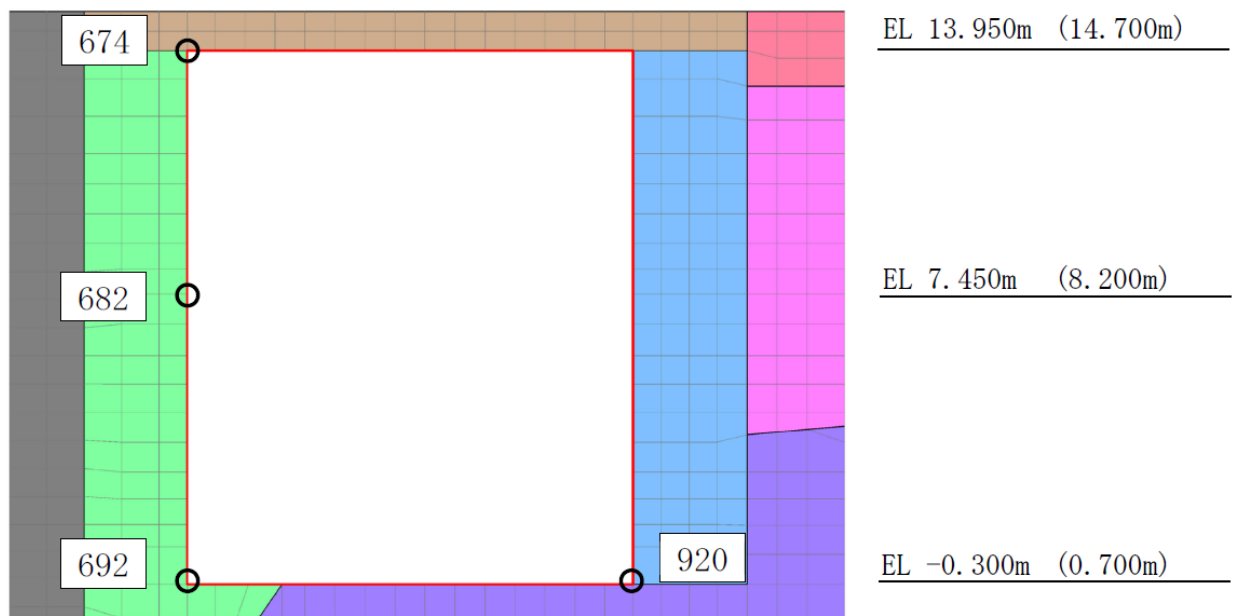


図 3-12(1) 低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽地震応答解析モデル
(NS断面(水室)(B-B断面))



注： () 内は機器設置位置レベルを示す

図 3-12(2) 低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽の加速度応答算出位置
 (地震応答解析モデル (NS 断面 (水室) (B-B 断面)) の拡大図)

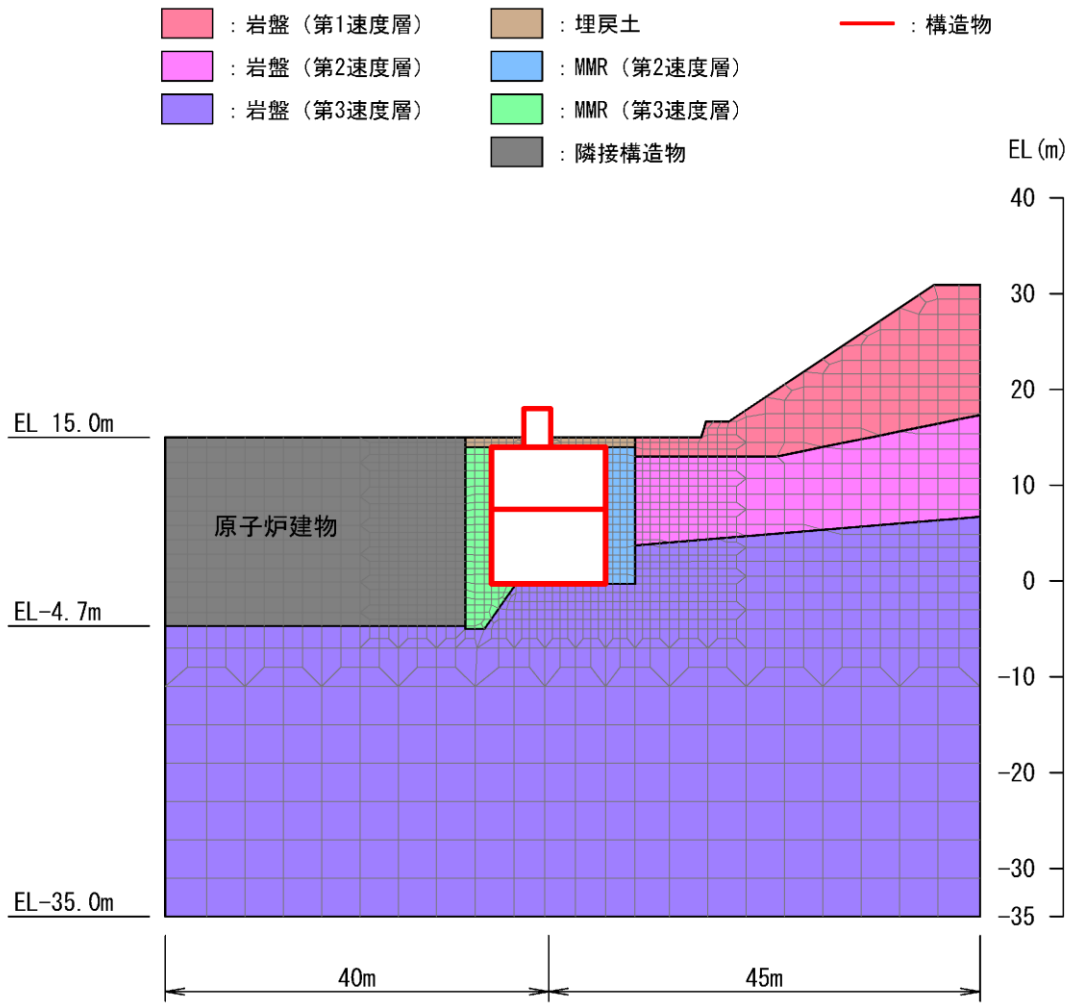
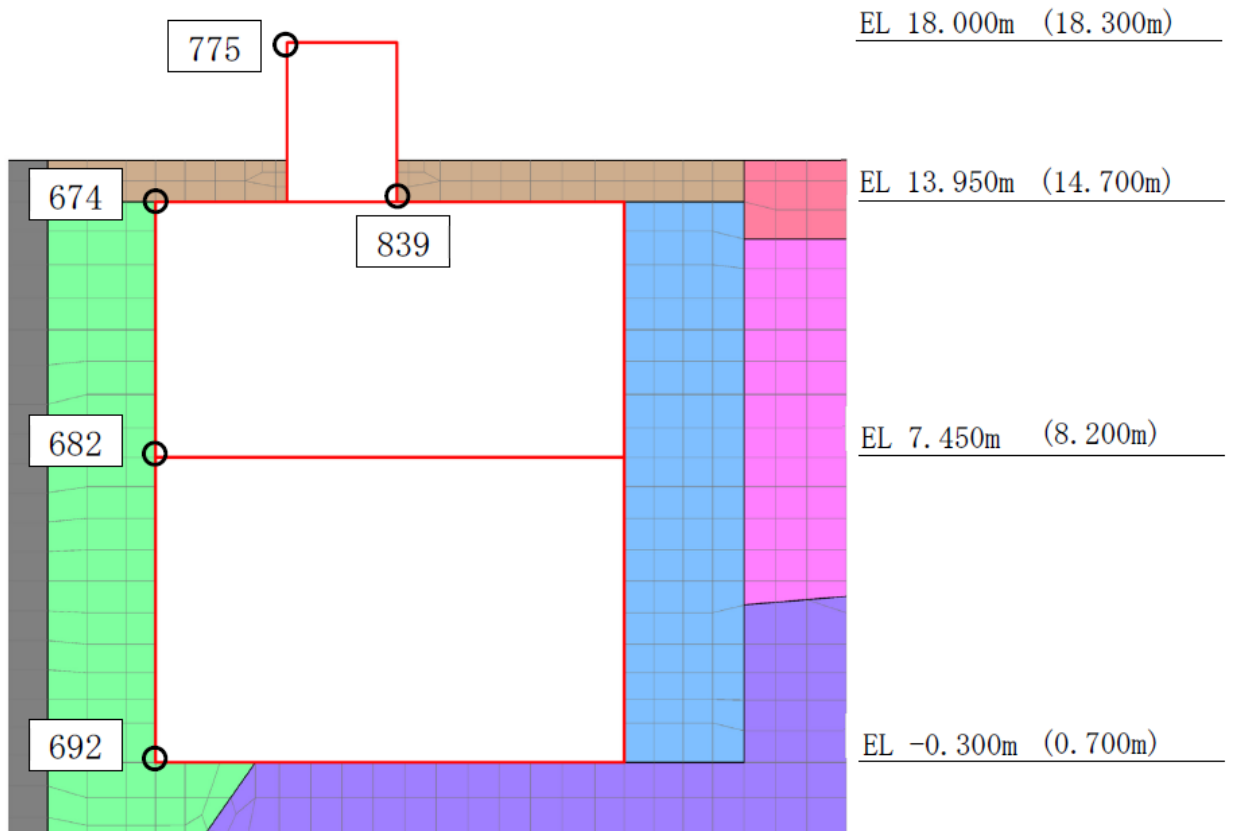


図 3-12(3) 低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽地震応答解析モデル
(NS断面 (ポンプ室) (A-A断面))



注： () 内は機器設置位置レベルを示す

図 3-12(4) 低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽の加速度応答算出位置
(地震応答解析モデル (NS 断面 (ポンプ室) (A-A 断面)) の拡大図)

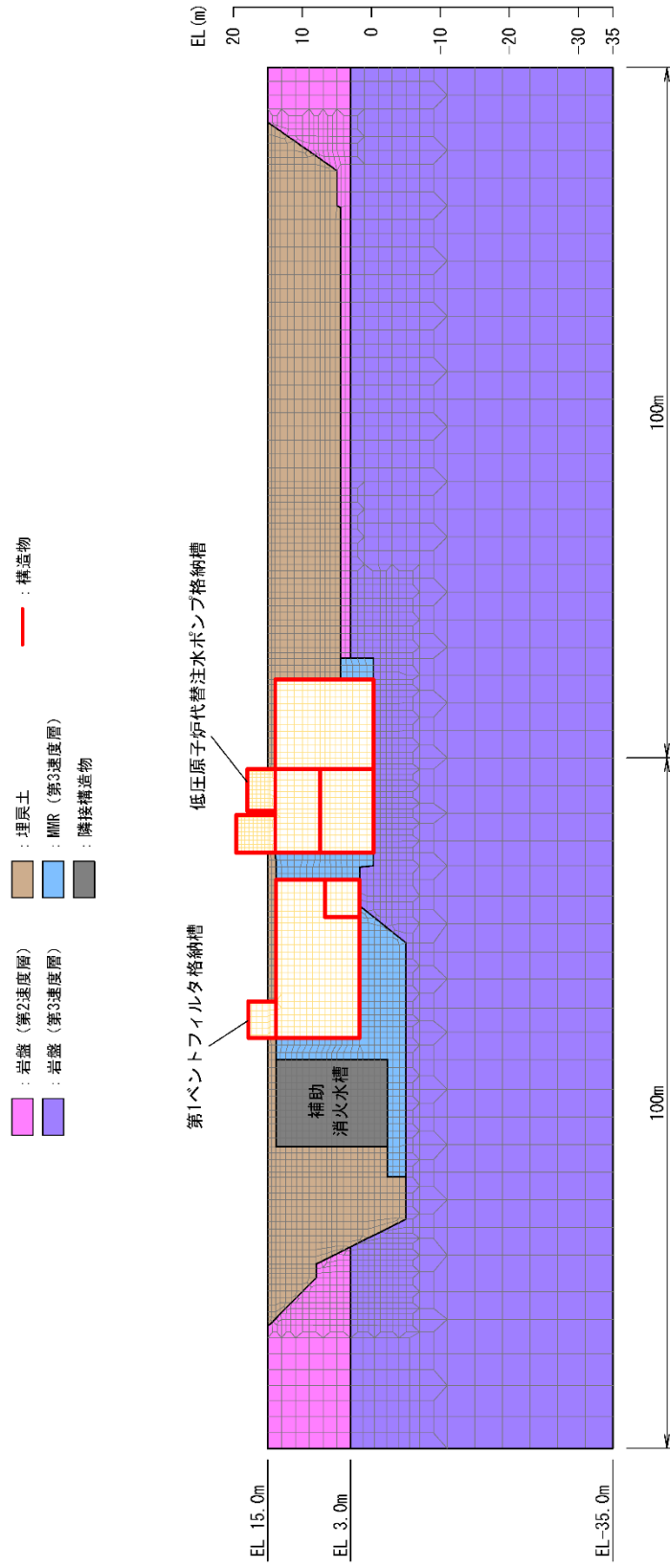
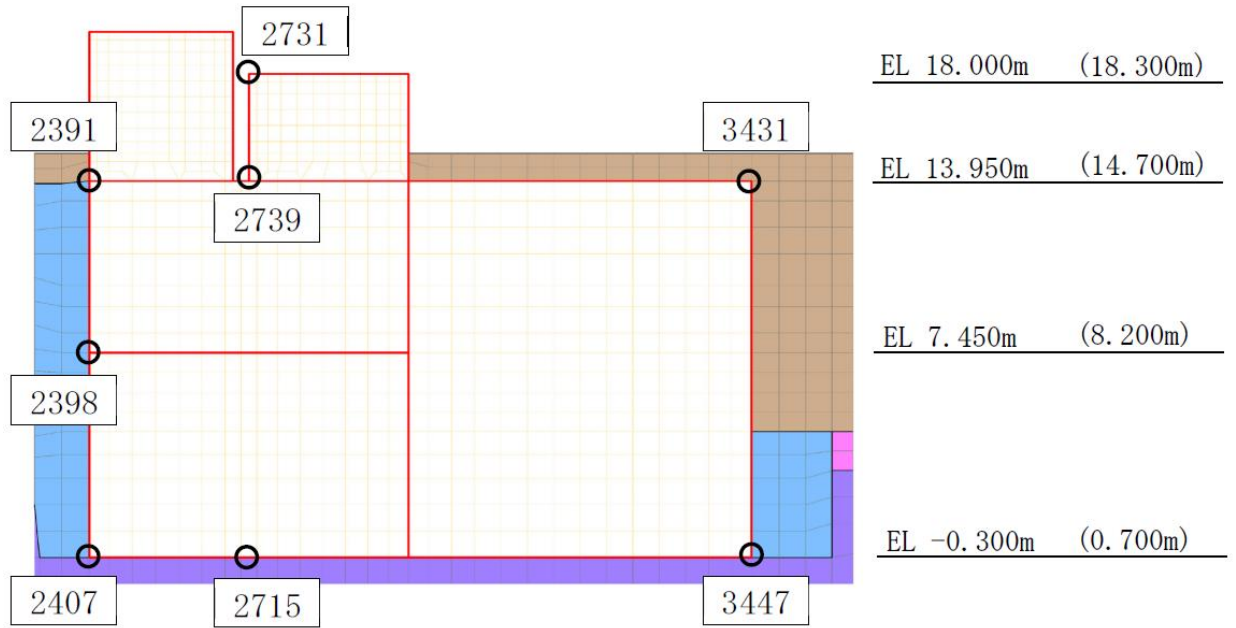


図 3-12(5) 低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽地震応答解析モデル (E-W断面 (C-C断面))



注：（）内は機器設置位置レベルを示す

図 3-12(6) 低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽の加速度応答算出位置
 (地震応答解析モデル (EW断面 (C-C断面)) の拡大図)

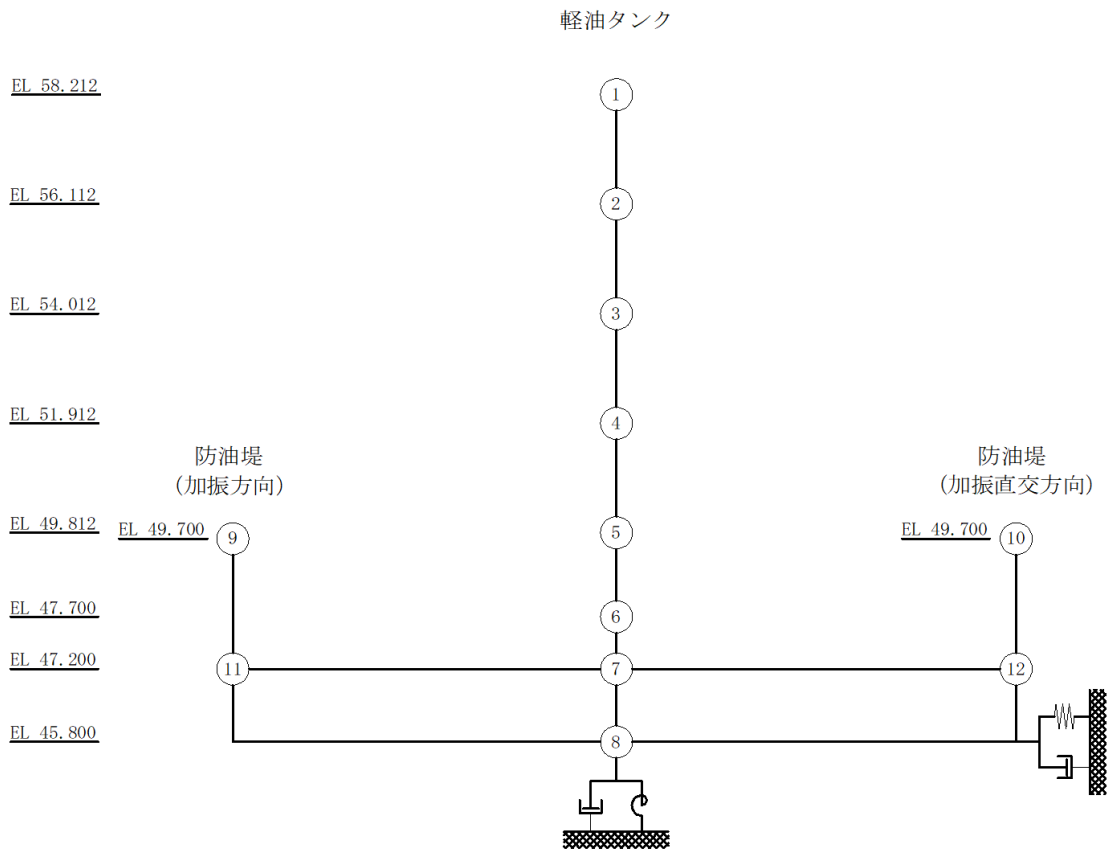


図 3-13(1) ガスタービン発電機用軽油タンク基礎地震応答解析モデル (水平方向)

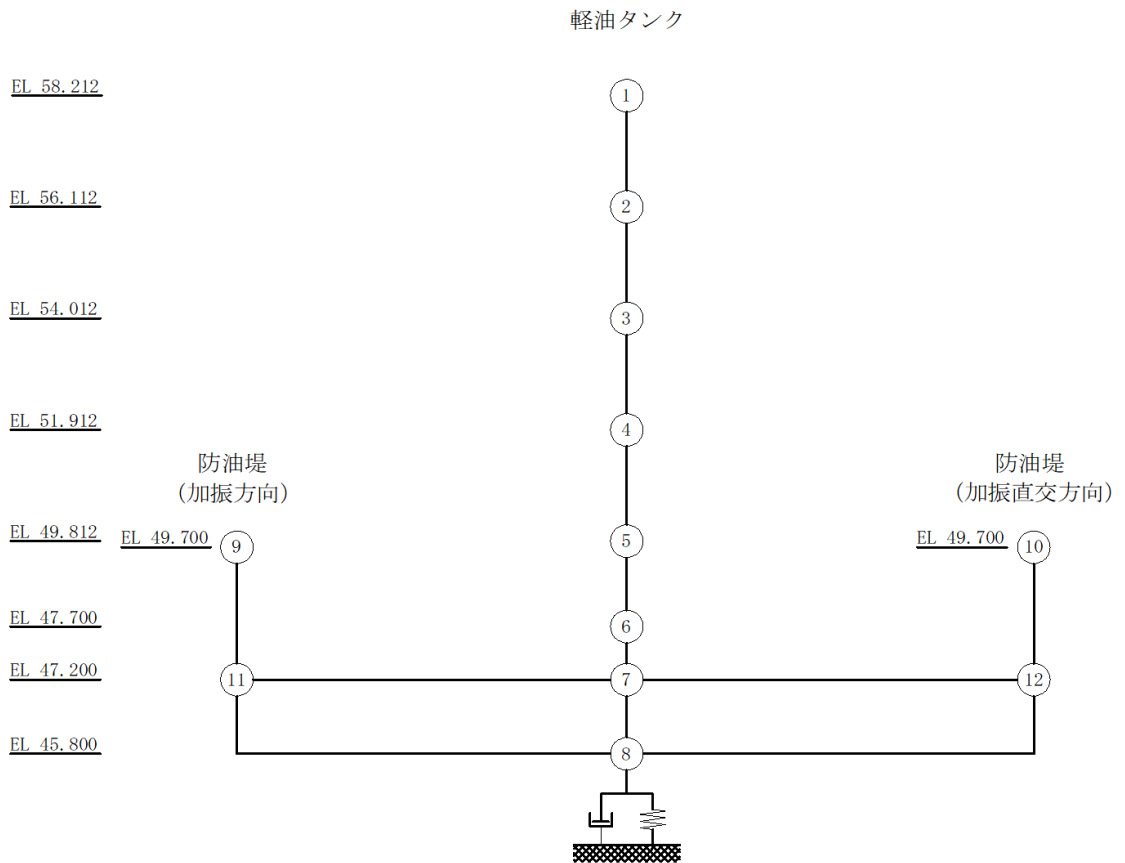


図 3-13(2) ガスタービン発電機用軽油タンク基礎地震応答解析モデル (鉛直方向)

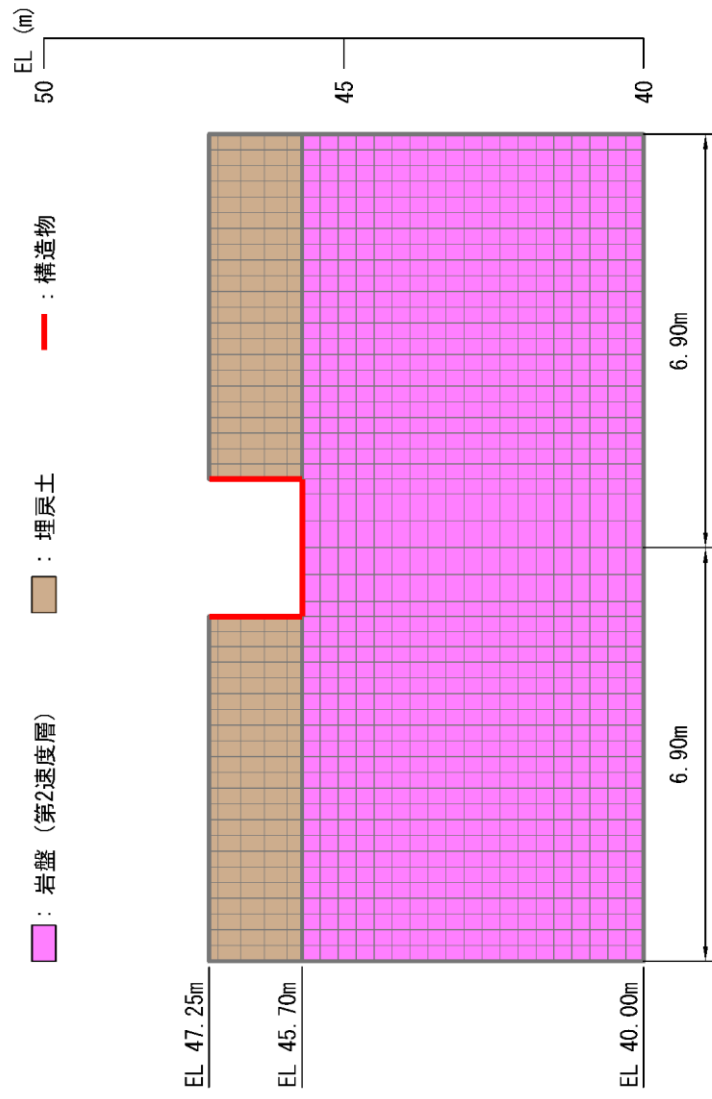
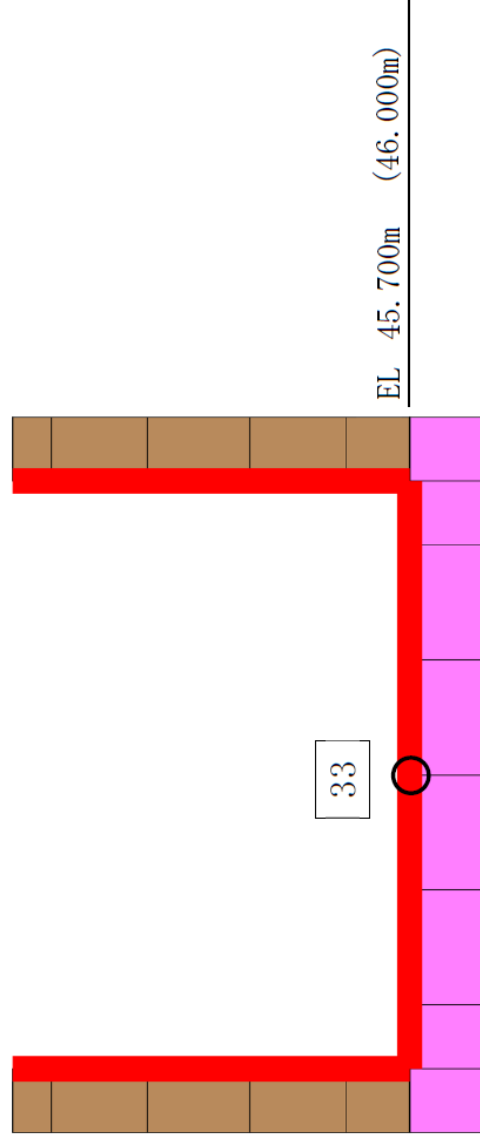


図 3-14 (1) 屋外配管ダクト (ガスタービン発電機用軽油タンク〜ガスタービン発電機)
地震応答解析モデル (A-A断面)



注：0 内は機器設置位置レベルを示す

図 3-14(2) 屋外配管ダクト（ガスタービン発電機用軽油タンク～ガスタービン発電機）の加速度応答算出位置
（地震応答解析モデル（A-A断面）の拡大図）

4. 設計用床応答スペクトル及び設計用震度

本章では、施設ごとの各床面の設計用震度及び静的震度並びに設計用床応答スペクトルを示す。ただし、設計用震度Ⅰ（又はⅡ）を上回る震度及び設計用床応答スペクトルⅠ（又はⅡ）を上回る設計用床応答スペクトルについては、設備ごとに適用する条件が異なるため、各設備の耐震計算書にそれぞれ示す。なお、静的震度はVI-2-1-1「耐震設計の基本方針」の「4. 設計用地震力」に従って算出した値以上となるように作成したものである。

4.1 弾性設計用地震動 S_d

設計用震度及び静的震度並びに設計用床応答スペクトル（S_d）を示す。

(1) 設計用震度一覧表

建物・構築物等の各床面の設計用震度及び静的震度を表 4.1-1～表 4.1-8 に示す。また、建物・構築物等と表番号との関連を表 4.1 に示す。なお、静的震度の設定における地震層せん断力係数 C_i は各建物・構築物等の地震応答計算書による。また、土木構造物の静的震度の設定には基準面における C_i を適用する。

表 4.1 建物・構築物等と表番号との関連（弾性設計用地震動 S_d）

No.	建物・構築物等	設計用震度及び静的震度
1	原子炉建物	表 4.1-1
2	炉心，原子炉圧力容器及び原子炉内部構築物並びに原子炉本体基礎	表 4.1-2
3	制御室建物	表 4.1-3
4	タービン建物	表 4.1-4
5	廃棄物処理建物	表 4.1-5
6	排気筒	表 4.1-6
7	取水槽	表 4.1-7
8	屋外配管ダクト（タービン建物～排気筒）	表 4.1-8

(2) 設計用床応答スペクトルの図番

各床面の減衰定数に応じた設計用床応答スペクトルの図番を表 4.2-1～表 4.2-8 に示す。また、建物・構築物等と表番号との関連を表 4.2 に示す。

表 4.2 建物・構築物等と表番号との関連（弾性設計用地震動 S d）

No.	建物・構築物等	設計用床応答スペクトル
1	原子炉建物	表 4.2-1
2	炉心，原子炉圧力容器及び原子炉内部構造物並びに原子炉本体基礎	表 4.2-2
3	制御室建物	表 4.2-3
4	タービン建物	表 4.2-4
5	廃棄物処理建物	表 4.2-5
6	排気筒	表 4.2-6
7	取水槽	表 4.2-7
8	屋外配管ダクト（タービン建物～排気筒）	表 4.2-8

赤枠部分：今回の提出範囲

4.2 基準地震動 S_s

設計用震度及び設計用床応答スペクトル (S_s) を示す。

(1) 設計用震度一覧表

建物・構築物等の各床面の設計用震度を表 4.3-1～表 4.3-14 に示す。また、建物・構築物等と表番号との関連を表 4.3 に示す。

表 4.3 建物・構築物等と表番号との関連 (基準地震動 S_s)

No.	建物・構築物等	設計用震度
1	原子炉建物	表 4.3-1
2	炉心, 原子炉圧力容器及び原子炉内部構造物並びに原子炉本体基礎	表 4.3-2
3	制御室建物	表 4.3-3
4	タービン建物	表 4.3-4
5	廃棄物処理建物	表 4.3-5
6	排気筒	表 4.3-6
7	取水槽	表 4.3-7
8	屋外配管ダクト (タービン建物～排気筒)	表 4.3-8
9	緊急時対策所	表 4.3-9
10	ガスタービン発電機建物	表 4.3-10
11	第 1 ベントフィルタ格納槽	表 4.3-11
12	低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽	表 4.3-12
13	ガスタービン発電機用軽油タンク基礎	表 4.3-13
14	屋外配管ダクト (ガスタービン発電機用軽油タンク～ガスタービン発電機)	表 4.3-14

(2) 設計用床応答スペクトルの図番

各床面の減衰定数に応じた設計用床応答スペクトルの図番を表 4.4-1～表 4.4-14 に示す。また、建物・構築物等と表番号との関連を表 4.4 に示す。

表 4.4 建物・構築物等と表番号との関連（基準地震動 S s）

No.	建物・構築物等	設計用床応答スペクトル
1	原子炉建物	表 4.4-1
2	炉心，原子炉压力容器及び原子炉内部構造物並びに原子炉本体基礎	表 4.4-2
3	制御室建物	表 4.4-3
4	タービン建物	表 4.4-4
5	廃棄物処理建物	表 4.4-5
6	排気筒	表 4.4-6
7	取水槽	表 4.4-7
8	屋外配管ダクト（タービン建物～排気筒）	表 4.4-8
9	緊急時対策所	表 4.4-9
10	ガスタービン発電機建物	表 4.4-10
11	第 1 ベントフィルタ格納槽	表 4.4-11
12	低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽	表 4.4-12
13	ガスタービン発電機用軽油タンク基礎	表 4.4-13
14	屋外配管ダクト（ガスタービン発電機用軽油タンク～ガスタービン発電機）	表 4.4-14

赤枠部：今回の提出範囲

4.3 余震荷重を算定するための地震動

津波荷重と重畳させる余震荷重を算定するための地震動及び震度は、VI-3「強度に関する説明書」のうち、別添 3-2「津波への配慮が必要な施設の強度計算書」に示す。

表 4.1-1 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (原子炉建物) (1/3)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665 \text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
	設計用震度 I				設計用震度 II			S d		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
原子炉建物	6, 20	3, 17	7	63.500	1.69	1.98	0.81	2.51	2.94	1.16
	7, 21	4, 18, 22	8	51.700	1.33	1.55	0.74	2.00	2.33	1.07
	8, 14, 22, 28	5, 11, 19, 23	9, 17	42.800	1.09	1.14	0.82	1.61	1.71	1.13
	1, 9, 15, 23, 29	6, 12, 20, 24, 29	1, 10, 18	34.800	0.89	0.85	0.80	1.31	1.26	1.10
	2, 10, 16, 24, 30	7, 13, 21, 25, 30	2, 11, 19	30.500	1.06	0.93	0.78	1.59	1.40	1.05
	10, 16, 24	13, 21	11, 19	30.500 (燃料プール)	0.82	0.78	0.78	1.19	1.17	1.05
	3, 11, 17, 25, 31	8, 14, 26, 31	3, 12, 20	23.800	0.64	0.66	0.70	0.92	0.99	0.92
	4, 12, 18, 26, 32	1, 9, 15, 27, 32	4, 13, 21	15.300	0.50	0.50	0.53	0.69	0.75	0.68
	19	16	22	10.100	0.44	0.48	0.39	0.65	0.72	0.50
	5, 13, 27, 33	2, 10, 28, 33	5, 14	8.800	0.43	0.43	0.32	0.65	0.65	0.45
	34	34	6, 15, 23	1.300	0.37	0.39	0.28	0.56	0.59	0.41
	35	35	16	-4.700	0.36	0.39	0.27	0.54	0.59	0.38

表 4.1-1 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (原子炉建物) (2/3)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$										
					設計用震度 I			設計用震度 II							
					S d			S d			S d				
					NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	EW方向	鉛直方向	
原子炉建物	6, 20	3, 17	7	63.500	2.03	2.38	0.97	3.00	3.53	1.38					
	7, 21	4, 18, 22	8	51.700	1.60	1.86	0.88	2.40	2.79	1.28					
	8, 14, 22, 28	5, 11, 19, 23	9, 17	42.800	1.31	1.36	0.98	1.94	2.04	1.34					
	1, 9, 15, 23, 29	6, 12, 20, 24, 29	1, 10, 18	34.800	1.06	1.02	0.96	1.56	1.52	1.31					
	2, 10, 16, 24, 30	7, 13, 21, 25, 30	2, 11, 19	30.500	1.28	1.12	0.93	1.92	1.68	1.25					
	10, 16, 24	13, 21	11, 19	30.500 (燃料プール)	0.99	0.93	0.93	1.43	1.40	1.25					
	3, 11, 17, 25, 31	8, 14, 26, 31	3, 12, 20	23.800	0.76	0.79	0.84	1.10	1.19	1.10					
	4, 12, 18, 26, 32	1, 9, 15, 27, 32	4, 13, 21	15.300	0.60	0.59	0.64	0.84	0.89	0.81					
	19	16	22	10.100	0.52	0.58	0.46	0.78	0.87	0.60					
	5, 13, 27, 33	2, 10, 28, 33	5, 14	8.800	0.51	0.52	0.38	0.77	0.78	0.54					
	34	34	6, 15, 23	1.300	0.44	0.47	0.34	0.66	0.71	0.48					
	35	35	16	-4.700	0.44	0.47	0.32	0.65	0.71	0.45					

表 4.1-1 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (原子炉建物) (3/3)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	静的震度					
	NS方向	EW方向	鉛直方向		3.0・C _i		3.6・C _i		1.0・C _v	1.2・C _v
					NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
原子炉建物	6, 20	3, 17	7	63.500	1.88	1.80	2.25	2.16		
	7, 21	4, 18, 22	8	51.700	1.32	1.30	1.58	1.56		
	8, 14, 22, 28	5, 11, 19, 23	9, 17	42.800	0.96	0.92	1.15	1.10		
	1, 9, 15, 23, 29	6, 12, 20, 24, 29	1, 10, 18	34.800	0.78	0.77	0.94	0.92		
	2, 10, 16, 24, 30	7, 13, 21, 25, 30	2, 11, 19	30.500	0.72	0.71	0.86	0.85		
	3, 11, 17, 25, 31	8, 14, 26, 31	3, 12, 20	23.800	0.63	0.63	0.75	0.76	0.24	0.29
	4, 12, 18, 26, 32	1, 9, 15, 27, 32	4, 13, 21	15.300	0.55	0.55	0.66	0.66		
	19	16	22	10.100	0.55	0.55	0.66	0.66		
	5, 13, 27, 33	2, 10, 28, 33	5, 14	8.800	0.48	0.48	0.58	0.58		
	34	34	6, 15, 23	1.300	0.48	0.48	0.58	0.58		
	35	35	16	-4.700	0.48	0.48	0.58	0.58		

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (原子炉格納容器内) (1/17)

構造物名	質点番号			標高 EL.(m)	震度 ($\times 9.80665 \text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
					NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
原子炉格納容器	41	42	29	39.400	1.03	0.90	0.47	1.55	1.31	0.65
	42	43	30	37.060	0.96	0.86	0.47	1.41	1.25	0.65
	43	44	31	34.758	0.92	0.82	0.47	1.34	1.17	0.63
	44	45	32	33.141	0.89	0.79	0.46	1.29	1.14	0.63
	45	46	33	29.392	0.82	0.72	0.45	1.20	1.07	0.60
	46	47	34	27.907	0.79	0.69	0.45	1.14	1.04	0.60
	47	48	35	22.932	0.65	0.63	0.43	0.89	0.95	0.57
	48	49	36	19.878	0.57	0.58	0.41	0.78	0.87	0.56
	49	50	37	16.825	0.53	0.53	0.41	0.74	0.80	0.54
	50	51	38	13.700	0.48	0.47	0.40	0.68	0.69	0.54
	51	52	39	11.900	0.45	0.44	0.40	0.65	0.63	0.53

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (原子炉格納容器内) (2/17)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
	S d				S d					
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
原子炉格納容器	41	42	29	39.400	1.23	1.08	0.57	1.85	1.56	0.77
	42	43	30	37.060	1.15	1.03	0.56	1.70	1.49	0.77
	43	44	31	34.758	1.10	0.99	0.56	1.61	1.41	0.77
	44	45	32	33.141	1.06	0.95	0.56	1.55	1.37	0.75
	45	46	33	29.392	0.99	0.87	0.54	1.43	1.28	0.72
	46	47	34	27.907	0.95	0.83	0.54	1.37	1.25	0.72
	47	48	35	22.932	0.78	0.75	0.51	1.07	1.13	0.69
	48	49	36	19.878	0.68	0.69	0.50	0.93	1.04	0.68
	49	50	37	16.825	0.63	0.63	0.49	0.87	0.95	0.65
	50	51	38	13.700	0.57	0.57	0.48	0.80	0.83	0.65
	51	52	39	11.900	0.54	0.52	0.47	0.77	0.75	0.63

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及 \cup 靜的震度 (原子炉格納容器内) (3/17)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	靜的震度					
	NS方向	EW方向	鉛直方向		3.0・C _i		3.6・C _i		1.0・C _v	1.2・C _v
					NS方向	EW方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	鉛直方向
原子炉格納容器	41	42	29	39.400	0.96	0.92	1.15	1.10		
	42	43	30	37.060	0.96	0.92	1.15	1.10		
	43	44	31	34.758	0.78	0.77	0.94	0.92		
	44	45	32	33.141	0.78	0.77	0.94	0.92		
	45	46	33	29.392	0.72	0.71	0.86	0.85		
	46	47	34	27.907	0.72	0.71	0.86	0.85	0.24	0.29
	47	48	35	22.932	0.63	0.63	0.75	0.76		
	48	49	36	19.878	0.63	0.63	0.75	0.76		
	49	50	37	16.825	0.63	0.63	0.75	0.76		
	50	51	38	13.700	0.55	0.55	0.66	0.66		
	51	52	39	11.900	0.55	0.55	0.66	0.66		

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (原子炉格納容器内) (4/17)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665 \text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
	設計用震度 I				設計用震度 II					
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
ガンマ線遮蔽壁	53	54	41	29.962	1.42	1.12	0.65	1.82	1.68	0.95
	54	55	42	26.981	1.21	1.11	0.62	1.70	1.65	0.93
	55	56	43	24.000	1.05	1.08	0.58	1.52	1.52	0.87
	56	57	44	21.500	0.90	1.00	0.54	1.31	1.40	0.81
	57	58	45	19.000	0.67	0.81	0.48	1.01	1.11	0.68
	58	59	46	15.944	0.51	0.60	0.44	0.75	0.84	0.56
原子炉圧力容器 ペグスタル	59	60	47	13.022	0.47	0.51	0.42	0.71	0.77	0.54

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (原子炉格納容器内) (5/17)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	設計用震度 I			設計用震度 II		
					震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$			S d		
	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	
ガンマ線遮蔽壁	53	54	41	29.962	1.71	1.35	0.78	2.18	2.03	1.14
	54	55	42	26.981	1.45	1.33	0.75	2.04	1.98	1.11
	55	56	43	24.000	1.26	1.29	0.70	1.82	1.82	1.05
	56	57	44	21.500	1.07	1.20	0.64	1.56	1.67	0.96
	57	58	45	19.000	0.80	0.97	0.58	1.20	1.34	0.81
	58	59	46	15.944	0.61	0.72	0.53	0.90	1.02	0.66
原子炉圧力容器 ペデスタル	59	60	47	13.022	0.56	0.61	0.50	0.84	0.92	0.65

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (原子炉格納容器内) (6/17)

構造物名	質点番号			標高 EL(m)	静的震度					
	NS方向	EW方向	鉛直方向		3.0・C _i		3.6・C _i		1.0・C _v	1.2・C _v
					NS方向	EW方向	NS方向	EW方向		
ガンマ線遮蔽壁	53	54	41	29.962	0.72	0.71	0.86	0.85	鉛直方向	鉛直方向
	54	55	42	26.981	0.72	0.71	0.86	0.85		
	55	56	43	24.000	0.72	0.71	0.86	0.85		
	56	57	44	21.500	0.63	0.63	0.75	0.76		
	57	58	45	19.000	0.63	0.63	0.75	0.76		
	58	59	46	15.944	0.63	0.63	0.75	0.76		
原子炉圧力容器 ペグスタル	59	60	47	13.022	0.55	0.55	0.66	0.66	0.24	0.29

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (原子炉格納容器内) (7/17)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665 \text{m/s}^2$) $\times 1.0$											
					設計用震度 I						設計用震度 II					
					S d			鉛直方向			S d			鉛直方向		
					NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
原子炉压力容器	61	62	49	37.494	2.87	2.66	0.55	3.71	3.75	0.80	2.87	2.66	0.55	3.71	3.75	0.80
	62	63	50	36.586	2.75	2.52	0.55	3.56	3.56	0.80	2.75	2.52	0.55	3.56	3.56	0.80
	63	64	51	35.678	2.64	2.38	0.55	3.41	3.36	0.80	2.64	2.38	0.55	3.41	3.36	0.80
	64	65	52	33.993	2.42	2.12	0.55	3.12	2.99	0.80	2.42	2.12	0.55	3.12	2.99	0.80
	65	66	53	32.567	2.23	1.88	0.54	2.88	2.69	0.80	2.23	1.88	0.54	2.88	2.69	0.80
	66	67	54	31.557	2.08	1.71	0.54	2.69	2.48	0.78	2.08	1.71	0.54	2.69	2.48	0.78
	67	68	55	30.369	1.91	1.51	0.53	2.48	2.24	0.78	1.91	1.51	0.53	2.48	2.24	0.78
	68	69	56	30.218	1.89	1.49	0.53	2.45	2.21	0.78	1.89	1.49	0.53	2.45	2.21	0.78
	69	70	57	29.181	1.78	1.39	0.52	2.30	2.04	0.77	1.78	1.39	0.52	2.30	2.04	0.77
	70	71	58	28.249	1.68	1.30	0.52	2.18	1.91	0.77	1.68	1.30	0.52	2.18	1.91	0.77
	71	72	59	27.317	1.57	1.22	0.51	2.04	1.77	0.75	1.57	1.22	0.51	2.04	1.77	0.75
	72	73	60	26.687	1.50	1.16	0.51	1.95	1.68	0.75	1.50	1.16	0.51	1.95	1.68	0.75
	73	74	61	25.414	1.36	1.05	0.50	1.77	1.50	0.74	1.36	1.05	0.50	1.77	1.50	0.74
	74	75	62	25.131	1.33	1.03	0.50	1.73	1.47	0.72	1.33	1.03	0.50	1.73	1.47	0.72
	75	76	63	24.419	1.25	0.97	0.50	1.62	1.37	0.72	1.25	0.97	0.50	1.62	1.37	0.72
76	77	64	23.707	1.17	0.91	0.50	1.53	1.28	0.71	1.17	0.91	0.50	1.53	1.28	0.71	
77	78	65	22.995	1.09	0.85	0.49	1.43	1.20	0.71	1.09	0.85	0.49	1.43	1.20	0.71	
78	79	66	22.283	1.01	0.79	0.49	1.32	1.14	0.69	1.01	0.79	0.49	1.32	1.14	0.69	
79	80	67	21.064	0.87	0.70	0.49	1.16	1.05	0.68	0.87	0.70	0.49	1.16	1.05	0.68	
80	81	68	20.892	0.85	0.70	0.49	1.13	1.04	0.68	0.85	0.70	0.49	1.13	1.04	0.68	
81	82	69	20.214	0.78	0.68	0.48	1.04	1.01	0.66	0.78	0.68	0.48	1.04	1.01	0.66	
82	83	70	19.196	0.68	0.67	0.48	0.93	0.96	0.65	0.68	0.67	0.48	0.93	0.96	0.65	
83	84	71	18.250	0.62	0.66	0.48	0.89	0.93	0.63	0.62	0.66	0.48	0.89	0.93	0.63	

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及び靜的震度 (原子炉格納容器内) (8/17)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
原子炉圧力容器	61	62	49	37.494	3.44	3.19	0.66	4.44	4.50	0.96
	62	63	50	36.586	3.30	3.02	0.66	4.26	4.26	0.96
	63	64	51	35.678	3.16	2.85	0.66	4.08	4.02	0.96
	64	65	52	33.993	2.90	2.54	0.65	3.75	3.59	0.96
	65	66	53	32.567	2.67	2.26	0.65	3.45	3.23	0.95
	66	67	54	31.557	2.50	2.05	0.64	3.23	2.97	0.95
	67	68	55	30.369	2.30	1.81	0.64	2.97	2.69	0.93
	68	69	56	30.218	2.27	1.78	0.64	2.94	2.64	0.93
	69	70	57	29.181	2.13	1.66	0.63	2.76	2.45	0.92
	70	71	58	28.249	2.01	1.56	0.62	2.60	2.28	0.92
	71	72	59	27.317	1.89	1.46	0.61	2.45	2.13	0.90
	72	73	60	26.687	1.80	1.39	0.61	2.34	2.01	0.89
	73	74	61	25.414	1.63	1.26	0.60	2.12	1.80	0.87
	74	75	62	25.131	1.59	1.23	0.60	2.07	1.76	0.87
	75	76	63	24.419	1.50	1.16	0.60	1.95	1.64	0.86
	76	77	64	23.707	1.40	1.09	0.59	1.83	1.53	0.86
	77	78	65	22.995	1.30	1.02	0.59	1.71	1.44	0.84
	78	79	66	22.283	1.21	0.95	0.59	1.59	1.37	0.83
	79	80	67	21.064	1.04	0.84	0.58	1.38	1.26	0.81
	80	81	68	20.892	1.02	0.84	0.58	1.35	1.25	0.81
	81	82	69	20.214	0.94	0.82	0.58	1.25	1.22	0.80
	82	83	70	19.196	0.81	0.80	0.58	1.11	1.16	0.78
	83	84	71	18.250	0.74	0.79	0.57	1.05	1.11	0.77

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (原子炉格納容器内) (9/17)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	静的震度		
	EW方向		鉛直方向		3.6・C _i		1.2・C _v
	NS方向	EW方向			NS方向	EW方向	
原子炉压力容器	61	62	49	37.494	1.15	1.10	0.29
	62	63	50	36.586	1.15	1.10	
	63	64	51	35.678	1.15	1.10	
	64	65	52	33.993	0.94	0.92	
	65	66	53	32.567	0.94	0.92	
	66	67	54	31.557	0.94	0.92	
	67	68	55	30.369	0.86	0.85	
	68	69	56	30.218	0.86	0.85	
	69	70	57	29.181	0.86	0.85	
	70	71	58	28.249	0.86	0.85	
	71	72	59	27.317	0.86	0.85	
	72	73	60	26.687	0.86	0.85	
	73	74	61	25.414	0.86	0.85	
	74	75	62	25.131	0.86	0.85	
75	76	63	24.419	0.86	0.85		
76	77	64	23.707	0.75	0.76		
77	78	65	22.995	0.75	0.76		
78	79	66	22.283	0.75	0.76		
79	80	67	21.064	0.75	0.76		
80	81	68	20.892	0.75	0.76		
81	82	69	20.214	0.75	0.76		
82	83	70	19.196	0.75	0.76		
83	84	71	18.250	0.75	0.76		

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (原子炉格納容器内) (10/17)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665 \text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
					S d			S d		
					NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
炉心シユラウド	88	89	73	31.557	2.18	2.36	0.75	2.91	2.75	0.98
	89	90	74	30.369	1.93	2.05	0.75	2.61	2.45	0.98
	90	91	75	29.181	1.73	1.83	0.75	2.39	2.21	0.96
	91	92	76	28.249	1.61	1.71	0.74	2.24	2.09	0.96
	92	93	77	27.317	1.52	1.61	0.73	2.10	1.95	0.95
	93	94	78	26.687	1.45	1.54	0.73	2.01	1.88	0.95
	94	95	79	25.414	1.33	1.40	0.72	1.85	1.73	0.93
	95	96	80	25.843	1.38	1.45	0.72	1.91	1.79	0.93
	96	97	81	25.414	1.33	1.40	0.72	1.85	1.73	0.93
	97	98	82	25.131	1.30	1.37	0.72	1.80	1.68	0.93
	98	99	83	24.419	1.23	1.28	0.71	1.70	1.59	0.92
	99	100	84	23.707	1.15	1.19	0.70	1.61	1.49	0.89
	100	101	85	22.995	1.08	1.11	0.68	1.50	1.41	0.87
	101	102	86	22.283	1.01	1.04	0.67	1.41	1.32	0.86
	102	103	87	21.064	0.93	0.92	0.65	1.26	1.23	0.83
	103	104	88	21.571	0.98	0.97	0.65	1.34	1.25	0.83
	104	105	89	21.064	0.93	0.92	0.65	1.26	1.23	0.83
	105	106	90	20.892	0.92	0.90	0.65	1.25	1.22	0.83
106	107	91	20.214	0.88	0.83	0.63	1.19	1.19	0.81	
107	108	92	19.196	0.81	0.80	0.61	1.11	1.16	0.80	

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及び静の震度 (原子炉格納容器内) (11/17)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	静の震度		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		3.6・C _i		
					NS方向	EW方向	鉛直方向
炉心シュラウド	88	89	73	31.557	0.94	0.92	0.29
	89	90	74	30.369	0.86	0.85	
	90	91	75	29.181	0.86	0.85	
	91	92	76	28.249	0.86	0.85	
	92	93	77	27.317	0.86	0.85	
	93	94	78	26.687	0.86	0.85	
	94	95	79	25.414	0.86	0.85	
	95	96	80	25.843	0.86	0.85	
	96	97	81	25.414	0.86	0.85	
	97	98	82	25.131	0.86	0.85	
	98	99	83	24.419	0.86	0.85	
	99	100	84	23.707	0.75	0.76	
	100	101	85	22.995	0.75	0.76	
	101	102	86	22.283	0.75	0.76	
	102	103	87	21.064	0.75	0.76	
	103	104	88	21.571	0.75	0.76	
	104	105	89	21.064	0.75	0.76	
105	106	90	20.892	0.75	0.76		
106	107	91	20.214	0.75	0.76		
107	108	92	19.196	0.75	0.76		

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (原子炉格納容器内) (12/17)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$								
					設計用震度 I			設計用震度 II					
	NS方向	EW方向	鉛直方向		S d			S d					
燃料集合体	113	114	94	25.843	1.15	1.21	0.66	NS方向	EW方向	鉛直方向	1.59	1.49	0.98
	114	115	95	25.131	2.09	2.51	0.66	2.75	2.85	0.96			
	115	116	96	24.419	2.69	3.63	0.65	3.54	3.93	0.96			
	116	117	97	23.707	2.83	3.97	0.65	3.75	4.43	0.95			
	117	118	98	22.995	2.52	3.42	0.63	3.33	3.93	0.95			
	118	119	99	22.283	1.80	2.20	0.62	2.37	2.58	0.93			
	119	120	100	21.571	0.82	0.81	0.61	1.11	1.04	0.92			

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (原子炉格納容器内) (13/17)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	静的震度		
					3.6 · C _i		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向
燃料集合体	113	114	94	25.843	0.86	0.85	1.2 · C _v
	114	115	95	25.131	0.86	0.85	
	115	116	96	24.419	0.86	0.85	
	116	117	97	23.707	0.75	0.76	
	117	118	98	22.995	0.75	0.76	
	118	119	99	22.283	0.75	0.76	
	119	120	100	21.571	0.75	0.76	

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (原子炉格納容器内) (14/17)

構造物名	質点番号			標高 BL (m)	震度 ($\times 9.80665 \text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
制御棒駆動機構 ハウジング (内側)	127	128	107	17.499	0.86	0.94	0.58	1.19	1.22	0.80
	128	129	108	16.508	0.69	0.79	0.58	1.01	1.10	0.78
	129	130	109	15.644	0.73	0.87	0.58	1.08	1.17	0.78
	130	131	110	14.781	0.82	1.18	0.58	1.19	1.55	0.78
	131	132	111	13.917	0.85	1.34	0.58	1.22	1.83	0.78
	132	133	112	13.054	0.85	1.38	0.58	1.25	2.03	0.78
制御棒駆動機構 ハウジング (外側)	108	109	93	17.442 (水平) 17.419 (鉛直)	0.72	0.79	0.58	1.04	1.11	0.77
	109	110	113	16.345	0.94	1.47	0.58	1.35	2.01	0.78
	110	111	114	15.248	1.61	2.92	0.58	2.22	4.04	0.78
	111	112	115	14.151	1.54	2.81	0.58	2.09	3.90	0.78
	112	113	116	13.054	0.85	1.36	0.58	1.23	2.00	0.78

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (原子炉格納容器内) (15/17)

構造物名	震点番号			標高 EL(m)	静的震度		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		3.6・C _i		1.2・C _v
					NS方向	EW方向	鉛直方向
制御棒駆動機構 ハウジング (内側)	127	128	107	17.499	0.75	0.76	0.29
	128	129	108	16.508	0.75	0.76	
	129	130	109	15.644	0.75	0.76	
	130	131	110	14.781	0.66	0.66	
	131	132	111	13.917	0.66	0.66	
	132	133	112	13.054	0.66	0.66	
	108	109	93	17.442(水平) 17.419(鉛直)	0.75	0.76	
制御棒駆動機構 ハウジング (外側)	109	110	113	16.345	0.75	0.76	
	110	111	114	15.248	0.66	0.66	
	111	112	115	14.151	0.66	0.66	
	112	113	116	13.054	0.66	0.66	

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (原子炉格納容器内) (16/17)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
	設計用震度 I				設計用震度 II					
	S d				S d					
	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	
原子炉压力容器 下鏡	85	86	71	18.250	0.74	0.79	0.57	1.05	1.11	0.77
	86	87	93	17.442(水平) 17.419(鉛直)	0.72	0.79	0.58	1.04	1.11	0.77
	87	88	108	16.508	0.69	0.79	0.58	1.01	1.10	0.78

表 4.1-2 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (原子炉格納容器内) (17/17)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	静的震度		
	3.6 · C _i				1.2 · C _v		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向
原子炉压力容器 下鏡	85	86	71	18.250	0.75	0.76	0.29
	86	87	93	17.442(水平) 17.419(鉛直)	0.75	0.76	0.29
	87	88	108	16.508	0.75	0.76	0.29

表 4.1-3 設計用震度 (S d) 及ひ静的震度 (制御室建物) (1/3)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
					NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
制御室建物	1	1	1	22.050	1.10	1.21	0.51	1.64	1.71	0.74
	2	2	2	16.900	0.81	1.02	0.45	1.22	1.43	0.65
	3	3	3	12.800	0.71	0.81	0.39	1.05	1.11	0.57
	4, 7	4	4	8.800	0.50	0.59	0.34	0.75	0.83	0.48
	5	5	5	1.600	0.36	0.40	0.27	0.54	0.60	0.41
	6	6	6	0.100	0.36	0.40	0.27	0.54	0.60	0.41

表 4.1-3 設計用震度 (S d) 及 ζ 靜的震度 (制御室建物) (2/3)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
					NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
制御室建物	1	1	1	22.050	1.31	1.45	0.61	1.97	2.04	0.89
	2	2	2	16.900	0.97	1.22	0.54	1.46	1.71	0.77
	3	3	3	12.800	0.85	0.97	0.47	1.26	1.34	0.68
	4,7	4	4	8.800	0.60	0.71	0.41	0.90	0.98	0.59
	5	5	5	1.600	0.43	0.48	0.33	0.65	0.72	0.48
	6	6	6	0.100	0.43	0.48	0.33	0.65	0.72	0.48

表 4.1-3 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (制御室建物) (3/3)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	静的震度		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		3.6・C _i		1.2・C _v
					NS方向	EW方向	鉛直方向
制御室建物	1	1	1	22.050	0.95	0.86	0.29
	2	2	2	16.900	0.80	0.76	
	3	3	3	12.800	0.70	0.68	
	4,7	4	4	8.800	0.58	0.58	
	5	5	5	1.600	0.58	0.58	
	6	6	6	0.100	0.58	0.58	

表 4.1-4 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (タービン建物) (1/3)

構造物名	質点番号			標高 EL(m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$								
	設計用震度 I				設計用震度 II								
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向			
タービン建物	5, 7, 13, 22, 28	1, 8, 14	1	41.600	2.33	2.13	0.72	3.26	3.12	0.99	3.26	3.12	0.99
	1, 6, 8	19	—	33.700	1.38	1.39	0.72	1.91	2.09	0.99	1.91	2.09	0.99
	9, 18, 24	2, 9	2	32.000	1.47	1.34	0.62	2.04	2.01	0.86	2.04	2.01	0.86
	14, 23, 29	15	—	30.550	2.36	1.35	0.62	3.54	1.97	0.86	3.54	1.97	0.86
	2, 10, 15, 19, 25, 30	3, 5, 10, 16, 20	3	20.600	1.30	1.26	0.46	1.85	1.89	0.62	1.85	1.89	0.62
	3, 11, 16, 20, 26, 31	4, 11, 17, 21	4	12.500	0.92	0.80	0.36	1.38	1.19	0.54	1.38	1.19	0.54
	4	6	—	9.000 (NS) 8.800 (EW)	0.58	0.52	0.36	0.87	0.77	0.54	0.87	0.77	0.54
	12, 17, 21, 27	7, 12, 13, 18, 22	5	5.500	0.56	0.60	0.32	0.77	0.89	0.45	0.77	0.89	0.45
	34	25	8	2.000	0.49	0.49	0.30	0.68	0.68	0.44	0.68	0.68	0.44
	35	26	9	0.000	0.49	0.48	0.30	0.68	0.68	0.44	0.68	0.68	0.44
	32	23	6	20.480	1.17	1.23	0.63	1.53	1.79	0.83	1.53	1.79	0.83
	33	24	7	13.000	0.73	0.80	0.43	1.05	1.20	0.59	1.05	1.20	0.59

表 4.1-4 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (タービン建物) (2/3)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665 \text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
					NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
タービン建物	5, 7, 13, 22, 28	1, 8, 14	1	41.600	2.80	2.55	0.87	3.92	3.75	1.19
	1, 6, 8	19	—	33.700	1.65	1.66	0.87	2.28	2.49	1.19
	9, 18, 24	2, 9	2	32.000	1.77	1.61	0.75	2.45	2.42	1.04
	14, 23, 29	15	—	30.550	2.83	1.61	0.75	4.25	2.37	1.04
	2, 10, 15, 19, 25, 30	3, 5, 10, 16, 20	3	20.600	1.56	1.52	0.55	2.21	2.28	0.75
	3, 11, 16, 20, 26, 31	4, 11, 17, 21	4	12.500	1.10	0.95	0.43	1.65	1.43	0.65
	4	6	—	9,000(NS) 8,800(EW)	0.69	0.62	0.43	1.04	0.93	0.65
	12, 17, 21, 27	7, 12, 13, 18, 22	5	5.500	0.67	0.72	0.38	0.92	1.07	0.54
	34	25	8	2.000	0.59	0.58	0.36	0.81	0.81	0.51
	35	26	9	0.000	0.59	0.58	0.35	0.81	0.81	0.51
蒸気タービンの基礎	32	23	6	20.480	1.41	1.48	0.75	1.83	2.15	0.99
	33	24	7	13.000	0.88	0.96	0.52	1.26	1.44	0.71

表 4.1-4 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (タービン建物) (3/3)

構造物名	質点番号			標高 EL(m)	静的震度		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		3.6・C _i	EW方向	1.2・C _v
タービン建物	5, 7, 13, 22, 28	1, 8, 14	1	41.600	NS方向 1.94	EW方向 1.28	鉛直方向
	1, 6, 8	19	-	33.700	1.94	1.28	
	9, 18, 24	2, 9	2	32.000	1.29	1.03	
	14, 23, 29	15	-	30.550	1.29	1.03	
	2, 10, 15, 19, 25, 30	3, 5, 10, 16, 20	3	20.600	0.86	0.80	
	3, 11, 16, 20, 26, 31	4, 11, 17, 21	4	12.500	0.67	0.66	0.29
	4	6	-	9.000 (NS) 8.800 (EW)	0.67	0.66	
	12, 17, 21, 27	7, 12, 13, 18, 22	5	5.500	0.58	0.58	
	34	25	8	2.000	0.58	0.58	
	35	26	9	0.000	0.58	0.58	
蒸気タービンの基礎	32	23	6	20.480	0.86	0.80	
	33	24	7	13.000	0.86	0.80	

表 4.1-5 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (廃棄物処理建物) (1/3)

構造物名	質点番号			標高 EL(m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
					S d			S d		
					NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
廃棄物処理建物	1	1	1	42.000	1.43	1.47	0.52	2.15	2.03	0.75
	2	2	2	37.500	1.24	1.26	0.51	1.80	1.79	0.74
	3	3	3	32.000	1.04	1.10	0.49	1.53	1.56	0.71
	4	4	4	26.700	0.88	0.97	0.47	1.29	1.38	0.69
	5	5	5	22.100	0.77	0.82	0.44	1.11	1.23	0.65
	6	6	6	16.900	0.69	0.72	0.39	1.02	1.05	0.56
	7	7	7	15.300	0.58	0.68	0.37	0.87	0.98	0.53
	8	8	8	12.300	0.52	0.56	0.33	0.77	0.84	0.48
	9	9	9	8.800	0.47	0.52	0.30	0.69	0.77	0.45
	10	10	10	3.000	0.39	0.40	0.26	0.57	0.60	0.39
	11	11	11	0.000	0.39	0.40	0.25	0.57	0.59	0.38

表 4.1-5 設計用震度 (S d) 及〇靜的震度 (廢棄物处理建物) (2/3)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
					NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
廢棄物处理建物	1	1	1	42.000	1.72	1.77	0.62	2.58	2.43	0.90
	2	2	2	37.500	1.48	1.51	0.61	2.16	2.13	0.87
	3	3	3	32.000	1.25	1.31	0.59	1.83	1.88	0.86
	4	4	4	26.700	1.06	1.16	0.56	1.56	1.65	0.83
	5	5	5	22.100	0.93	0.99	0.53	1.34	1.49	0.78
	6	6	6	16.900	0.83	0.87	0.46	1.23	1.25	0.68
	7	7	7	15.300	0.69	0.82	0.44	1.04	1.17	0.63
	8	8	8	12.300	0.62	0.67	0.40	0.92	1.01	0.57
	9	9	9	8.800	0.57	0.62	0.36	0.83	0.92	0.54
	10	10	10	3.000	0.47	0.48	0.31	0.69	0.72	0.47
	11	11	11	0.000	0.46	0.48	0.31	0.69	0.71	0.45

表 4.1-5 設計用震度 (S d) 及び静の震度 (廃棄物処理建物) (3/3)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	静の震度			
	NS方向	EW方向	鉛直方向		3.6・C _i			1.2・C _v
					NS方向	EW方向	鉛直方向	
廃棄物処理建物	1	1	1	42.000	1.42	1.36	0.29	
	2	2	2	37.500	1.19	1.19		
	3	3	3	32.000	1.00	1.00		
	4	4	4	26.700	0.87	0.87		
	5	5	5	22.100	0.77	0.77		
	6	6	6	16.900	0.72	0.72		
	7	7	7	15.300	0.69	0.69		
	8	8	8	12.300	0.65	0.64		
	9	9	9	8.800	0.58	0.58		
	10	10	10	3.000	0.58	0.58		
	11	11	11	0.000	0.58	0.58		

表 4.1-6 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (排気筒) (1/3)

構造物名	節点番号		標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$			
				設計用震度 I		設計用震度 II	
				S d		S d	
	水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向	
排気筒	1000	1000	8,800~ 8,500	0.61	0.38	0.80	0.56
	100	100					
	200	200					
	300	300					
	400	400					
排気筒基礎	1054	1054	3,500	0.57	0.38	0.78	0.56
	115	115					
	215	215					
	315	315					
	415	415					

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.1-6 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (排気筒) (2/3)

構造物名	節点番号		標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$			
				設計用震度 I		設計用震度 II	
				S d		S d	
	水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向	
排気筒	1000	1000	8,800~ 8,500	0.73	0.46	0.95	0.66
	100	100					
	200	200					
	300	300					
	400	400					
排気筒基礎	1054	1054	3,500	0.69	0.46	0.93	0.66
	115	115					
	215	215					
	315	315					
	415	415					

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.1-6 設計用震度 (Sd) 及び静的震度 (排気筒) (3/3)

構造物名	節点番号		標高* EL (m)	静的震度	
	水平方向	鉛直方向		3.6・C _i	1.2・C _v
排気筒	1000	1000	8.800~ 8.500	水平方向	鉛直方向
	100	100			
	200	200			
	300	300			
	400	400			
排気筒基礎	1054	1054	3.500	0.58	0.29
	115	115			
	215	215			
	315	315			
	415	415			

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.1-7 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (取水槽) (1/3)

構造物名	節点番号						標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
	NS方向		EW方向		鉛直方向			設計用震度 I			設計用震度 II		
	NS断面 (海水ポンプエリア)		EW断面 (海水ポンプエリア)		鉛直断面 (海水ポンプエリア)			S d			S d		
	NS方向	EW方向	NS断面	EW断面	鉛直方向	NS方向		EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	
取水槽	10095	3000	10095	3000	41	0.64	1.46	0.75	0.96	1.85	0.84		
	10299	3033	10299	3033	51	0.44	0.53	0.36	0.66	0.78	0.53		
	10512		10512		62	0.39	0.39	0.28	0.59	0.56	0.42		
	10208	41	10208	41	41								
		51		51	51								
		62		62	62								
	10008	7	10008	7	7								
		17		17	17								
		28		28	28								

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.1-7 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (取水槽) (2/3)

構造物名	節点番号						標高* EL.(m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$				
	NS方向		EW方向		鉛直方向			設計用震度 I				
	NS断面 (海水ポンプエリア)	EW断面 (海水ポンプエリア)	NS断面 (海水ポンプエリア)	EW断面 (海水ポンプエリア)	NS断面 (海水ポンプエリア)	EW断面 (海水ポンプエリア)		NS方向	EW方向	鉛直方向		
取水槽	10095	3000	10095	41	3000	8.800	0.77	1.75	0.89	1.16	2.22	1.01
	10299	3033	10299	51	3033							
	10512		10512	62								
	10208	41	10208	51	41	1.100	0.53	0.63	0.43	0.80	0.95	0.63
		17		62	62							
	10008	7	10008	7	7	-9.800	0.46	0.47	0.34	0.69	0.66	0.50

注記* : 機器設置位置レベルを示す。

表 4.1-7 設計用震度 (Sd) 及び静的震度 (取水槽) (3/3)

構造物名	節点番号						標高* EL(m)	静的震度		
	NS方向		EW方向		鉛直方向			3.6・C _i		1.2・C _v
	NS断面 (海水ポンプエリア)		EW断面 (海水ポンプエリア)		EW断面 (海水ポンプエリア)			NS方向	EW方向	鉛直方向
	NS断面	EW断面	NS断面	EW断面	EW断面	NS方向		EW方向	鉛直方向	
	10095	3000	10095	3000	3000	8.800	0.58	0.58	0.29	
	10299	3033	10299	3033	3033					
	10512		10512							
取水槽	10208	41	10208	41	41	1.100	0.58	0.58	0.29	
		51		51	51					
		62		62	62					
	10008	7	10008	7	7	-9.800				
		17		17						
		28		28						

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.1-8 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (屋外配管ダクト (タービン建物～排気筒)) (1/3)

構造物名	節点番号		標高* EL (m)	設計用震度 I		設計用震度 II	
				震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$		S d	
	水平方向	鉛直方向		水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向
屋外配管ダクト (タービン建物～排気筒)	6033	6033	7.500～ 5.500	0.70	0.43	0.96	0.65
	6045	6045					
	6054	6054					
	6062	6062					
	6070	6070					
	6008	6008					
	6020	6020					

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.1-8 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (屋外配管ダクト (タービン建物~排気筒)) (2/3)

構造物名	節点番号		標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$			
				設計用震度 I		設計用震度 II	
	水平方向	鉛直方向	S d		S d		
屋外配管ダクト (タービン建物~排気筒)	6033	6033	7.500~ 5.500	0.84	0.52	1.16	0.77
	6045	6045					
	6054	6054					
	6062	6062					
	6070	6070					
	6008	6008					
	6020	6020					

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.1-8 設計用震度 (S d) 及び静的震度 (屋外配管ダクト (タービン建物~排気筒) (3/3))

構造物名	節点番号		標高* EL (m)	静的震度	
	水平方向	鉛直方向		3.6・C _i	1.2・C _v
				鉛直方向	
屋外配管ダクト (タービン建物~排気筒)	6033	6033	7.500~ 5.500	0.58	0.29
	6045	6045			
	6054	6054			
	6062	6062			
	6070	6070			
	6008	6008			
	6020	6020			

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.2-1 設計用床応答スペクトル (S d) 一覧表 (原子炉建物) (1/6)

地震波	建物機器	方向	質点番号	標高 EL(m)	減衰定数 (%)	図番
S d	原子炉建物	NS 方向	6, 20	63.500	0.5	NS2 - RB - SdNS - RB 1
					1.0	NS2 - RB - SdNS - RB 2
					1.5	NS2 - RB - SdNS - RB 3
					2.0	NS2 - RB - SdNS - RB 4
					2.5	NS2 - RB - SdNS - RB 5
					3.0	NS2 - RB - SdNS - RB 6
					4.0	NS2 - RB - SdNS - RB 7
			5.0	NS2 - RB - SdNS - RB 8		
			7, 21	51.700	0.5	NS2 - RB - SdNS - RB 9
					1.0	NS2 - RB - SdNS - RB 10
					1.5	NS2 - RB - SdNS - RB 11
					2.0	NS2 - RB - SdNS - RB 12
					2.5	NS2 - RB - SdNS - RB 13
					3.0	NS2 - RB - SdNS - RB 14
					4.0	NS2 - RB - SdNS - RB 15
			5.0	NS2 - RB - SdNS - RB 16		
			8, 14, 22, 28	42.800	0.5	NS2 - RB - SdNS - RB 17
					1.0	NS2 - RB - SdNS - RB 18
					1.5	NS2 - RB - SdNS - RB 19
					2.0	NS2 - RB - SdNS - RB 20
					2.5	NS2 - RB - SdNS - RB 21
					3.0	NS2 - RB - SdNS - RB 22
					4.0	NS2 - RB - SdNS - RB 23
			5.0	NS2 - RB - SdNS - RB 24		
			1, 9, 15, 23, 29	34.800	0.5	NS2 - RB - SdNS - RB 25
					1.0	NS2 - RB - SdNS - RB 26
					1.5	NS2 - RB - SdNS - RB 27
					2.0	NS2 - RB - SdNS - RB 28
					2.5	NS2 - RB - SdNS - RB 29
					3.0	NS2 - RB - SdNS - RB 30
					4.0	NS2 - RB - SdNS - RB 31
			5.0	NS2 - RB - SdNS - RB 32		
			2, 10, 16, 24, 30	30.500	0.5	NS2 - RB - SdNS - RB 33
					1.0	NS2 - RB - SdNS - RB 34
					1.5	NS2 - RB - SdNS - RB 35
					2.0	NS2 - RB - SdNS - RB 36
					2.5	NS2 - RB - SdNS - RB 37
					3.0	NS2 - RB - SdNS - RB 38
					4.0	NS2 - RB - SdNS - RB 39
			5.0	NS2 - RB - SdNS - RB 40		
			10, 16, 24	30.500 (燃料プール)	0.5	NS2 - RB - SdNS - RB 41
					1.0	NS2 - RB - SdNS - RB 42
					1.5	NS2 - RB - SdNS - RB 43
					2.0	NS2 - RB - SdNS - RB 44
					2.5	NS2 - RB - SdNS - RB 45
					3.0	NS2 - RB - SdNS - RB 46
					4.0	NS2 - RB - SdNS - RB 47
			5.0	NS2 - RB - SdNS - RB 48		

表 4.2-1 設計用床応答スペクトル (S d) 一覧表 (原子炉建物) (2/6)

地震波	建物機器	方向	質点番号	標高 EL(m)	減衰定数(%)	図番
S d	原子炉建物	NS 方向	3, 11, 17, 25, 31	23. 800	0. 5	NS2 - RB - SdNS - RB 49
					1. 0	NS2 - RB - SdNS - RB 50
					1. 5	NS2 - RB - SdNS - RB 51
					2. 0	NS2 - RB - SdNS - RB 52
					2. 5	NS2 - RB - SdNS - RB 53
					3. 0	NS2 - RB - SdNS - RB 54
					4. 0	NS2 - RB - SdNS - RB 55
			5. 0	NS2 - RB - SdNS - RB 56		
			4, 12, 18, 26, 32	15. 300	0. 5	NS2 - RB - SdNS - RB 57
					1. 0	NS2 - RB - SdNS - RB 58
					1. 5	NS2 - RB - SdNS - RB 59
					2. 0	NS2 - RB - SdNS - RB 60
					2. 5	NS2 - RB - SdNS - RB 61
					3. 0	NS2 - RB - SdNS - RB 62
					4. 0	NS2 - RB - SdNS - RB 63
			5. 0	NS2 - RB - SdNS - RB 64		
			19	10. 100	0. 5	NS2 - RB - SdNS - RB 65
					1. 0	NS2 - RB - SdNS - RB 66
					1. 5	NS2 - RB - SdNS - RB 67
					2. 0	NS2 - RB - SdNS - RB 68
					2. 5	NS2 - RB - SdNS - RB 69
					3. 0	NS2 - RB - SdNS - RB 70
					4. 0	NS2 - RB - SdNS - RB 71
			5. 0	NS2 - RB - SdNS - RB 72		
			5, 13, 27, 33	8. 800	0. 5	NS2 - RB - SdNS - RB 73
					1. 0	NS2 - RB - SdNS - RB 74
					1. 5	NS2 - RB - SdNS - RB 75
					2. 0	NS2 - RB - SdNS - RB 76
					2. 5	NS2 - RB - SdNS - RB 77
					3. 0	NS2 - RB - SdNS - RB 78
					4. 0	NS2 - RB - SdNS - RB 79
			5. 0	NS2 - RB - SdNS - RB 80		
			34	1. 300	0. 5	NS2 - RB - SdNS - RB 81
					1. 0	NS2 - RB - SdNS - RB 82
					1. 5	NS2 - RB - SdNS - RB 83
					2. 0	NS2 - RB - SdNS - RB 84
					2. 5	NS2 - RB - SdNS - RB 85
					3. 0	NS2 - RB - SdNS - RB 86
					4. 0	NS2 - RB - SdNS - RB 87
			5. 0	NS2 - RB - SdNS - RB 88		
			35	-4. 700	0. 5	NS2 - RB - SdNS - RB 89
					1. 0	NS2 - RB - SdNS - RB 90
					1. 5	NS2 - RB - SdNS - RB 91
					2. 0	NS2 - RB - SdNS - RB 92
					2. 5	NS2 - RB - SdNS - RB 93
3. 0	NS2 - RB - SdNS - RB 94					
4. 0	NS2 - RB - SdNS - RB 95					
5. 0	NS2 - RB - SdNS - RB 96					

赤枠部：今回の提出範囲

表 4.2-1 設計用床応答スペクトル (S d) 一覧表 (原子炉建物) (3/6)

地震波	建物機器	方向	質点番号	標高 EL(m)	減衰定数(%)	図番
S d	原子炉建物	EW 方向	3, 17	63.500	0.5	NS2 - RB - SdEW - RB 1
					1.0	NS2 - RB - SdEW - RB 2
					1.5	NS2 - RB - SdEW - RB 3
					2.0	NS2 - RB - SdEW - RB 4
					2.5	NS2 - RB - SdEW - RB 5
					3.0	NS2 - RB - SdEW - RB 6
					4.0	NS2 - RB - SdEW - RB 7
					5.0	NS2 - RB - SdEW - RB 8
			4, 18, 22	51.700	0.5	NS2 - RB - SdEW - RB 9
					1.0	NS2 - RB - SdEW - RB 10
					1.5	NS2 - RB - SdEW - RB 11
					2.0	NS2 - RB - SdEW - RB 12
					2.5	NS2 - RB - SdEW - RB 13
					3.0	NS2 - RB - SdEW - RB 14
					4.0	NS2 - RB - SdEW - RB 15
					5.0	NS2 - RB - SdEW - RB 16
			5, 11, 19, 23	42.800	0.5	NS2 - RB - SdEW - RB 17
					1.0	NS2 - RB - SdEW - RB 18
					1.5	NS2 - RB - SdEW - RB 19
					2.0	NS2 - RB - SdEW - RB 20
					2.5	NS2 - RB - SdEW - RB 21
					3.0	NS2 - RB - SdEW - RB 22
					4.0	NS2 - RB - SdEW - RB 23
					5.0	NS2 - RB - SdEW - RB 24
			6, 12, 20, 24, 29	34.800	0.5	NS2 - RB - SdEW - RB 25
					1.0	NS2 - RB - SdEW - RB 26
					1.5	NS2 - RB - SdEW - RB 27
					2.0	NS2 - RB - SdEW - RB 28
					2.5	NS2 - RB - SdEW - RB 29
					3.0	NS2 - RB - SdEW - RB 30
					4.0	NS2 - RB - SdEW - RB 31
					5.0	NS2 - RB - SdEW - RB 32
			7, 13, 21, 25, 30	30.500	0.5	NS2 - RB - SdEW - RB 33
					1.0	NS2 - RB - SdEW - RB 34
					1.5	NS2 - RB - SdEW - RB 35
					2.0	NS2 - RB - SdEW - RB 36
					2.5	NS2 - RB - SdEW - RB 37
					3.0	NS2 - RB - SdEW - RB 38
					4.0	NS2 - RB - SdEW - RB 39
					5.0	NS2 - RB - SdEW - RB 40
			13, 21	30.500 (燃料プール)	0.5	NS2 - RB - SdEW - RB 41
					1.0	NS2 - RB - SdEW - RB 42
					1.5	NS2 - RB - SdEW - RB 43
					2.0	NS2 - RB - SdEW - RB 44
					2.5	NS2 - RB - SdEW - RB 45
					3.0	NS2 - RB - SdEW - RB 46
					4.0	NS2 - RB - SdEW - RB 47
					5.0	NS2 - RB - SdEW - RB 48

表 4.2-1 設計用床応答スペクトル (S d) 一覧表 (原子炉建物) (4/6)

地震波	建物機器	方向	質点番号	標高 EL(m)	減衰定数(%)	図番
S d	原子炉建物	EW 方向	8, 14, 26, 31	23.800	0.5	NS2 - RB - SdEW - RB 49
					1.0	NS2 - RB - SdEW - RB 50
					1.5	NS2 - RB - SdEW - RB 51
					2.0	NS2 - RB - SdEW - RB 52
					2.5	NS2 - RB - SdEW - RB 53
					3.0	NS2 - RB - SdEW - RB 54
					4.0	NS2 - RB - SdEW - RB 55
			5.0	NS2 - RB - SdEW - RB 56		
			1, 9, 15, 27, 32	15.300	0.5	NS2 - RB - SdEW - RB 57
					1.0	NS2 - RB - SdEW - RB 58
					1.5	NS2 - RB - SdEW - RB 59
					2.0	NS2 - RB - SdEW - RB 60
					2.5	NS2 - RB - SdEW - RB 61
					3.0	NS2 - RB - SdEW - RB 62
					4.0	NS2 - RB - SdEW - RB 63
			5.0	NS2 - RB - SdEW - RB 64		
			16	10.100	0.5	NS2 - RB - SdEW - RB 65
					1.0	NS2 - RB - SdEW - RB 66
					1.5	NS2 - RB - SdEW - RB 67
					2.0	NS2 - RB - SdEW - RB 68
					2.5	NS2 - RB - SdEW - RB 69
					3.0	NS2 - RB - SdEW - RB 70
					4.0	NS2 - RB - SdEW - RB 71
			5.0	NS2 - RB - SdEW - RB 72		
			2, 10, 28, 33	8.800	0.5	NS2 - RB - SdEW - RB 73
					1.0	NS2 - RB - SdEW - RB 74
					1.5	NS2 - RB - SdEW - RB 75
					2.0	NS2 - RB - SdEW - RB 76
					2.5	NS2 - RB - SdEW - RB 77
					3.0	NS2 - RB - SdEW - RB 78
					4.0	NS2 - RB - SdEW - RB 79
			5.0	NS2 - RB - SdEW - RB 80		
			34	1.300	0.5	NS2 - RB - SdEW - RB 81
					1.0	NS2 - RB - SdEW - RB 82
					1.5	NS2 - RB - SdEW - RB 83
					2.0	NS2 - RB - SdEW - RB 84
					2.5	NS2 - RB - SdEW - RB 85
					3.0	NS2 - RB - SdEW - RB 86
					4.0	NS2 - RB - SdEW - RB 87
			5.0	NS2 - RB - SdEW - RB 88		
			35	-4.700	0.5	NS2 - RB - SdEW - RB 89
					1.0	NS2 - RB - SdEW - RB 90
					1.5	NS2 - RB - SdEW - RB 91
					2.0	NS2 - RB - SdEW - RB 92
					2.5	NS2 - RB - SdEW - RB 93
3.0	NS2 - RB - SdEW - RB 94					
4.0	NS2 - RB - SdEW - RB 95					
5.0	NS2 - RB - SdEW - RB 96					

赤枠部：今回の提出範囲

表 4.2-1 設計用床応答スペクトル (S d) 一覧表 (原子炉建物) (5/6)

地震波	建物機器	方向	質点番号	標高 EL(m)	減衰定数(%)	図番
S d	原子炉建物	鉛直 方向	7	63.500	0.5	NS2 - RB - SdV - RB 1
					1.0	NS2 - RB - SdV - RB 2
					1.5	NS2 - RB - SdV - RB 3
					2.0	NS2 - RB - SdV - RB 4
					2.5	NS2 - RB - SdV - RB 5
					3.0	NS2 - RB - SdV - RB 6
					4.0	NS2 - RB - SdV - RB 7
					5.0	NS2 - RB - SdV - RB 8
			8	51.700	0.5	NS2 - RB - SdV - RB 9
					1.0	NS2 - RB - SdV - RB 10
					1.5	NS2 - RB - SdV - RB 11
					2.0	NS2 - RB - SdV - RB 12
					2.5	NS2 - RB - SdV - RB 13
					3.0	NS2 - RB - SdV - RB 14
					4.0	NS2 - RB - SdV - RB 15
					5.0	NS2 - RB - SdV - RB 16
			9, 17	42.800	0.5	NS2 - RB - SdV - RB 17
					1.0	NS2 - RB - SdV - RB 18
					1.5	NS2 - RB - SdV - RB 19
					2.0	NS2 - RB - SdV - RB 20
					2.5	NS2 - RB - SdV - RB 21
					3.0	NS2 - RB - SdV - RB 22
					4.0	NS2 - RB - SdV - RB 23
					5.0	NS2 - RB - SdV - RB 24
			1, 10, 18	34.800	0.5	NS2 - RB - SdV - RB 25
					1.0	NS2 - RB - SdV - RB 26
					1.5	NS2 - RB - SdV - RB 27
					2.0	NS2 - RB - SdV - RB 28
					2.5	NS2 - RB - SdV - RB 29
					3.0	NS2 - RB - SdV - RB 30
					4.0	NS2 - RB - SdV - RB 31
					5.0	NS2 - RB - SdV - RB 32
			2, 11, 19	30.500	0.5	NS2 - RB - SdV - RB 33
					1.0	NS2 - RB - SdV - RB 34
					1.5	NS2 - RB - SdV - RB 35
					2.0	NS2 - RB - SdV - RB 36
					2.5	NS2 - RB - SdV - RB 37
					3.0	NS2 - RB - SdV - RB 38
					4.0	NS2 - RB - SdV - RB 39
					5.0	NS2 - RB - SdV - RB 40
			11, 19	30.500 (燃料プール)	0.5	NS2 - RB - SdV - RB 41
					1.0	NS2 - RB - SdV - RB 42
					1.5	NS2 - RB - SdV - RB 43
					2.0	NS2 - RB - SdV - RB 44
					2.5	NS2 - RB - SdV - RB 45
					3.0	NS2 - RB - SdV - RB 46
					4.0	NS2 - RB - SdV - RB 47
					5.0	NS2 - RB - SdV - RB 48

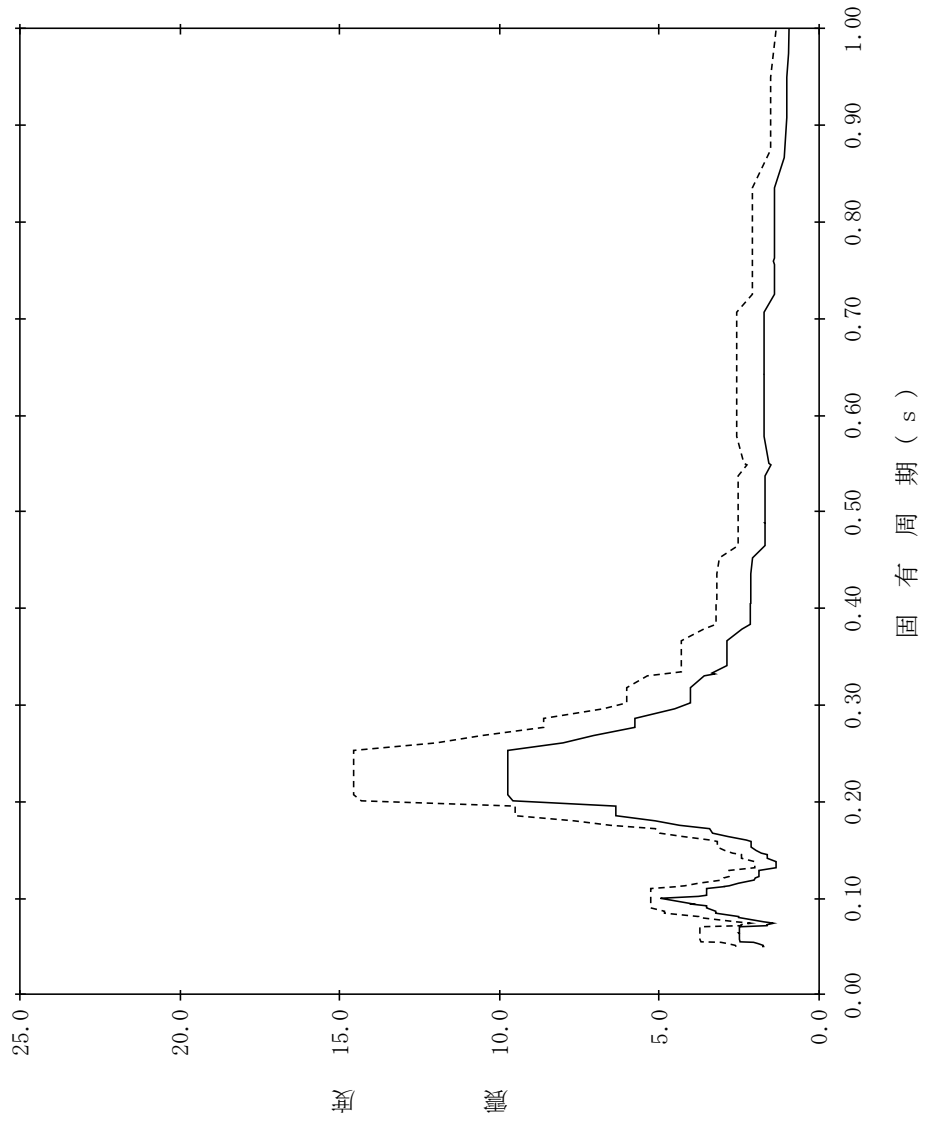
表 4.2-1 設計用床応答スペクトル (S d) 一覧表 (原子炉建物) (6/6)

地震波	建物機器	方向	質点番号	標高 EL(m)	減衰定数(%)	図番
S d	原子炉建物	鉛直方向	3, 12, 20	23.800	0.5	NS2 - RB - SdV - RB 49
					1.0	NS2 - RB - SdV - RB 50
					1.5	NS2 - RB - SdV - RB 51
					2.0	NS2 - RB - SdV - RB 52
					2.5	NS2 - RB - SdV - RB 53
					3.0	NS2 - RB - SdV - RB 54
					4.0	NS2 - RB - SdV - RB 55
			5.0	NS2 - RB - SdV - RB 56		
			4, 13, 21	15.300	0.5	NS2 - RB - SdV - RB 57
					1.0	NS2 - RB - SdV - RB 58
					1.5	NS2 - RB - SdV - RB 59
					2.0	NS2 - RB - SdV - RB 60
					2.5	NS2 - RB - SdV - RB 61
					3.0	NS2 - RB - SdV - RB 62
					4.0	NS2 - RB - SdV - RB 63
			22	10.100	0.5	NS2 - RB - SdV - RB 65
					1.0	NS2 - RB - SdV - RB 66
					1.5	NS2 - RB - SdV - RB 67
					2.0	NS2 - RB - SdV - RB 68
					2.5	NS2 - RB - SdV - RB 69
					3.0	NS2 - RB - SdV - RB 70
					4.0	NS2 - RB - SdV - RB 71
			5, 14	8.800	0.5	NS2 - RB - SdV - RB 72
					1.0	NS2 - RB - SdV - RB 73
					1.5	NS2 - RB - SdV - RB 74
					2.0	NS2 - RB - SdV - RB 75
					2.5	NS2 - RB - SdV - RB 76
					3.0	NS2 - RB - SdV - RB 77
					4.0	NS2 - RB - SdV - RB 78
			6, 15, 23	1.300	0.5	NS2 - RB - SdV - RB 79
1.0	NS2 - RB - SdV - RB 80					
1.5	NS2 - RB - SdV - RB 81					
2.0	NS2 - RB - SdV - RB 82					
2.5	NS2 - RB - SdV - RB 83					
3.0	NS2 - RB - SdV - RB 84					
4.0	NS2 - RB - SdV - RB 85					
16	-4.700	0.5	NS2 - RB - SdV - RB 86			
		1.0	NS2 - RB - SdV - RB 87			
		1.5	NS2 - RB - SdV - RB 88			
		2.0	NS2 - RB - SdV - RB 89			
		2.5	NS2 - RB - SdV - RB 90			
		3.0	NS2 - RB - SdV - RB 91			
		4.0	NS2 - RB - SdV - RB 92			
5.0	NS2 - RB - SdV - RB 93					
0.5	NS2 - RB - SdV - RB 94					
1.0	NS2 - RB - SdV - RB 95					
1.5	NS2 - RB - SdV - RB 96					

赤枠部：今回の提出範囲

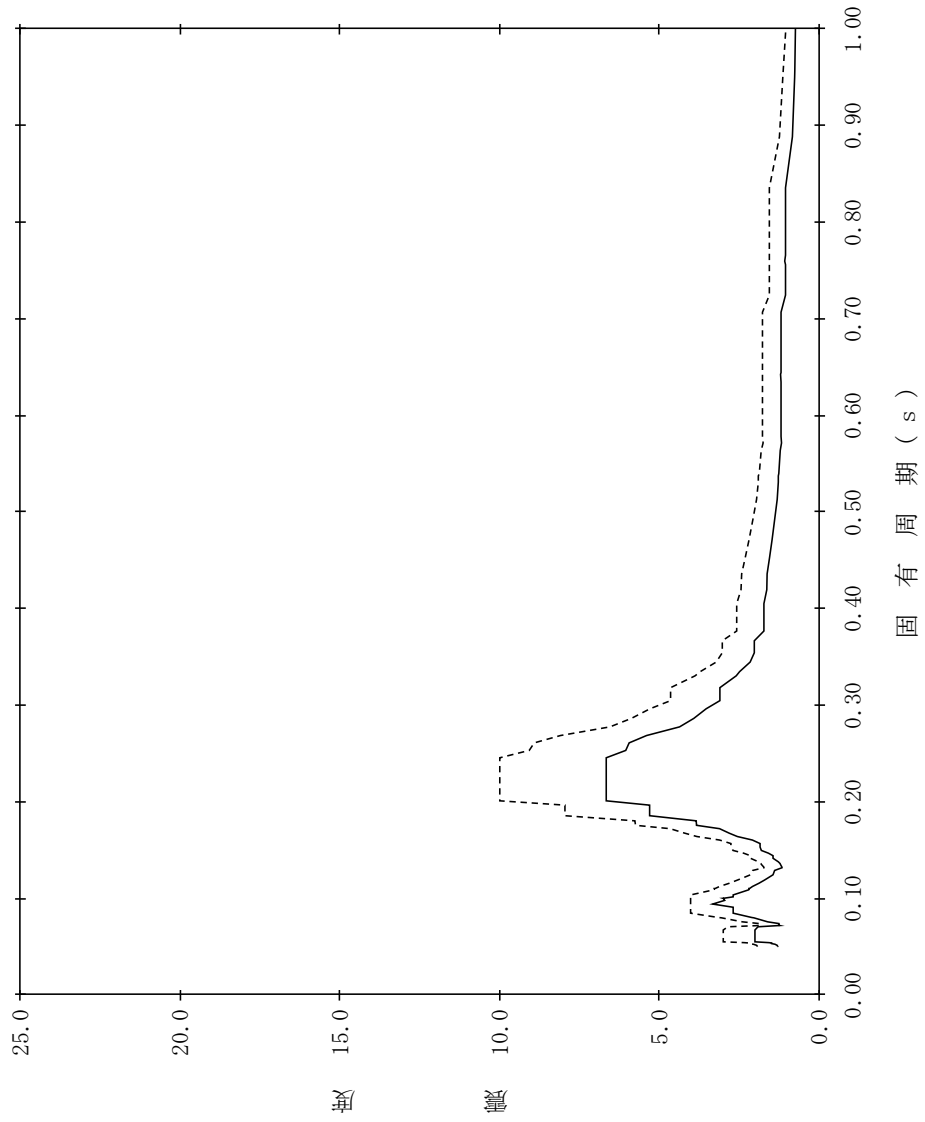
【NS2-RB-SdNS-RB49】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：0.5%
 波形名：弾性設計用地震動 S d
 設計用床応答スペクトル I (NS方向)
 設計用床応答スペクトル II (NS方向)



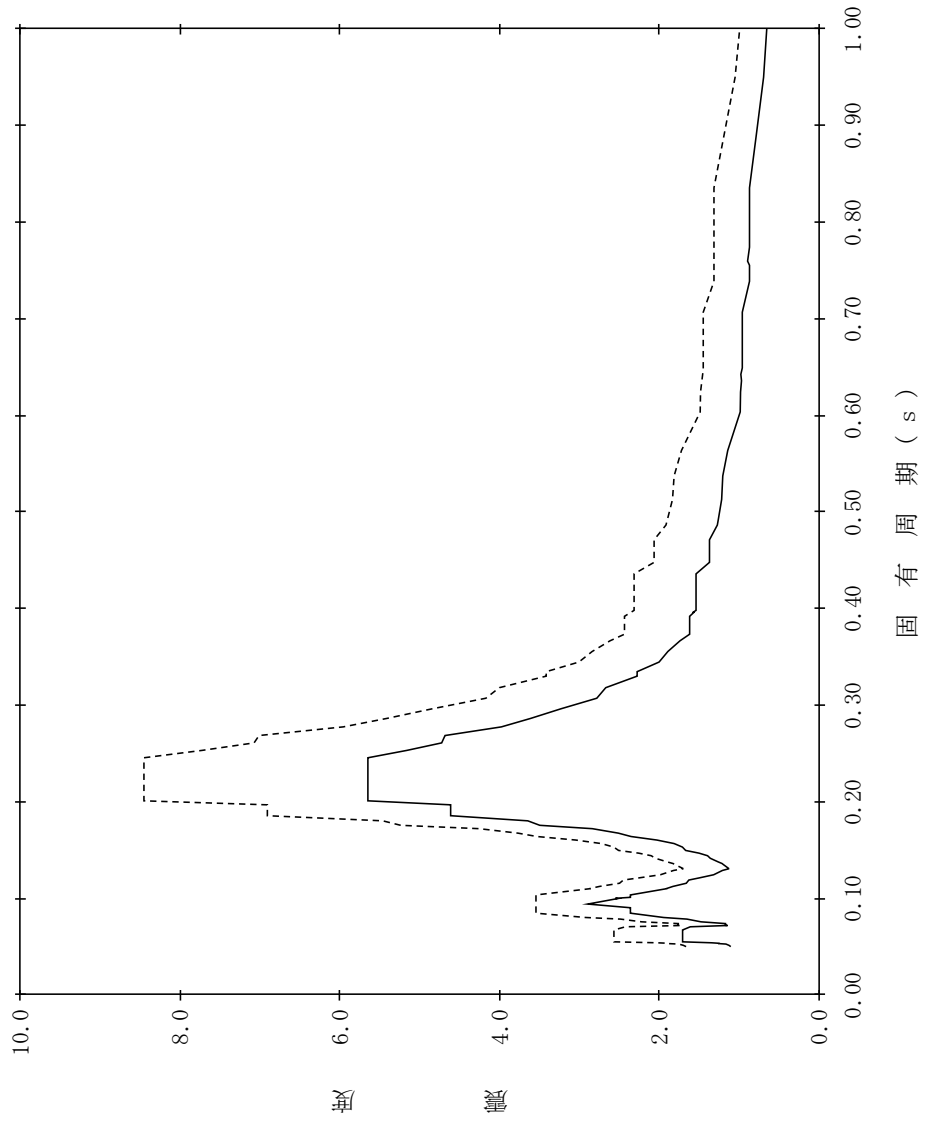
【NS2-RB-SdNS-RB50】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：1.0%
 波形名：弾性設計用地震動 S d
 設計用床応答スペクトル I (NS方向)
 設計用床応答スペクトル II (NS方向)



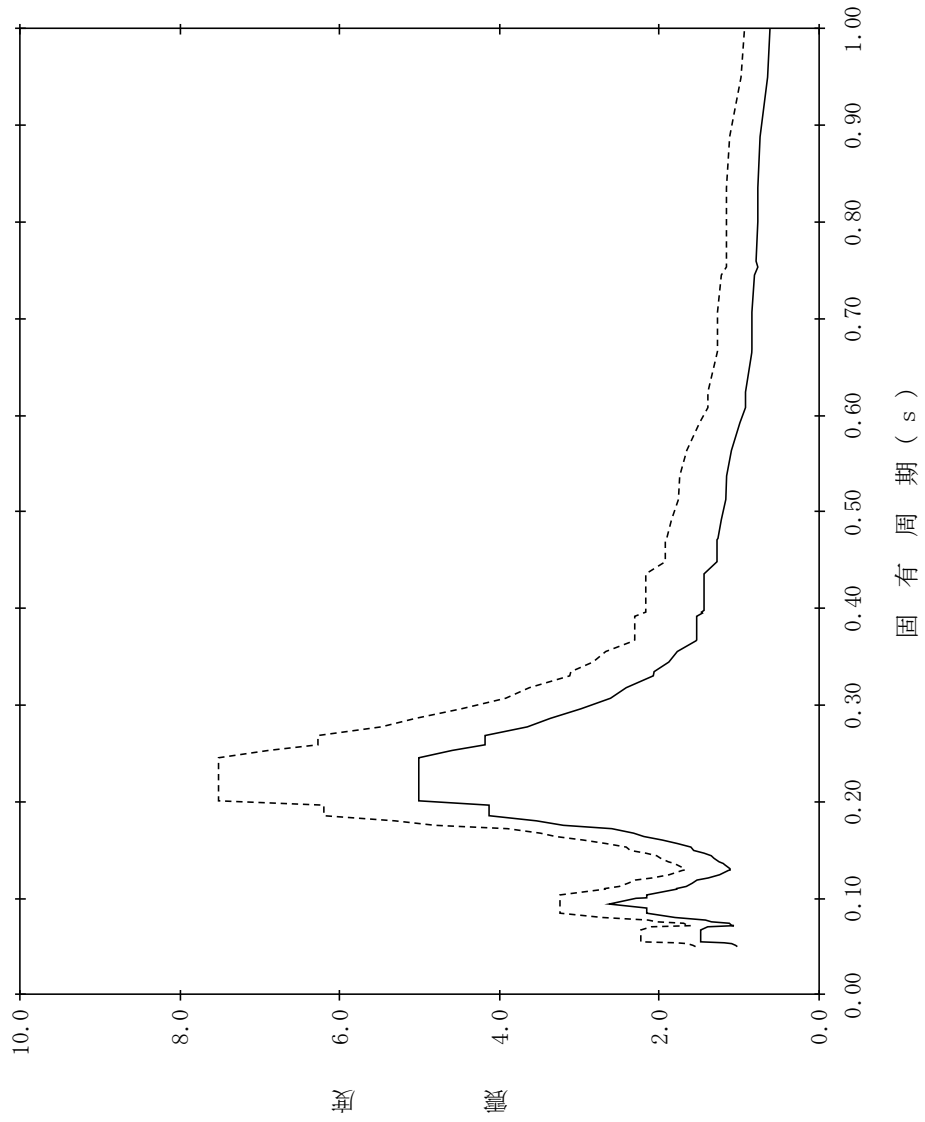
【NS2-RB-SdNS-RB51】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：1.5%
 波形名：弾性設計用地震動 S d
 設計用床応答スペクトル I (NS方向)
 設計用床応答スペクトル II (NS方向)



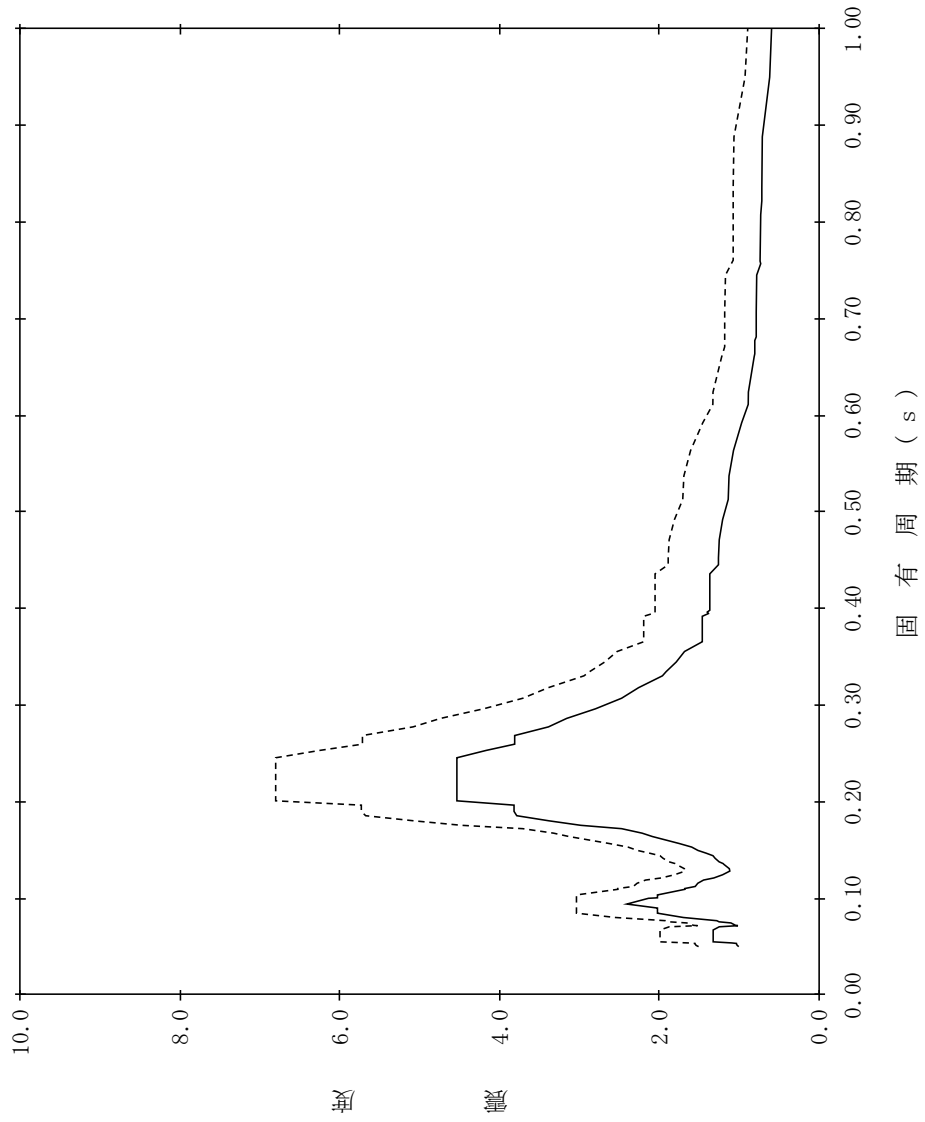
【NS2-RB-SdNS-RB52】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：2.0%
 波形名：弾性設計用地震動 S d
 設計用床応答スペクトル I (NS方向)
 設計用床応答スペクトル II (NS方向)



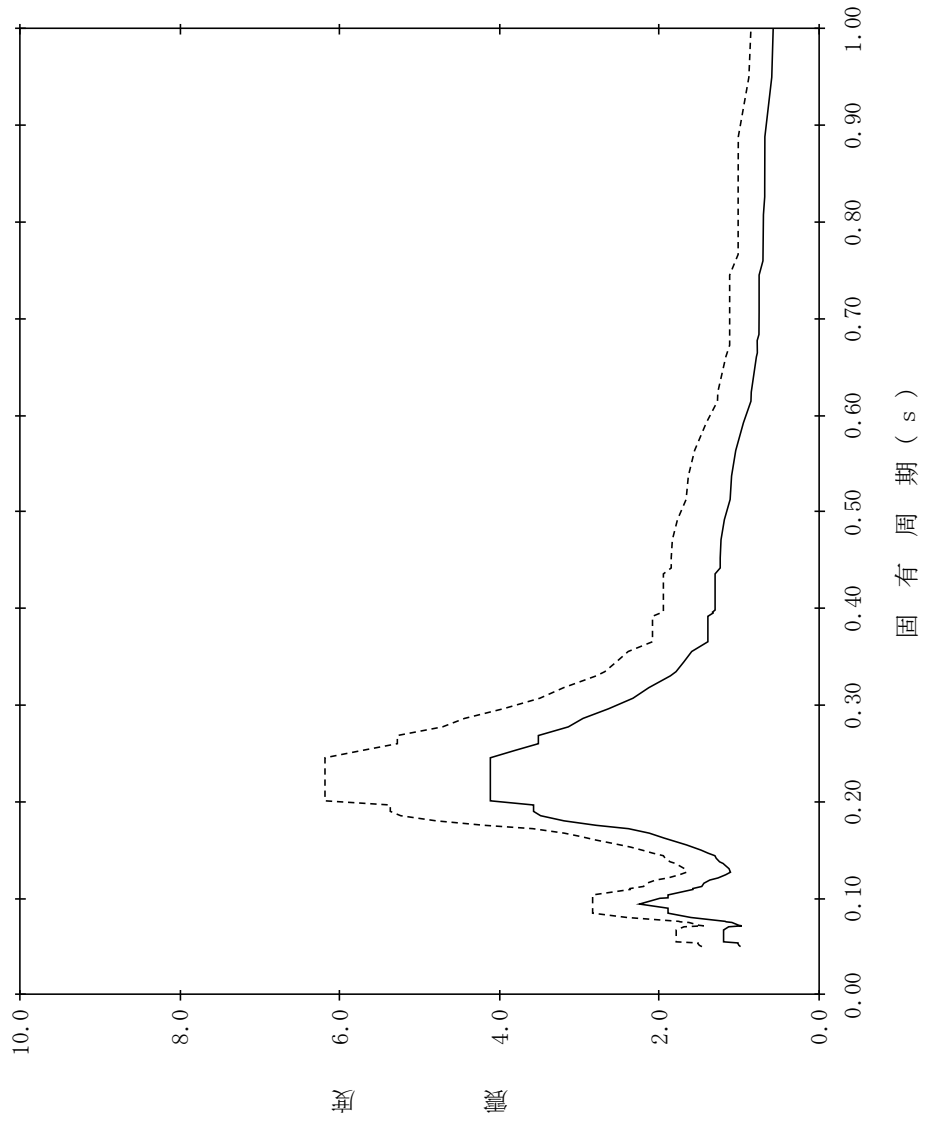
【NS2-RB-SdNS-RB53】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：2.5%
 波形名：弾性設計用地震動 S d
 設計用床応答スペクトル I (NS方向)
 設計用床応答スペクトル II (NS方向)



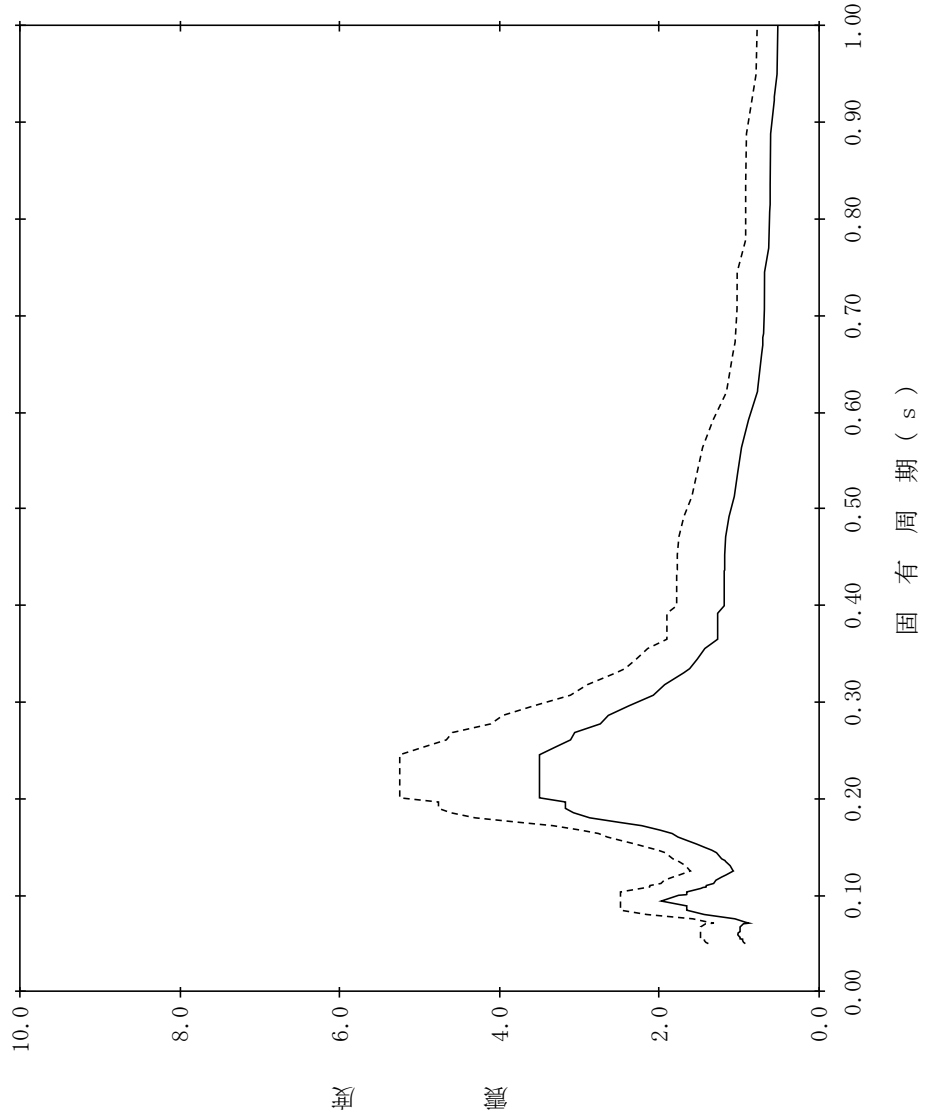
【NS2-RB-SdNS-RB54】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：3.0%
 波形名：弾性設計用地震動 S d
 設計用床応答スペクトル I (NS方向)
 設計用床応答スペクトル II (NS方向)



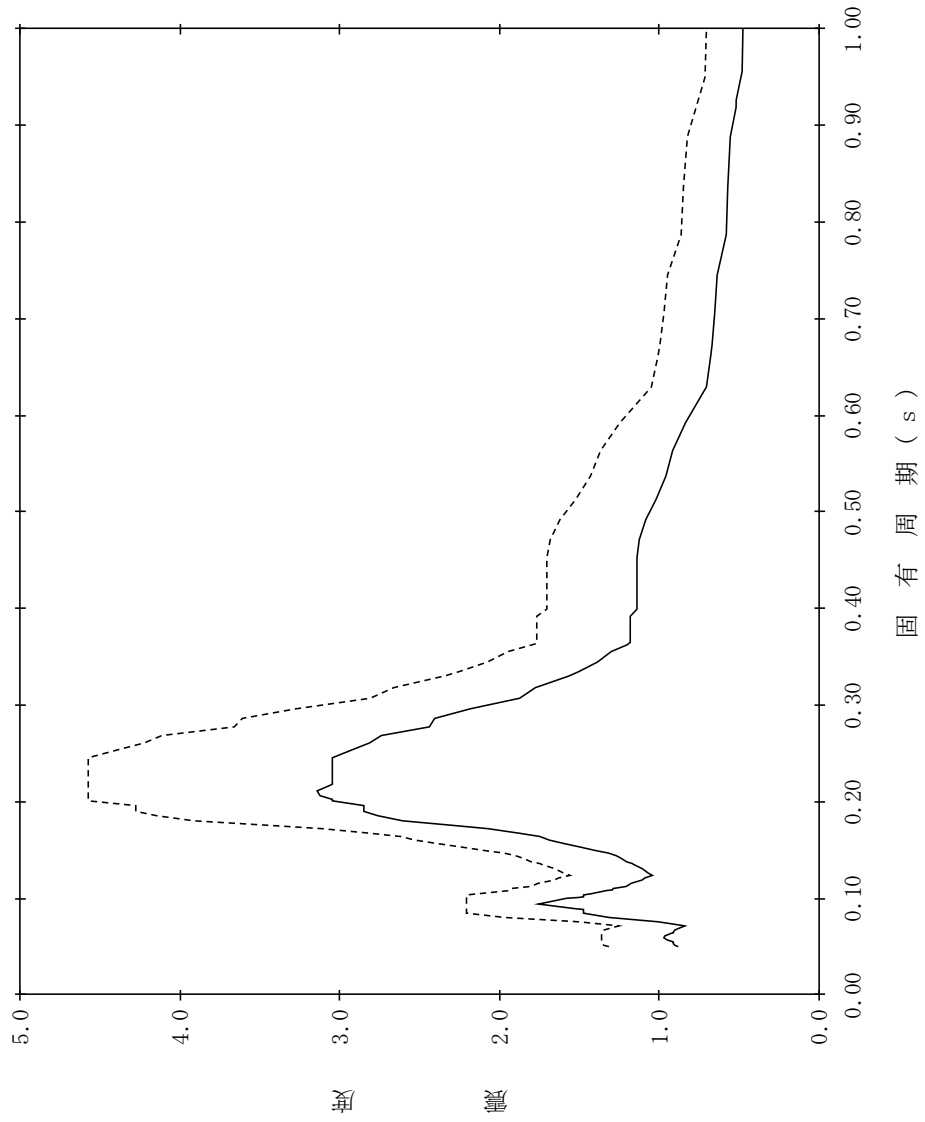
【NS2-RB-SdNS-RB55】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：4.0%
 波形名：弾性設計用地震動 S d
 設計用床応答スペクトル I (NS方向)
 設計用床応答スペクトル II (NS方向)



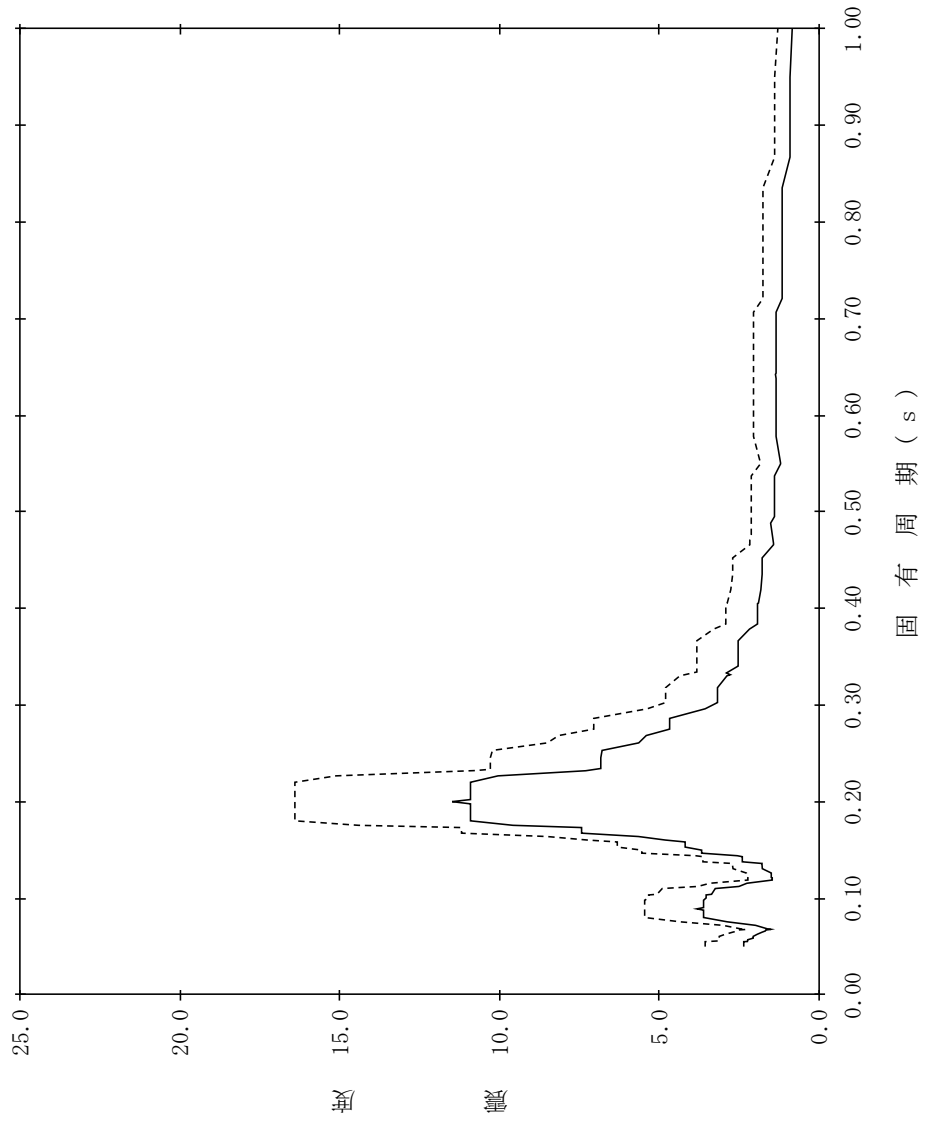
【NS2-RB-SdNS-RB56】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：5.0%
 波形名：弾性設計用地震動 S d
 設計用床応答スペクトル I (NS方向)
 設計用床応答スペクトル II (NS方向)



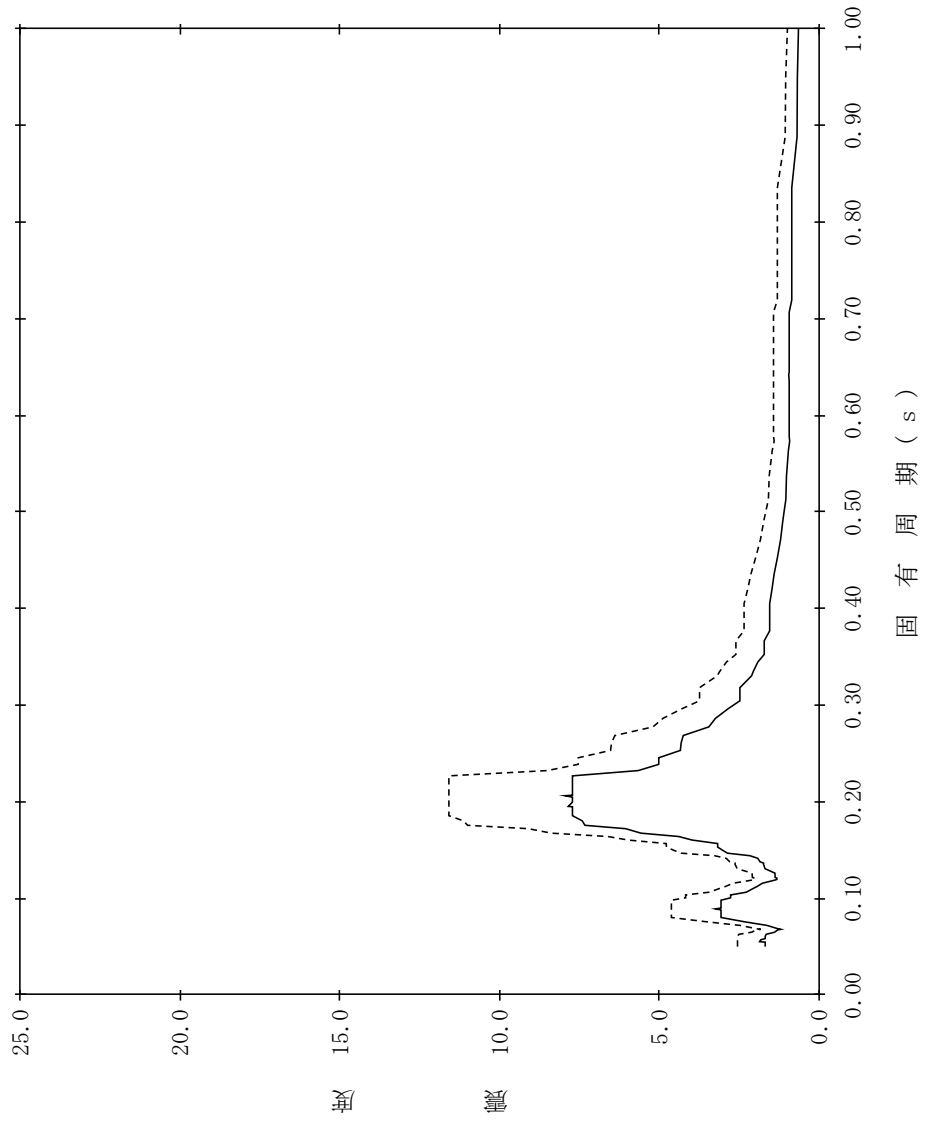
【NS2-RB-SdEW-RB49】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：0.5%
 波形名：弾性設計用地震動 S d
 設計用床応答スペクトル I (EW方向)
 設計用床応答スペクトル II (EW方向)



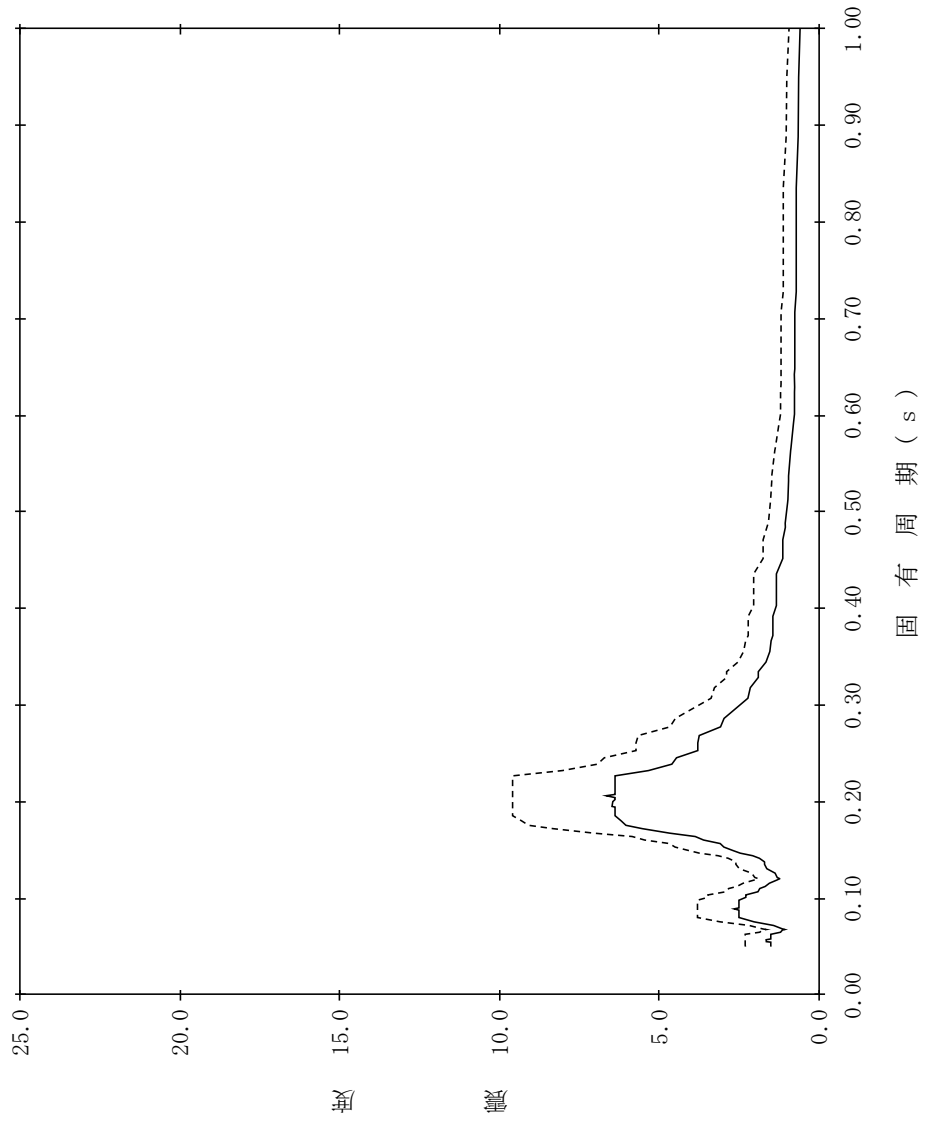
【NS2-RB-SdEW-RB50】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：1.0%
 波形名：弾性設計用地震動 S d
 設計用床応答スペクトル I (EW方向)
 設計用床応答スペクトル II (EW方向)



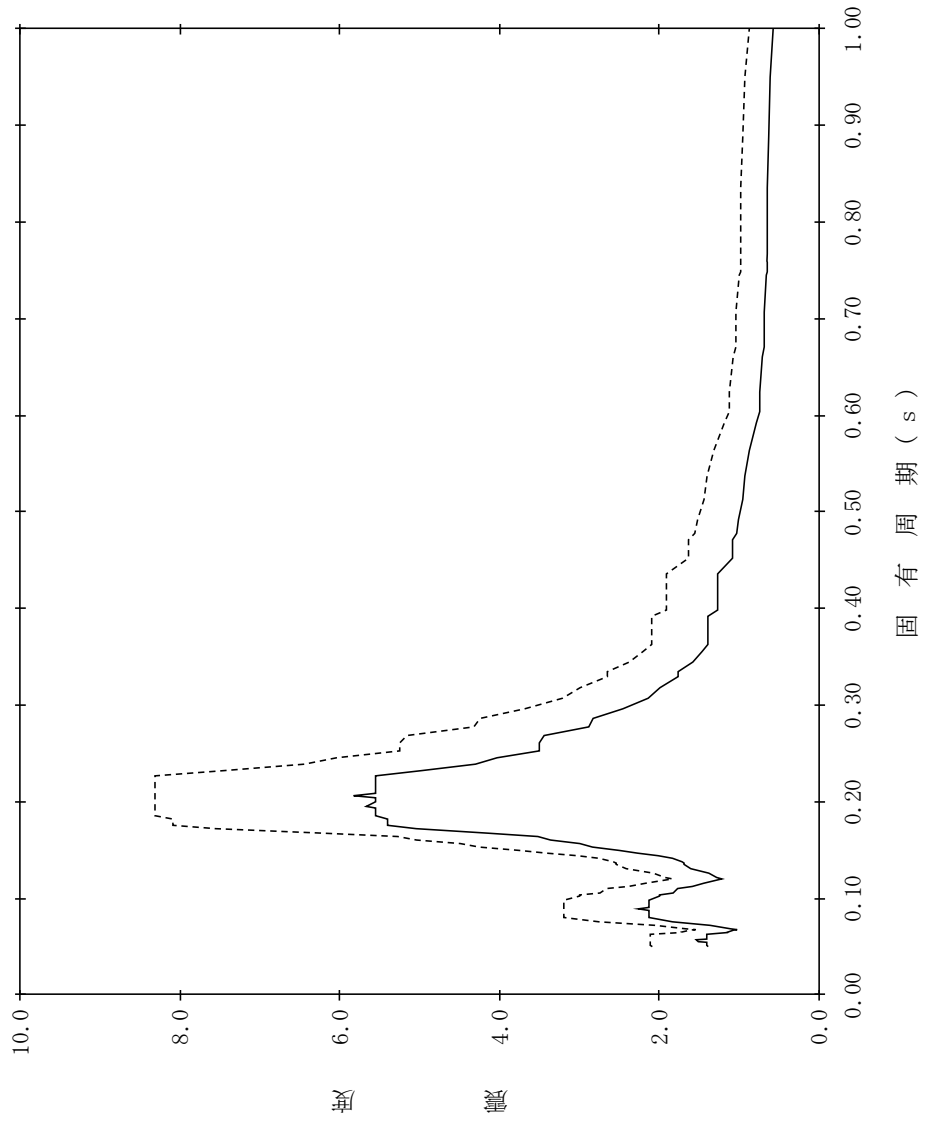
【NS2-RB-SdEW-RB51】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：1.5%
 波形名：弾性設計用地震動 S d
 設計用床応答スペクトル I (EW方向)
 設計用床応答スペクトル II (EW方向)



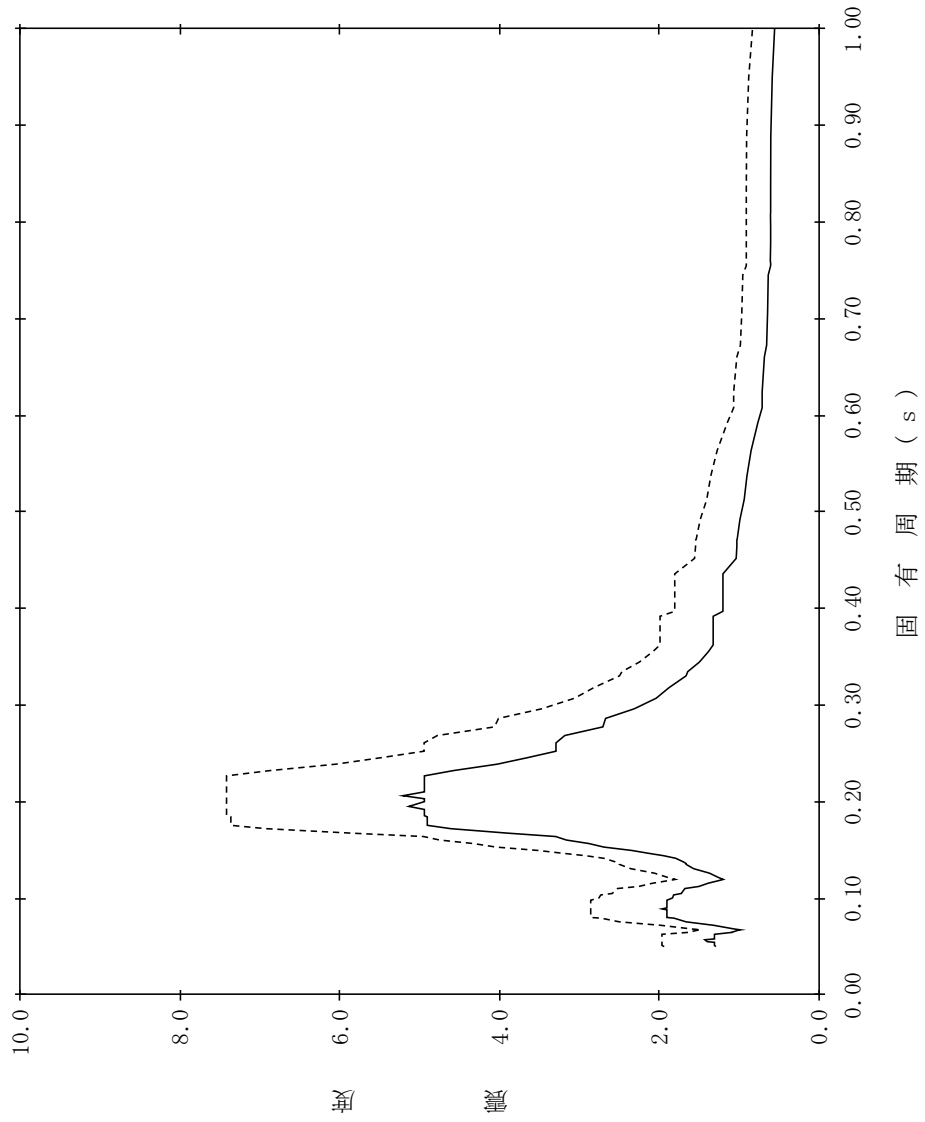
【NS2-RB-SdEW-RB52】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：2.0%
 波形名：弾性設計用地震動 S d
 設計用床応答スペクトル I (EW方向)
 設計用床応答スペクトル II (EW方向)



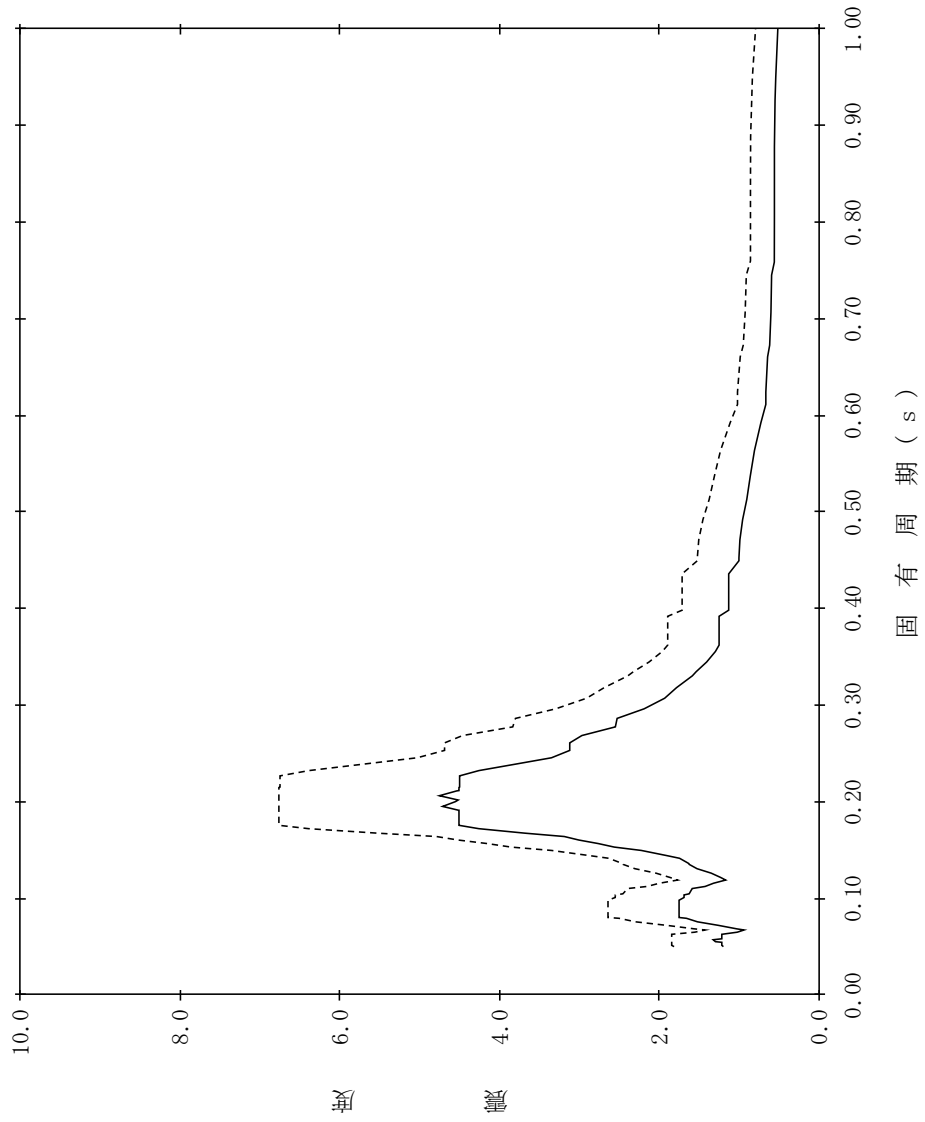
【NS2-RB-SdEW-RB53】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：2.5%
 波形名：弾性設計用地震動 S d
 設計用床応答スペクトル I (EW方向)
 設計用床応答スペクトル II (EW方向)



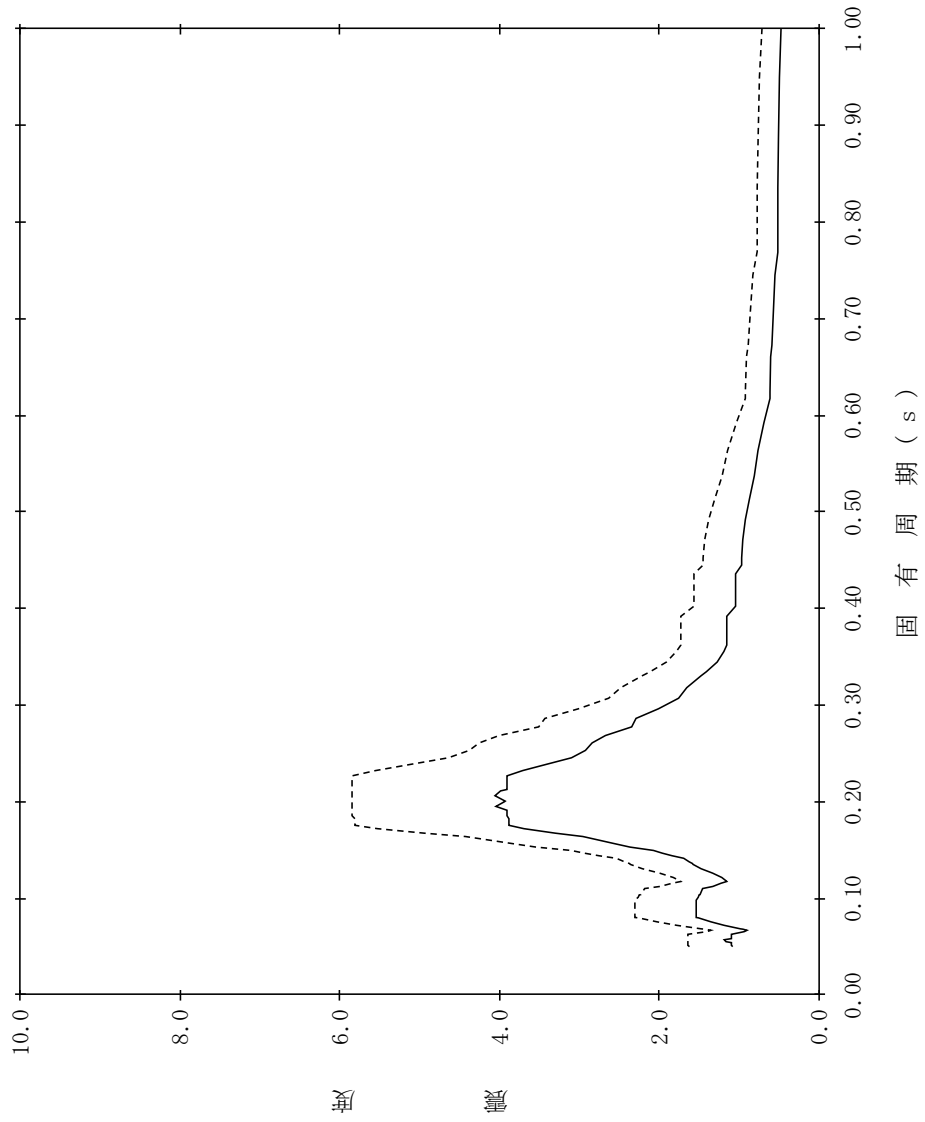
【NS2-RB-SdEW-RB54】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：3.0%
 波形名：弾性設計用地震動 S d
 設計用床応答スペクトル I (EW方向)
 設計用床応答スペクトル II (EW方向)



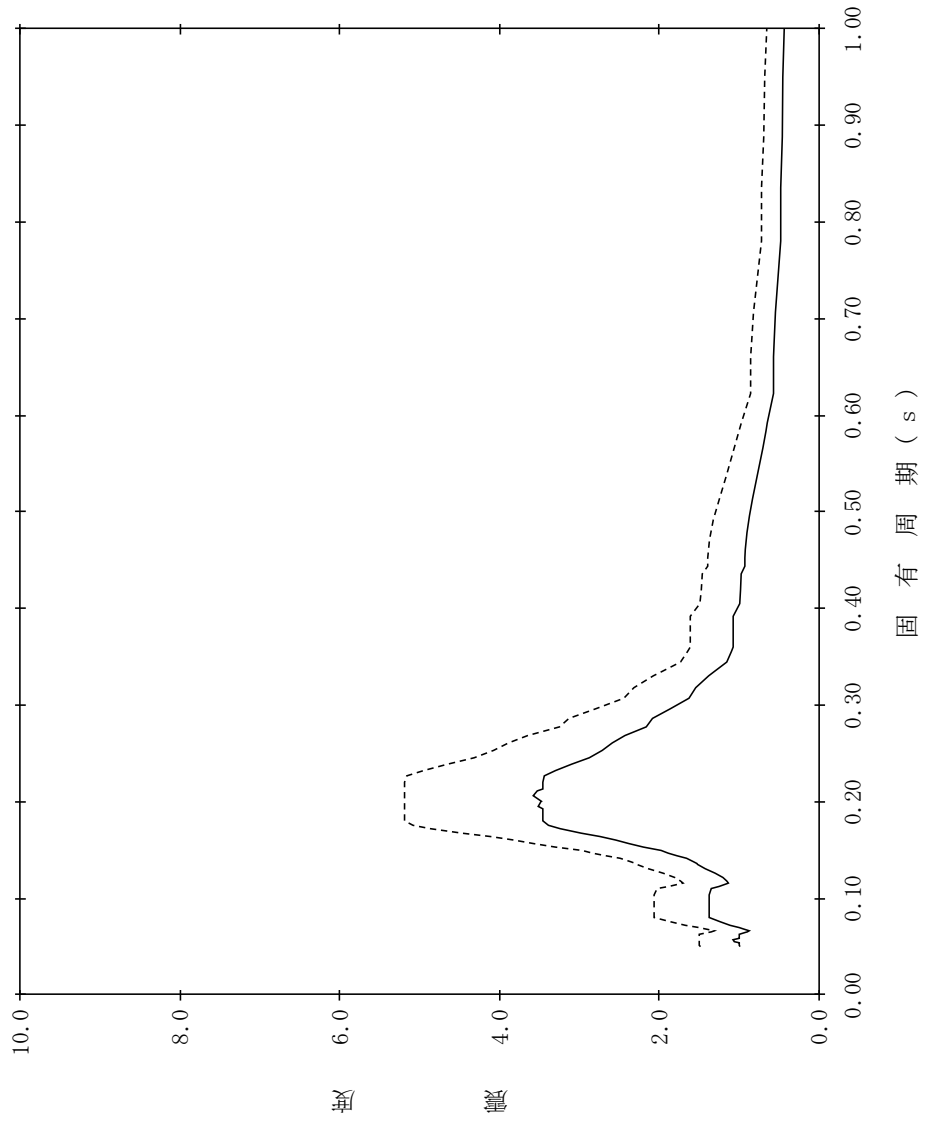
【NS2-RB-SdEW-RB55】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：4.0%
 波形名：弾性設計用地震動 S d
 設計用床応答スペクトル I (EW方向)
 設計用床応答スペクトル II (EW方向)



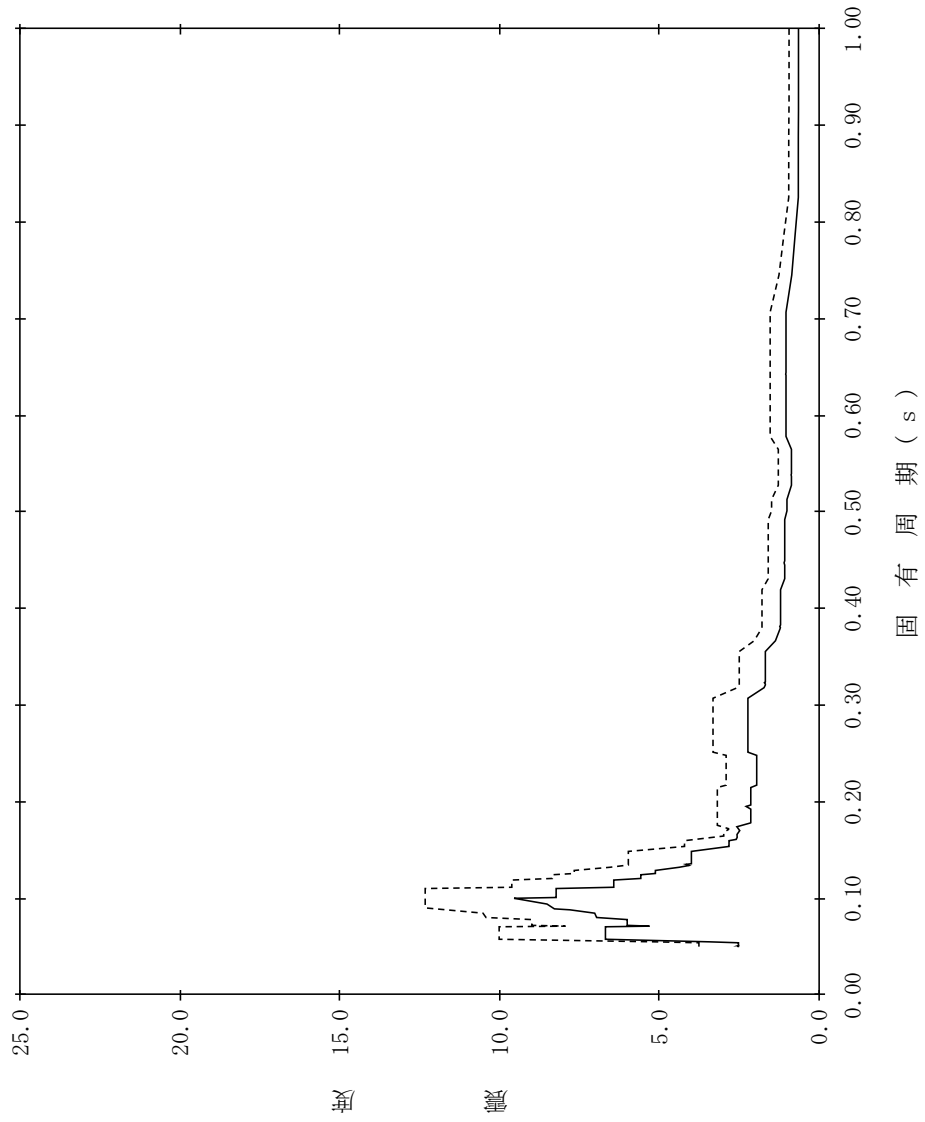
【NS2-RB-SdEW-RB56】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：5.0%
 波形名：弾性設計用地震動 S d
 設計用床応答スペクトル I (EW方向)
 設計用床応答スペクトル II (EW方向)



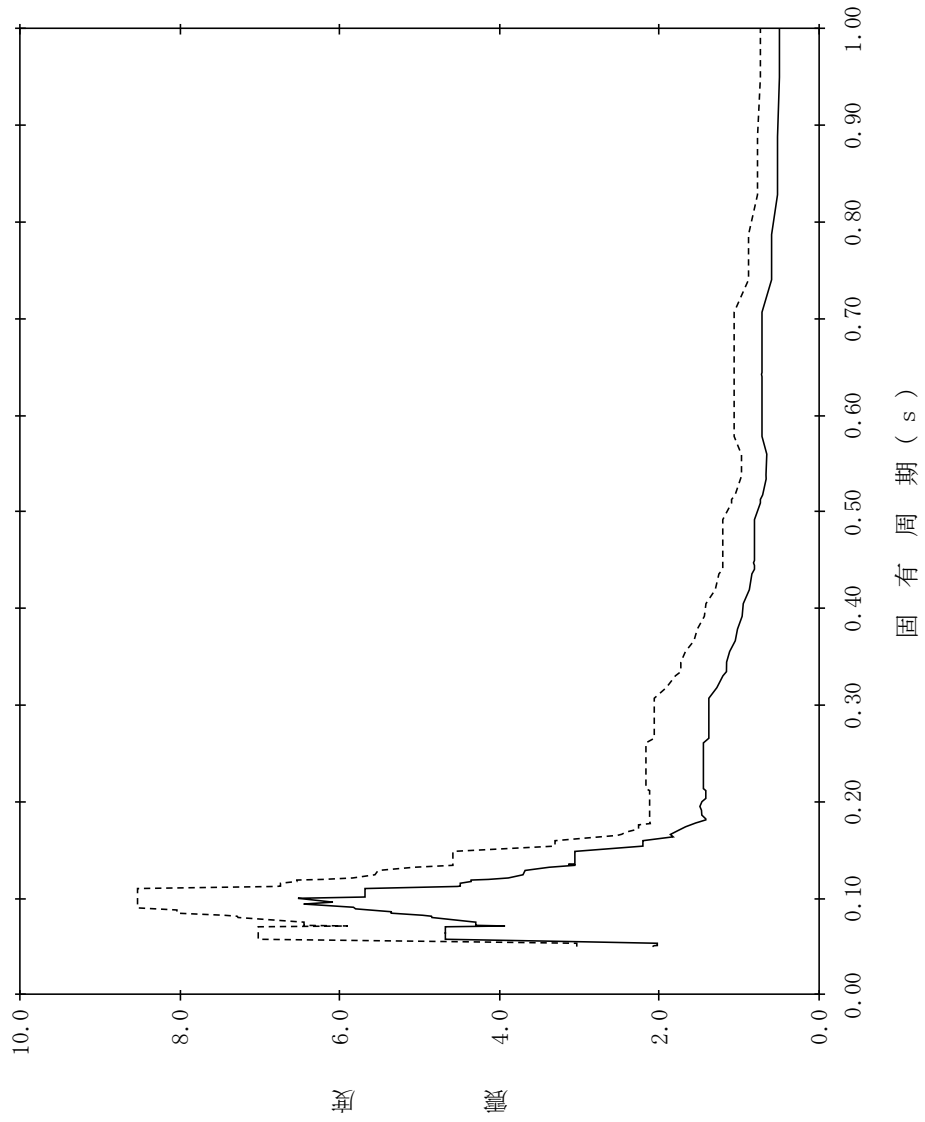
【NS2-RB-SdV-RB49】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：0.5%
 波形名：弾性設計用地震動 S d
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)



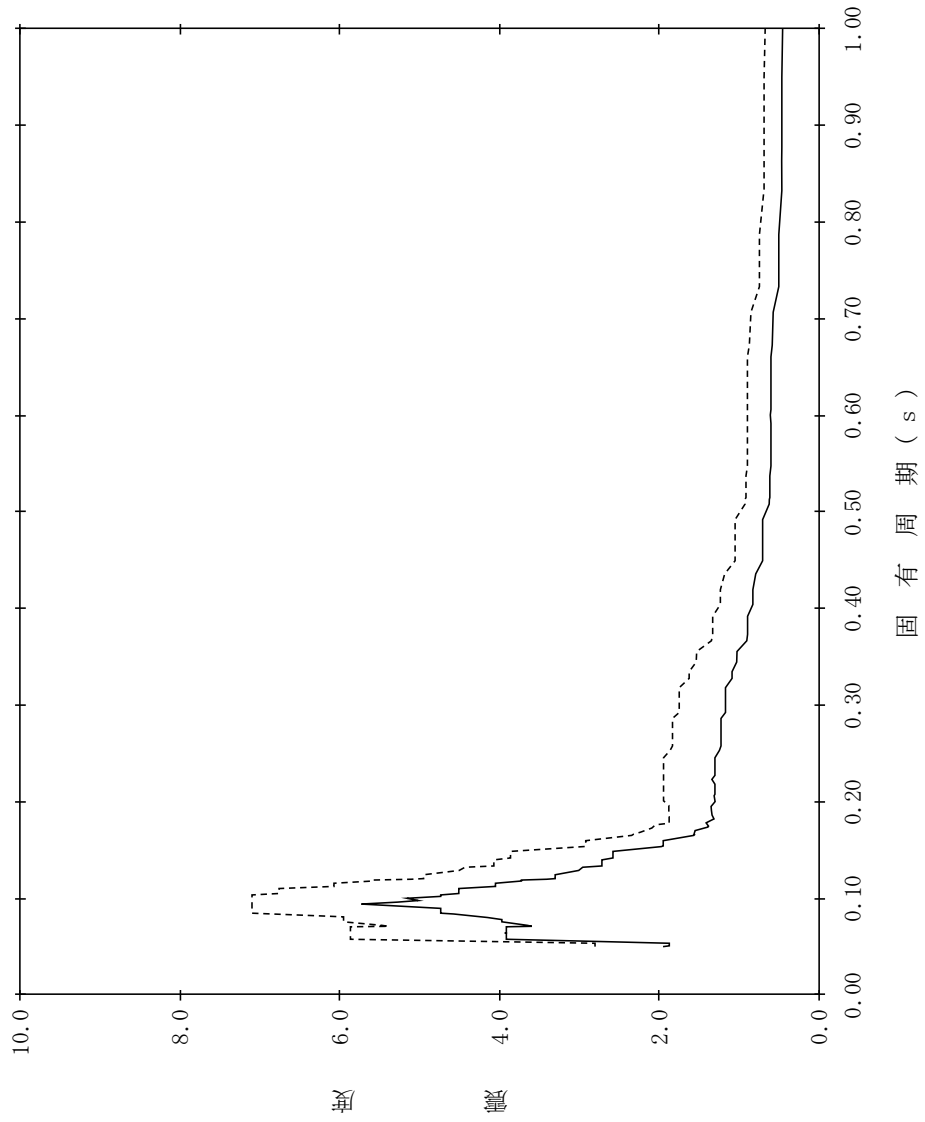
【NS2-RB-SdV-RB50】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：1.0%
 波形名：弾性設計用地震動 S d
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)



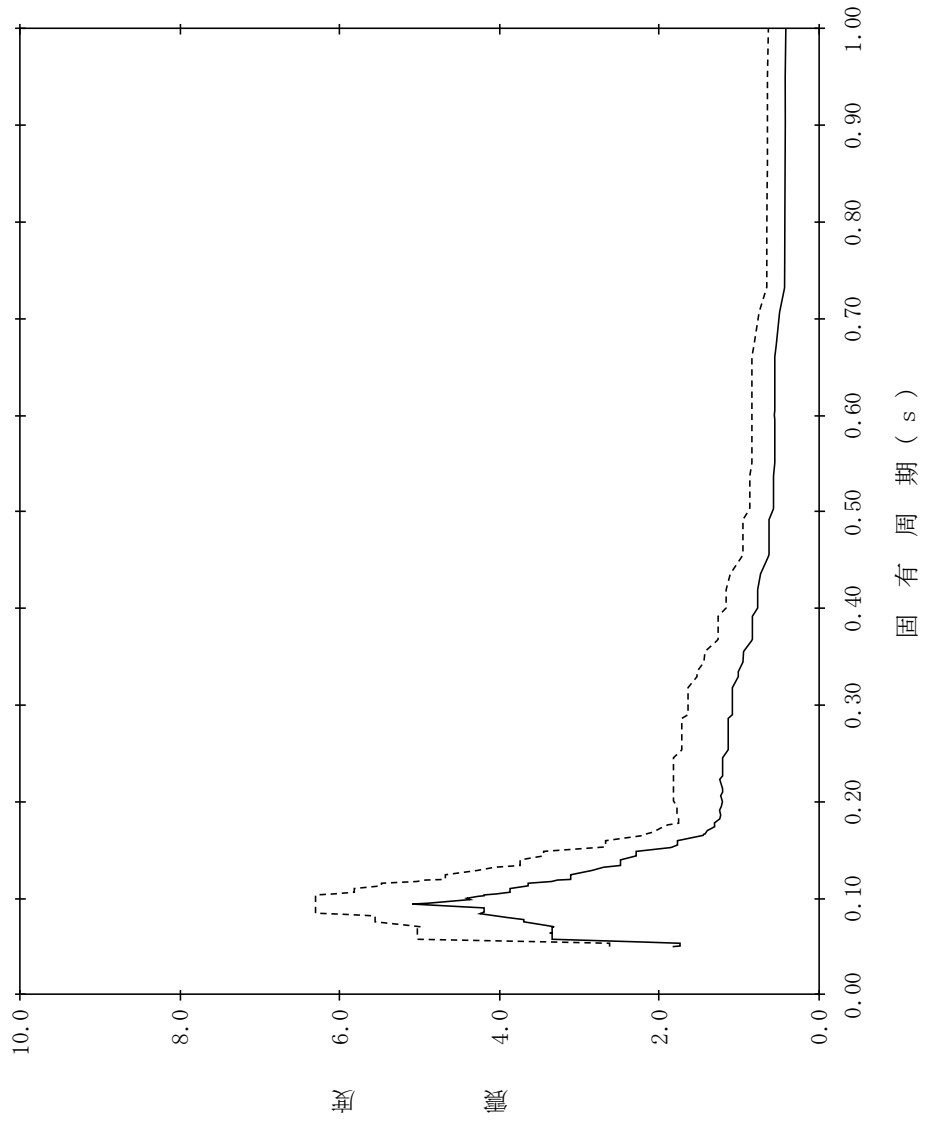
【NS2-RB-SdV-RB51】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：1.5%
 波形名：弾性設計用地震動 S d
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)

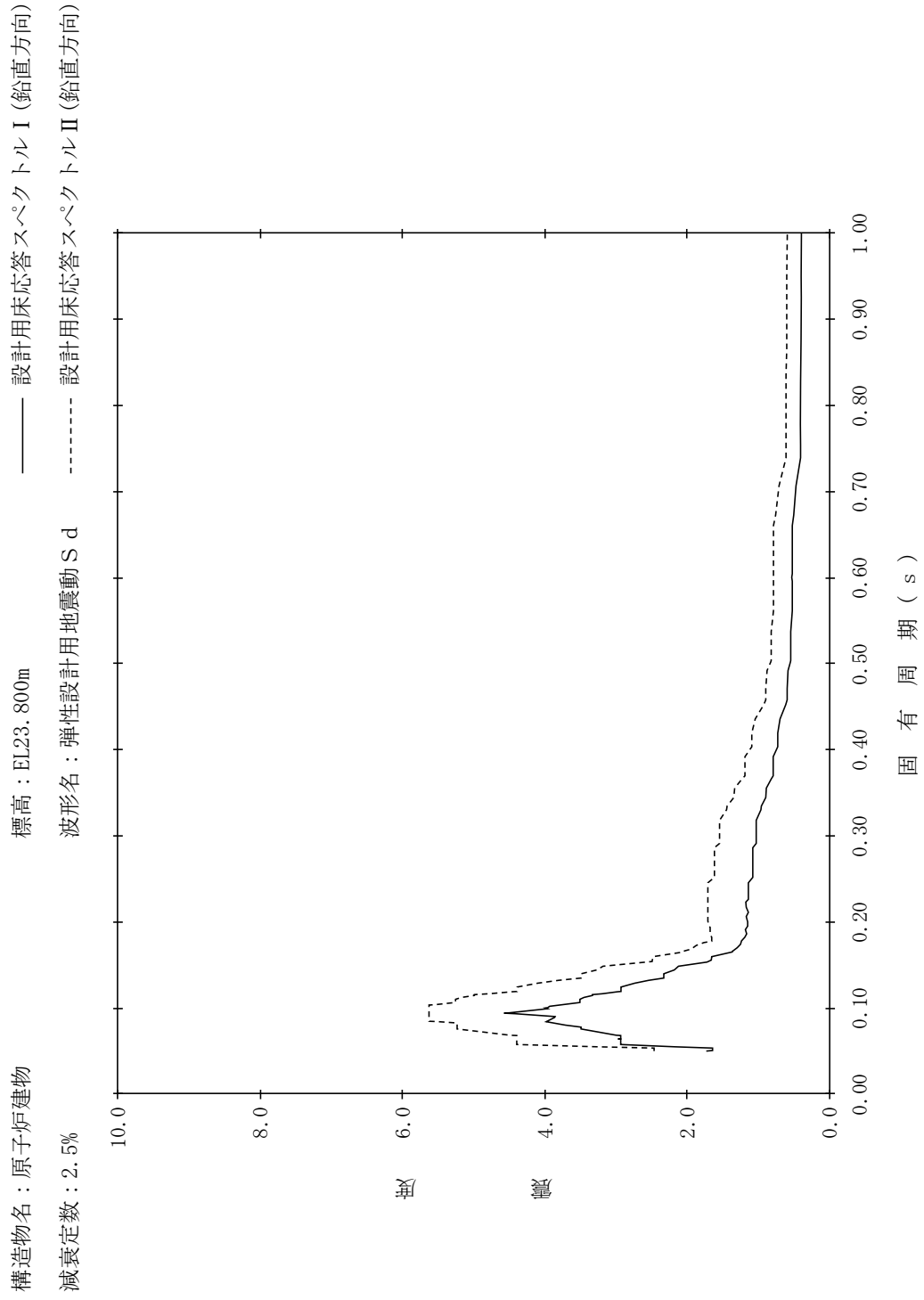


【NS2-RB-SdV-RB52】

構造物名：原子炉建物
標高：EL23.800m
減衰定数：2.0%
波形名：弾性設計用地震動 S d
—— 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
----- 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)

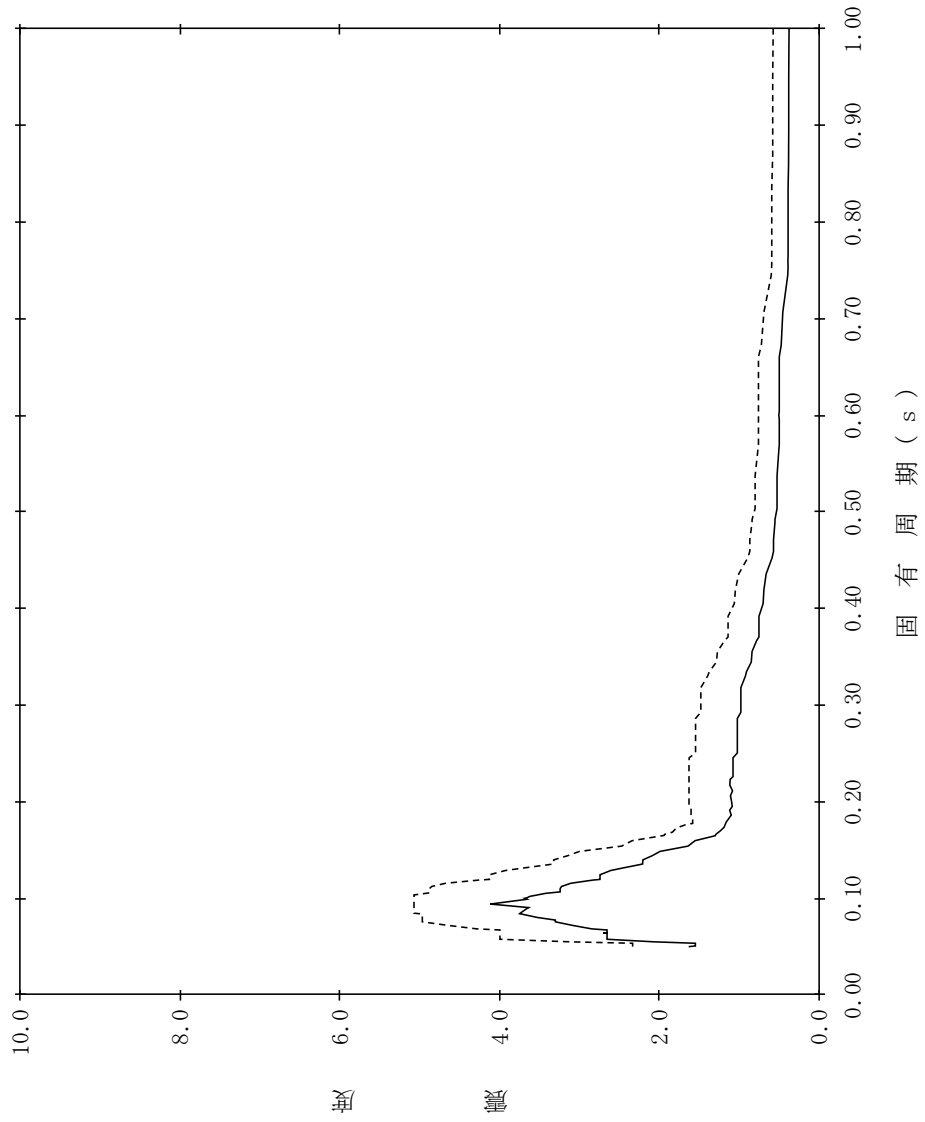


【NS2-RB-SdV-RB53】



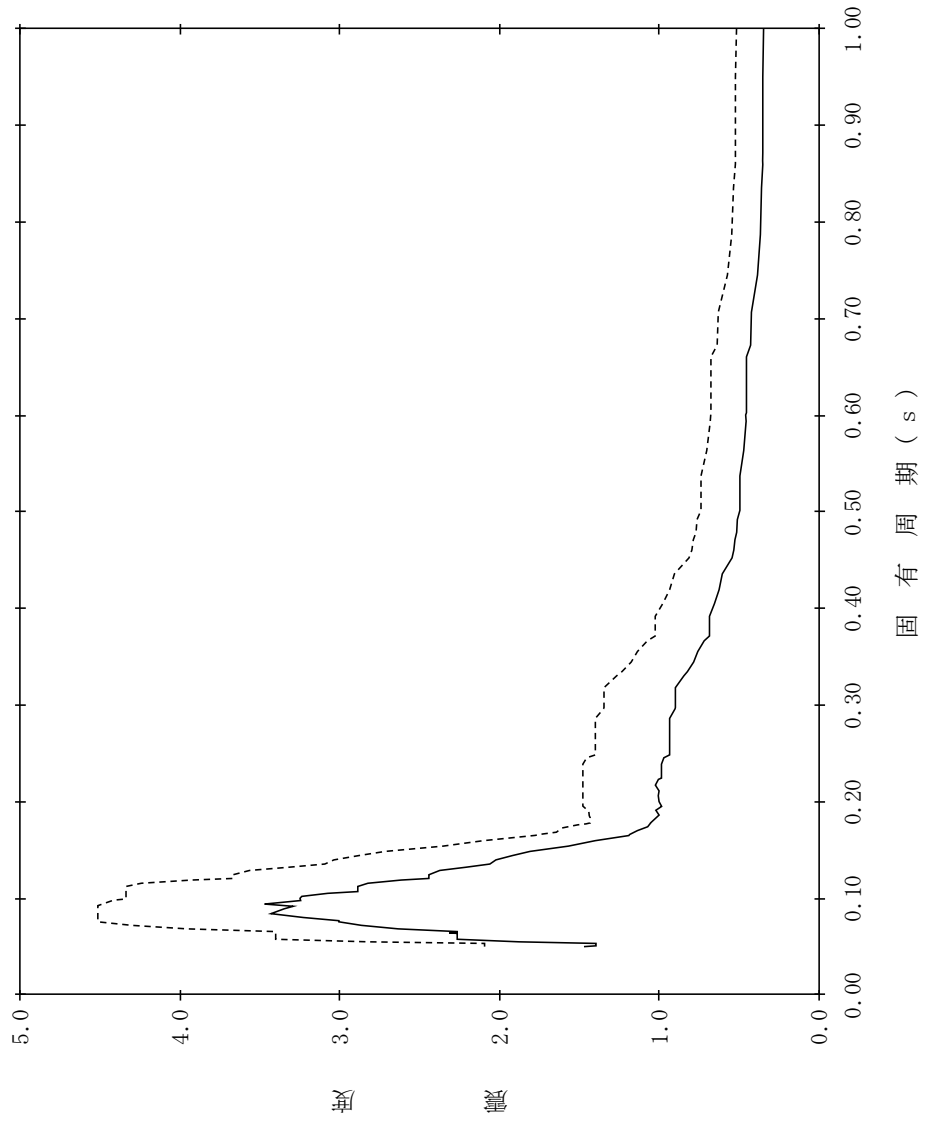
【NS2-RB-SdV-RB54】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：3.0%
 波形名：弾性設計用地震動 S d
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)



【NS2-RB-SdV-RB55】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：4.0%
 波形名：弾性設計用地震動 S d
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)



【NS2-RB-SdV-RB56】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：5.0%
 波形名：弾性設計用地震動 S d
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)

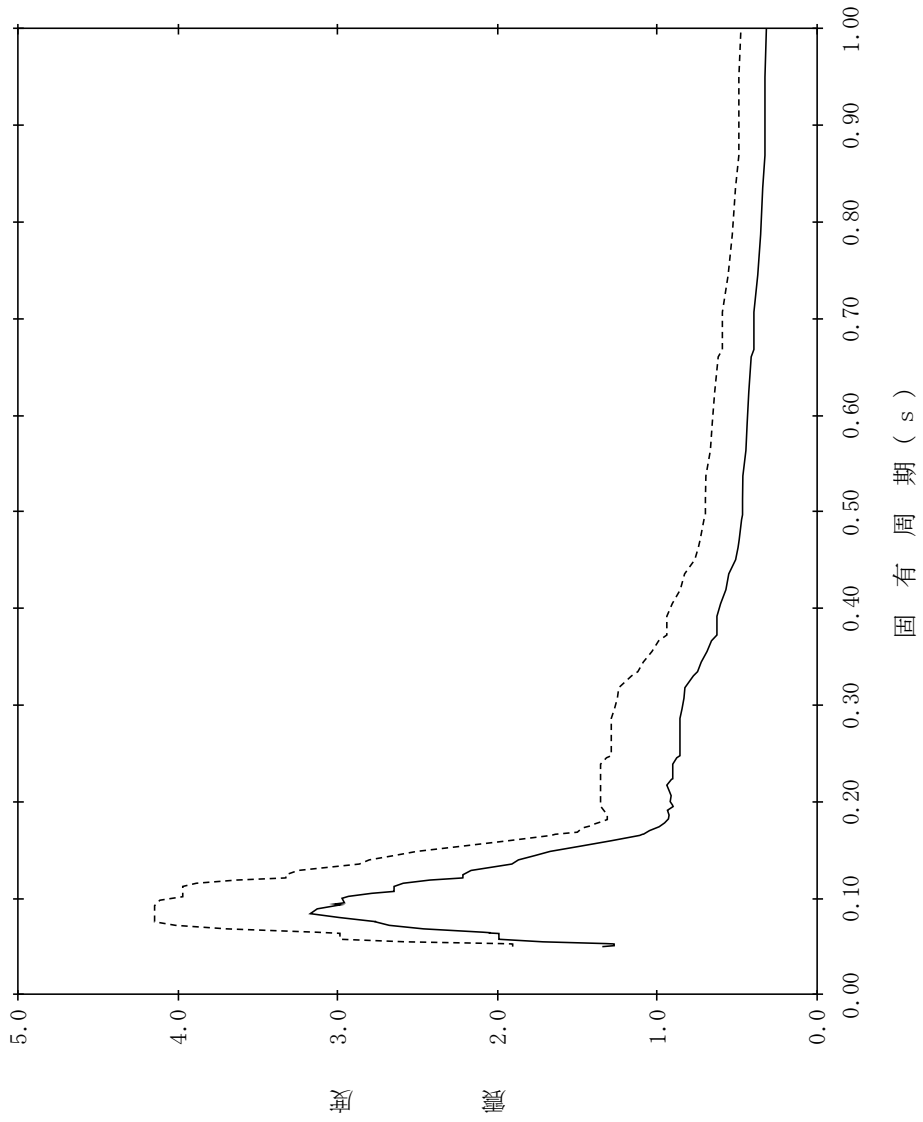


表 4.3-1 設計用震度 (S s) (原子炉建物) (1/2)

構造物名	質点番号			標高 EL(m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
原子炉建物	6, 20	3, 17	7	63.500	2.70	2.76	1.63	3.69	4.14	2.21
	7, 21	4, 18, 22	8	51.700	1.89	2.00	1.48	2.70	2.93	2.04
	8, 14, 22, 28	5, 11, 19, 23	9, 17	42.800	1.35	1.46	1.51	1.92	2.10	2.06
	1, 9, 15, 23, 29	6, 12, 20, 24, 29	1, 10, 18	34.800	1.06	1.17	1.49	1.56	1.73	1.98
	2, 10, 16, 24, 30	7, 13, 21, 25, 30	2, 11, 19	30.500	1.17	1.46	1.44	1.74	1.95	1.94
	10, 16, 24	13, 21	11, 19	30.500 (燃料プール)	1.08	1.20	1.44	1.55	1.77	1.94
	3, 11, 17, 25, 31	8, 14, 26, 31	3, 12, 20	23.800	1.02	0.98	1.28	1.44	1.43	1.73
	4, 12, 18, 26, 32	1, 9, 15, 27, 32	4, 13, 21	15.300	0.92	0.87	0.97	1.32	1.29	1.31
	19	16	22	10.100	0.96	0.98	0.70	1.44	1.44	1.05
	5, 13, 27, 33	2, 10, 28, 33	5, 14	8.800	0.86	0.88	0.64	1.25	1.29	0.96
	34	34	6, 15, 23	1.300	0.74	0.81	0.58	1.07	1.17	0.87
	35	35	16	-4.700	0.73	0.80	0.55	1.04	1.16	0.83

表 4.3-1 設計用震度 (S s) (原子炉建物) (2/2)

構造物名	質点番号			標高 EL(m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
原子炉建物	6, 20	3, 17	7	63.500	3.23	3.31	1.95	4.43	4.97	2.66
	7, 21	4, 18, 22	8	51.700	2.27	2.40	1.77	3.24	3.51	2.46
	8, 14, 22, 28	5, 11, 19, 23	9, 17	42.800	1.62	1.75	1.81	2.31	2.52	2.46
	1, 9, 15, 23, 29	6, 12, 20, 24, 29	1, 10, 18	34.800	1.27	1.41	1.79	1.88	2.07	2.39
	2, 10, 16, 24, 30	7, 13, 21, 25, 30	2, 11, 19	30.500	1.40	1.75	1.73	2.09	2.33	2.31
	10, 16, 24	13, 21	11, 19	30.500 (燃料プール)	1.30	1.44	1.73	1.86	2.13	2.31
	3, 11, 17, 25, 31	8, 14, 26, 31	3, 12, 20	23.800	1.23	1.17	1.54	1.73	1.71	2.07
	4, 12, 18, 26, 32	1, 9, 15, 27, 32	4, 13, 21	15.300	1.10	1.04	1.16	1.59	1.55	1.58
	19	16	22	10.100	1.15	1.18	0.84	1.73	1.74	1.25
	5, 13, 27, 33	2, 10, 28, 33	5, 14	8.800	1.03	1.06	0.77	1.49	1.56	1.16
	34	34	6, 15, 23	1.300	0.89	0.98	0.70	1.28	1.41	1.05
	35	35	16	-4.700	0.88	0.96	0.66	1.25	1.38	0.99

表 4.3-2 設計用震度 (S s) (原子炉格納容器内) (1/11)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
原子炉格納容器	41	42	29	39.400	1.43	2.05	0.89	1.98	2.30	1.29
	42	43	30	37.060	1.32	1.77	0.89	1.82	2.16	1.29
	43	44	31	34.758	1.22	1.63	0.88	1.71	2.03	1.28
	44	45	32	33.141	1.15	1.56	0.87	1.68	1.94	1.26
	45	46	33	29.392	1.07	1.82	0.86	1.53	1.70	1.25
	46	47	34	27.907	1.01	1.98	0.85	1.52	1.65	1.23
	47	48	35	22.932	1.09	1.13	0.81	1.58	1.44	1.19
	48	49	36	19.878	1.07	1.13	0.79	1.50	1.35	1.14
	49	50	37	16.825	0.99	0.98	0.76	1.44	1.32	1.11
	50	51	38	13.700	0.95	0.88	0.73	1.34	1.17	1.10
	51	52	39	11.900	0.92	0.83	0.72	1.29	1.25	1.08

表 4.3-2 設計用震度 (S s) (原子炉格納容器内) (2/11)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
原子炉格納容器	41	42	29	39.400	1.71	2.46	1.07	2.37	2.76	1.55
	42	43	30	37.060	1.59	2.12	1.07	2.18	2.60	1.55
	43	44	31	34.758	1.46	1.95	1.06	2.06	2.43	1.53
	44	45	32	33.141	1.38	1.87	1.05	2.01	2.33	1.52
	45	46	33	29.392	1.29	2.19	1.03	1.85	2.04	1.49
	46	47	34	27.907	1.22	2.38	1.01	1.83	1.97	1.47
	47	48	35	22.932	1.31	1.36	0.97	1.89	1.74	1.43
	48	49	36	19.878	1.28	1.36	0.94	1.80	1.61	1.38
	49	50	37	16.825	1.18	1.18	0.92	1.73	1.58	1.34
	50	51	38	13.700	1.14	1.06	0.88	1.61	1.41	1.31
	51	52	39	11.900	1.10	1.00	0.86	1.55	1.50	1.29

表 4.3-2 設計用震度 (S s) (原子炉格納容器内) (3/11)

構造物名	質点番号			標高 EL(m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	
ガンマ線遮蔽壁	53	54	41	29.962	2.50	2.25	1.34	3.14	3.15	1.89
	54	55	42	26.981	2.19	2.17	1.29	2.72	2.94	1.83
	55	56	43	24.000	1.80	1.95	1.20	2.31	2.58	1.71
	56	57	44	21.500	1.51	1.65	1.11	1.94	2.30	1.58
	57	58	45	19.000	1.16	1.39	0.95	1.64	1.85	1.32
原子炉圧力容器 ペデスタル	58	59	46	15.944	1.00	1.14	0.82	1.47	1.65	1.14
	59	60	47	13.022	0.94	1.03	0.77	1.35	1.52	1.11

表 4.3-2 設計用震度 (S s) (原子炉格納容器内) (4/11)

構造物名	質点番号			標高 EL(m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
					S s			S s		
NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向		
ガンマ線遮蔽壁	53	54	41	29.962	3.00	2.70	1.61	3.77	3.78	2.27
	54	55	42	26.981	2.62	2.60	1.55	3.26	3.53	2.19
	55	56	43	24.000	2.16	2.33	1.44	2.78	3.09	2.04
	56	57	44	21.500	1.81	1.98	1.33	2.33	2.75	1.88
	57	58	45	19.000	1.40	1.67	1.14	1.97	2.22	1.59
	58	59	46	15.944	1.20	1.37	0.98	1.77	1.98	1.37
原子炉圧力容器 ペデスタル	59	60	47	13.022	1.13	1.24	0.92	1.62	1.82	1.32

表 4.3-2 設計用震度 (S s) (原子炉格納容器内) (5/11)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
原子炉压力容器	61	62	49	37.494	5.24	5.36	1.13	6.57	7.01	1.58
	62	63	50	36.586	4.99	5.07	1.13	6.24	6.62	1.56
	63	64	51	35.678	4.73	4.78	1.13	5.91	6.21	1.56
	64	65	52	33.993	4.25	4.24	1.13	5.30	5.48	1.56
	65	66	53	32.567	3.83	3.76	1.12	4.76	4.82	1.56
	66	67	54	31.557	3.55	3.41	1.11	4.43	4.34	1.55
	67	68	55	30.369	3.23	3.00	1.10	4.11	3.87	1.53
	68	69	56	30.218	3.19	2.94	1.10	4.07	3.84	1.52
	69	70	57	29.181	2.98	2.66	1.09	3.86	3.62	1.50
	70	71	58	28.249	2.79	2.42	1.07	3.66	3.42	1.49
	71	72	59	27.317	2.61	2.22	1.06	3.47	3.21	1.47
	72	73	60	26.687	2.48	2.11	1.05	3.32	3.06	1.46
	73	74	61	25.414	2.26	1.93	1.03	3.02	2.85	1.44
	74	75	62	25.131	2.21	1.89	1.03	2.96	2.81	1.43
	75	76	63	24.419	2.09	1.81	1.02	2.78	2.69	1.41
	76	77	64	23.707	1.97	1.73	1.00	2.60	2.55	1.40
	77	78	65	22.995	1.85	1.65	0.99	2.46	2.42	1.38
	78	79	66	22.283	1.73	1.56	0.98	2.33	2.28	1.37
	79	80	67	21.064	1.53	1.41	0.95	2.10	2.04	1.32
	80	81	68	20.892	1.50	1.39	0.95	2.06	2.01	1.32
	81	82	69	20.214	1.39	1.31	0.94	1.94	1.91	1.31
	82	83	70	19.196	1.33	1.27	0.91	1.82	1.80	1.28
	83	84	71	18.250	1.25	1.26	0.90	1.73	1.79	1.25

表 4.3-2 設計用震度 (S s) (原子炉格納容器内) (6/11)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
原子炉压力容器	61	62	49	37.494	6.29	6.43	1.36	7.88	8.40	1.88
	62	63	50	36.586	5.99	6.08	1.36	7.49	7.94	1.88
	63	64	51	35.678	5.68	5.73	1.36	7.08	7.46	1.88
	64	65	52	33.993	5.10	5.09	1.35	6.36	6.57	1.88
	65	66	53	32.567	4.60	4.52	1.35	5.70	5.78	1.86
	66	67	54	31.557	4.26	4.09	1.33	5.31	5.19	1.85
	67	68	55	30.369	3.88	3.59	1.32	4.94	4.65	1.83
	68	69	56	30.218	3.83	3.53	1.32	4.89	4.61	1.83
	69	70	57	29.181	3.57	3.19	1.30	4.64	4.34	1.80
	70	71	58	28.249	3.35	2.91	1.29	4.40	4.10	1.79
	71	72	59	27.317	3.13	2.66	1.27	4.16	3.84	1.77
	72	73	60	26.687	2.98	2.53	1.26	3.98	3.68	1.76
	73	74	61	25.414	2.71	2.31	1.24	3.63	3.42	1.73
	74	75	62	25.131	2.65	2.27	1.23	3.54	3.38	1.71
	75	76	63	24.419	2.51	2.18	1.22	3.33	3.23	1.70
	76	77	64	23.707	2.36	2.08	1.20	3.12	3.06	1.68
	77	78	65	22.995	2.22	1.98	1.19	2.96	2.91	1.65
	78	79	66	22.283	2.08	1.87	1.17	2.79	2.75	1.64
	79	80	67	21.064	1.83	1.70	1.14	2.52	2.45	1.59
	80	81	68	20.892	1.80	1.67	1.14	2.48	2.42	1.59
	81	82	69	20.214	1.67	1.57	1.12	2.33	2.28	1.56
	82	83	70	19.196	1.60	1.52	1.10	2.18	2.16	1.53
	83	84	71	18.250	1.50	1.51	1.08	2.07	2.15	1.50

表 4.3-2 設計用震度 (S s) (原子炉格納容器内) (7/11)

構造物名	質点番号			標高 EL(m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
炉心シェラウド	88	89	73	31.557	3.04	2.95	1.40	4.28	4.37	1.89
	89	90	74	30.369	2.64	2.61	1.40	3.57	3.60	1.89
	90	91	75	29.181	2.35	2.39	1.39	3.12	3.09	1.88
	91	92	76	28.249	2.23	2.21	1.38	2.96	2.85	1.86
	92	93	77	27.317	2.11	2.03	1.37	2.82	2.61	1.85
	93	94	78	26.687	2.03	1.92	1.37	2.73	2.46	1.83
	94	95	79	25.414	1.89	1.82	1.35	2.55	2.31	1.80
	95	96	80	25.843	1.95	1.86	1.35	2.61	2.34	1.82
	96	97	81	25.414	1.89	1.82	1.35	2.55	2.31	1.80
	97	98	82	25.131	1.86	1.80	1.34	2.51	2.30	1.80
	98	99	83	24.419	1.79	1.75	1.32	2.42	2.30	1.77
	99	100	84	23.707	1.73	1.70	1.30	2.34	2.31	1.74
	100	101	85	22.995	1.72	1.65	1.28	2.34	2.33	1.71
	101	102	86	22.283	1.70	1.60	1.26	2.34	2.31	1.67
	102	103	87	21.064	1.70	1.52	1.22	2.30	2.28	1.62
	103	104	88	21.571	1.72	1.57	1.22	2.34	2.34	1.62
	104	105	89	21.064	1.70	1.52	1.22	2.30	2.28	1.62
105	106	90	20.892	1.71	1.51	1.21	2.30	2.27	1.62	
106	107	91	20.214	1.64	1.51	1.19	2.25	2.22	1.59	
107	108	92	19.196	1.60	1.52	1.15	2.18	2.16	1.56	

表 4.3-2 設計用震度 (S s) (原子炉格納容器内) (8/11)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665 \text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
燃料集合体	113	114	94	25.843	1.62	1.55	1.35	2.18	1.95	1.92
	114	115	95	25.131	1.91	2.78	1.34	2.82	2.88	1.91
	115	116	96	24.419	2.48	3.83	1.33	3.69	3.98	1.89
	116	117	97	23.707	2.61	4.10	1.32	3.89	4.43	1.88
	117	118	98	22.995	2.32	3.45	1.30	3.44	3.89	1.86
	118	119	99	22.283	1.73	2.21	1.29	2.49	2.61	1.83
	119	120	100	21.571	1.43	1.31	1.27	1.95	1.95	1.80

表 4.3-2 設計用震度 (S s) (原子炉格納容器内) (9/11)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665 \text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
	設計用震度 I				設計用震度 II					
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
制御棒駆動機構 ハウジング (内側)	127	128	107	17.499	1.45	2.04	1.12	2.09	2.06	1.56
	128	129	108	16.508	1.41	1.54	1.10	2.01	2.18	1.53
	129	130	109	15.644	1.57	1.75	1.10	2.27	2.34	1.53
	130	131	110	14.781	1.78	2.36	1.11	2.55	3.14	1.53
	131	132	111	13.917	1.81	2.67	1.11	2.66	3.60	1.55
	132	133	112	13.054	1.95	2.67	1.11	2.63	3.68	1.55
制御棒駆動機構 ハウジング (外側)	108	109	93	17.442 (水平) 17.419 (鉛直)	1.45	1.52	1.09	2.04	2.16	1.52
	109	110	113	16.345	2.01	2.88	1.10	2.79	3.86	1.52
	110	111	114	15.248	3.49	5.65	1.10	4.82	7.70	1.53
	111	112	115	14.151	3.41	5.44	1.11	4.58	7.44	1.53
	112	113	116	13.054	1.92	2.64	1.11	2.60	3.63	1.53

表 4.3-2 設計用震度 (S s) (原子炉格納容器内) (10/11)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
					S s			S s		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
原子炉压力容器 下鏡	85	86	71	18.250	1.25	1.26	0.90	1.73	1.79	1.25
	86	87	93	17.442 (水平) 17.419 (鉛直)	1.21	1.27	0.91	1.70	1.80	1.26
	87	88	108	16.508	1.17	1.28	0.92	1.68	1.82	1.28

表 4.3-2 設計用震度 (S s) (原子炉格納容器内) (11/11)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
					S s			S s		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
原子炉压力容器 下鏡	85	86	71	18.250	1.50	1.51	1.08	2.07	2.15	1.50
	86	87	93	17.442 (水平) 17.419 (鉛直)	1.45	1.52	1.09	2.04	2.16	1.52
	87	88	108	16.508	1.41	1.54	1.10	2.01	2.18	1.53

表 4.3-3 設計用震度 (S s) (制御室建物) (1/2)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665 \text{ m/s}^2$) $\times 1.0$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
					NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
制御室建物	1	1	1	22.050	1.40	2.03	1.00	2.10	3.03	1.49
	2	2	2	16.900	1.27	1.96	0.88	1.89	2.84	1.32
	3	3	3	12.800	1.02	1.43	0.78	1.47	2.01	1.16
	4, 7	4	4	8.800	0.88	1.01	0.66	1.32	1.52	0.99
	5	5	5	1.600	0.72	0.81	0.59	1.08	1.22	0.80
	6	6	6	0.100	0.71	0.81	0.59	1.07	1.22	0.80

表 4.3-3 設計用震度 (S s) (制御室建物) (2/2)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
					NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
制御室建物	1	1	1	22.050	1.68	2.43	1.19	2.52	3.65	1.77
	2	2	2	16.900	1.53	2.36	1.06	2.27	3.41	1.58
	3	3	3	12.800	1.23	1.71	0.93	1.76	2.42	1.40
	4, 7	4	4	8.800	1.05	1.21	0.79	1.58	1.82	1.19
	5	5	5	1.600	0.86	0.97	0.71	1.29	1.46	0.96
	6	6	6	0.100	0.85	0.97	0.71	1.28	1.46	0.96

表 4.3-4 設計用震度 (S s) (タービン建物) (1/2)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$							
	設計用震度 I				設計用震度 II							
	S s		S s		S s		S s					
NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	
タービン建物	5, 7, 13, 22, 28	1, 8, 14	1	41.600	3.30	3.19	1.48	4.88	4.49	2.16	4.49	2.16
	1, 6, 8	19	—	33.700	2.36	1.77	1.48	3.26	2.66	2.16	2.66	2.16
	9, 18, 24	2, 9	2	32.000	2.47	2.24	1.24	3.56	3.36	1.83	3.36	1.83
	14, 23, 29	15	—	30.550	4.13	1.72	1.24	5.96	2.46	1.83	2.46	1.83
	2, 10, 15, 19, 25, 30	3, 5, 10, 16, 20	3	20.600	2.23	1.69	0.90	3.17	2.54	1.32	2.54	1.32
	3, 11, 16, 20, 26, 31	4, 11, 17, 21	4	12.500	1.61	1.34	0.72	2.19	1.92	1.07	1.92	1.07
	4	6	—	9.000 (NS) 8.800 (EW)	1.09	1.16	0.72	1.64	1.70	1.07	1.70	1.07
	12, 17, 21, 27	7, 12, 13, 18, 22	5	5.500	1.28	1.21	0.60	1.82	1.82	0.89	1.82	0.89
	34	25	8	2.000	0.98	0.96	0.56	1.46	1.43	0.83	1.43	0.83
	35	26	9	0.000	0.98	0.96	0.56	1.46	1.43	0.83	1.43	0.83
蒸気タービンの基礎	32	23	6	20.480	1.83	1.63	1.28	2.60	2.33	1.74	2.33	1.74
	33	24	7	13.000	1.43	1.71	0.90	2.00	2.15	1.23	2.15	1.23

表 4.3-4 設計用震度 (S s) (タービン建物) (2/2)

構造物名	質点番号			標高 EL(m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
	設計用震度 I				設計用震度 II					
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
タービン建物	5, 7, 13, 22, 28	1, 8, 14	1	41.600	3.96	3.83	1.77	5.85	5.37	2.60
	1, 6, 8	19	—	33.700	2.83	2.13	1.77	3.90	3.20	2.60
	9, 18, 24	2, 9	2	32.000	2.97	2.69	1.49	4.26	4.04	2.19
	14, 23, 29	15	—	30.550	4.95	2.06	1.49	7.14	2.96	2.19
	2, 10, 15, 19, 25, 30	3, 5, 10, 16, 20	3	20.600	2.67	2.03	1.08	3.80	3.05	1.59
	3, 11, 16, 20, 26, 31	4, 11, 17, 21	4	12.500	1.93	1.61	0.87	2.63	2.31	1.28
	4	6	—	9.000(NS) 8.800(EW)	1.31	1.39	0.87	1.97	2.04	1.28
	12, 17, 21, 27	7, 12, 13, 18, 22	5	5.500	1.53	1.45	0.72	2.18	2.18	1.05
	34	25	8	2.000	1.18	1.16	0.68	1.74	1.71	0.99
	35	26	9	0.000	1.17	1.15	0.67	1.74	1.70	0.99
蒸気タービンの基礎	32	23	6	20.480	2.19	1.96	1.54	3.11	2.78	2.10
	33	24	7	13.000	1.71	2.05	1.07	2.40	2.58	1.49

表 4.3-5 設計用震度 (S s) (廃棄物処理建物) (1/2)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
					NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
廃棄物処理建物	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
	1	1	1	42.000	1.87	1.84	1.07	2.79	2.75	1.52
	2	2	2	37.500	1.42	1.50	1.02	2.13	2.24	1.46
	3	3	3	32.000	1.29	1.25	0.97	1.92	1.85	1.46
	4	4	4	26.700	1.19	1.21	0.96	1.73	1.82	1.44
	5	5	5	22.100	1.10	1.05	0.92	1.62	1.56	1.38
	6	6	6	16.900	1.07	1.01	0.81	1.56	1.47	1.22
	7	7	7	15.300	1.05	1.10	0.77	1.53	1.65	1.16
	8	8	8	12.300	1.03	0.96	0.70	1.49	1.40	1.05
	9	9	9	8.800	1.02	0.95	0.64	1.46	1.37	0.93
	10	10	10	3.000	0.81	0.84	0.57	1.16	1.20	0.78
11	11	11	0.000	0.80	0.83	0.56	1.14	1.19	0.77	

表 4.3-5 設計用震度 (S s) (廃棄物処理建物) (2/2)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
					S s			S s		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
廃棄物処理建物	1	1	1	42.000	2.24	2.21	1.29	3.35	3.29	1.82
	2	2	2	37.500	1.70	1.80	1.22	2.55	2.69	1.76
	3	3	3	32.000	1.55	1.50	1.16	2.30	2.21	1.74
	4	4	4	26.700	1.42	1.45	1.15	2.06	2.18	1.73
	5	5	5	22.100	1.31	1.26	1.10	1.95	1.88	1.65
	6	6	6	16.900	1.29	1.22	0.97	1.88	1.77	1.46
	7	7	7	15.300	1.26	1.31	0.92	1.85	1.97	1.38
	8	8	8	12.300	1.24	1.15	0.84	1.79	1.67	1.26
	9	9	9	8.800	1.23	1.13	0.77	1.74	1.64	1.11
	10	10	10	3.000	0.97	1.01	0.68	1.38	1.44	0.93
	11	11	11	0.000	0.96	0.99	0.67	1.38	1.43	0.92

表 4.3-6 設計用震度 (S s) (排気筒) (1/2)

構造物名	節点番号		標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$			
				設計用震度 I S s		設計用震度 II S s	
				水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向
排気筒	106	106	69.500~ 62.200	1.14	1.05	1.71	1.38
	206	206					
	306	306					
	406	406					
	105	105					
	205	205	8.800~ 8.500	1.22	0.78	1.61	1.04
	305	305					
	405	405					
	1000	1000					
	100	100					
200	200	3.500	1.14	0.78	1.59	1.04	
300	300						
400	400						
1054	1054						
115	115						
215	215						
排気筒基礎	315	315	3.500	1.14	0.78	1.59	1.04
	415	415					

注記*：機器設置位置レベルを示す。

表 4.3-6 設計用震度 (S s) (排気筒) (2/2)

構造物名	節点番号		標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
				設計用震度 I			設計用震度 II		
				S s		S s		S s	
水平方向		鉛直方向		水平方向		鉛直方向			
排気筒	106	106	69.500~ 62.200	1.37	1.26	2.05	1.66		
	206	206							
	306	306							
	406	406							
	105	105							
	205	205							
	305	305							
	405	405							
	1000	1000	8.800~ 8.500	1.47	0.93	1.92	1.25		
	100	100							
	200	200							
	300	300							
	400	400							
	1054	1054							3.500
115	115								
215	215								
315	315								
415	415								

注記*：機器設置位置レベルを示す。

表 4.3-7 設計用震度 (S s) (取水槽) (1/2)

構造物名	節点番号						標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665 \text{m/s}^2$) $\times 1.0$			
	EW方向			鉛直方向				設計用震度 I			
	NS方向 NS断面	EW断面 (海水ポンプエリア)		NS断面	EW断面 (海水ポンプエリア)			NS方向	鉛直方向	EW方向	鉛直方向
		EW方向	NS断面		EW断面	NS断面					
取水槽	10095	3000	10095	3000	8.800	1.13	0.86	1.70	4.71	1.29	
	10299	3033	10299	3033	8.800	1.13	0.86	1.70	4.71	1.29	
	10512		10512								
	10208	41 51 62	10208	41 51 62							
	10008	7 17 28	10008	7 17 28	-9.800	0.65	0.52	0.98	1.02	0.77	

注記* : 機器設置位置レベルを示す。

表 4.3-7 設計用震度 (S s) (取水槽) (2/2)

構造物名	節点番号						標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
	EW方向			鉛直方向				設計用震度 I			設計用震度 II		
	NS方向	EW方向	NS断面	NS断面	EW断面	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
	NS断面 (海水ポンプエリア)	EW断面 (海水ポンプエリア)	NS断面 (海水ポンプエリア)	EW断面 (海水ポンプエリア)	鉛直方向 (海水ポンプエリア)	鉛直方向 (海水ポンプエリア)		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
	10095	3000	10095	3000	3000	8.800	1.36	3.76	1.03	2.04	5.64	1.55	
	10299	3033	10299	3033	3033								
	10512		10512										
取水槽	10208	41	10208	41	41	1.100	0.94	1.11	0.85	1.41	1.67	1.26	
		51		51	51								
		62		62	62								
取水槽	10008	7	10008	7	7	-9.800	0.78	0.84	0.62	1.17	1.22	0.92	
		17		17	17								
		28		28	28								

注記* : 機器設置位置レベルを示す。

表 4.3-8 設計用震度 (S s) (屋外配管ダクト (タービン建物～排気筒)) (1/2)

構造物名	節点番号		標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$			
				設計用震度 I		設計用震度 II	
				S s		S s	
水平方向		鉛直方向		水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向
屋外配管ダクト (タービン建物～排気筒)	6033	6033	7.500～ 5.500	2.05	1.29	2.76	1.40
	6045	6045					
	6054	6054					
	6062	6062					
	6070	6070					
	6008	6008					
	6020	6020					

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.3-8 設計用震度 (S s) (屋外配管ダクト (タービン建物～排気筒)) (2/2)

構造物名	節点番号		標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$			
				設計用震度 I		設計用震度 II	
				S s		S s	
水平方向		鉛直方向		水平方向		鉛直方向	
屋外配管ダクト (タービン建物～排気筒)	6033	6033	7.500～ 5.500	2.46	1.55	3.32	1.67
	6045	6045					
	6054	6054					
	6062	6062					
	6070	6070					
	6008	6008					
6020	6020						

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.3-9 設計用震度 (S s) (緊急時対策所) (1/2)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
					S s			S s		
NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向		
緊急時対策所	1	1	1	56.600	1.52	1.61	0.81	2.28	2.42	1.17
	2	2	2	50.250	1.22	1.20	0.81	1.83	1.80	1.16
	3	3	3	48.250	1.19	1.17	0.81	1.79	1.76	1.14

表 4.3-9 設計用震度 (S s) (緊急時対策所) (2/2)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
					設計用震度 I			設計用震度 II		
					S s			S s		
NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向		
緊急時対策所	1	1	1	56.600	1.83	1.93	0.97	2.75	2.90	1.41
	2	2	2	50.250	1.47	1.44	0.97	2.21	2.16	1.38
	3	3	3	48.250	1.43	1.40	0.97	2.15	2.10	1.37

表 4.3-10 設計用震度 (S s) (ガスタービン発電機建物) (1/2)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
	設計用震度 I				設計用震度 II			S s		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
ガスタービン発電機建物	1	1	1	61.500	2.03	2.11	0.92	3.05	3.11	1.22
	2	2	2	54.500	1.33	1.43	0.69	1.97	2.15	1.02
	3	3	3	47.500	0.95	0.96	0.61	1.43	1.40	0.92
	4	4	4	44.000	0.91	0.95	0.59	1.35	1.38	0.89

表 4.3-10 設計用震度 (S s) (ガスタービン発電機建物) (2/2)

構造物名	質点番号			標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665 \text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
	設計用震度 I				設計用震度 II			S s		
	NS方向	EW方向	鉛直方向		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
ガスタービン発電機建物	1	1	1	61.500	2.44	2.54	1.11	3.66	3.72	1.47
	2	2	2	54.500	1.60	1.72	0.83	2.36	2.57	1.23
	3	3	3	47.500	1.14	1.16	0.73	1.71	1.68	1.10
	4	4	4	44.000	1.09	1.14	0.71	1.62	1.67	1.05

表 4.3-11 設計用震度 (S s) (第1ペントフィルタ格納槽) (1/2)

構造物名	節点番号												標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665 \text{m/s}^2$) $\times 1.0$					
	NS方向						鉛直方向							設計用震度 I			設計用震度 II		
	NS断面 (銀ゼオライト 容器エリア)		NS断面 (スクラバ 容器エリア)		EW断面		NS断面 (銀ゼオライト 容器エリア)		NS断面 (スクラバ 容器エリア)		EW断面			S s			S s		
	NS方向	NS断面	NS断面	NS断面	EW方向	EW断面	NS方向	NS断面	NS断面	NS断面	EW方向	EW断面		NS方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	
第1ペント フィルタ格納槽	677	677	677	677	1464	1464	677	677	677	677	677	1464	19.400~ 14.700	2.83	0.99	1.51	3.96	1.49	1.59
	1024	683	1024	1024	1470	1470	683	1024	683	1470	1470	1470	14.700	1.10	0.82	0.61	1.50	1.23	0.89
	1032	975	1032	1032	1675	1675	975	1032	975	1675	1675	2205	8.800~ 7.600	0.70	0.75	0.80	1.04	1.04	0.87
	1038	989	1038	1038	2205	2205	989	1038	989	2205	2205	2205	2.700	0.70	0.75	0.80	1.04	1.04	0.87

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.3-11 設計用震度 (S s) (第1ベントフィルタ格納槽) (2/2)

構造物名	節点番号												標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665 \text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
	NS方向						鉛直方向							設計用震度 I			設計用震度 II		
	NS方向		NS断面 (スクラバ 容器エリア)		EW方向		NS断面 (銀ゼオライト 容器エリア)		NS断面 (スクラバ 容器エリア)		鉛直方向			S s			S s		
	NS断面 (銀ゼオライト 容器エリア)	NS断面 (スクラバ 容器エリア)	NS断面 (銀ゼオライト 容器エリア)	NS断面 (スクラバ 容器エリア)	EW断面	EW断面	NS断面 (銀ゼオライト 容器エリア)	NS断面 (スクラバ 容器エリア)	NS断面 (スクラバ 容器エリア)	NS断面 (スクラバ 容器エリア)	EW断面	EW断面		NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向
第1ベント フィルタ格納槽	677	677	677	677	1464	1464	677	677	677	1464	1464	3.40	1.19	1.81	4.76	1.79	1.89		
	1024	683	1024	683	1470	1470	683	683	1470	1470	1470	1.32	0.98	0.73	1.79	1.47	1.07		
	1032	975	1032	975	2205	2205	1032	975	2205	2205	2205	0.83	0.90	0.96	1.25	1.25	1.04		
	684	690	684	690	2213	2213	684	690	2213	2213	2213	1.32	0.98	0.73	1.79	1.47	1.07		
	853	989	853	989	1484	1484	853	989	1484	1484	1484	0.83	0.90	0.96	1.25	1.25	1.04		
	1038		1038		2219	2219	1038		2219	2219	2219	0.83	0.90	0.96	1.25	1.25	1.04		

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.3-12 設計用震度 (S s) (低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽) (1/2)

構造物名	節点番号										標高* EL(m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$						
	NS方向			EW方向			鉛直方向					設計用震度 I			設計用震度 II			
	S s			S s			S s					S s			S s			
	NS断面 (水室)	NS断面 (ポンプ室)	NS断面 (水室)	EW断面	EW断面	EW断面	NS断面 (ポンプ室)	NS断面 (水室)	NS断面 (水室)	鉛直方向		鉛直方向	鉛直方向	NS方向	EW方向	鉛直方向	NS方向	EW方向
低圧原子炉代替注水 ポンプ格納槽	-	775	-	2731	-	775	775	-	2731	2731	2731	18.300	1.80	0.94	1.83	2.21	1.25	1.87
	674	674 839	674	2391 2739 3431	674	674 839	674	674	2391 2739 3431	2391 2739 3431	14.700	1.28	0.98	1.05	1.92	1.46	1.50	
	682	682	682	2398	682	682	682	682	2398	2398	8.200	1.09	0.77	0.60	1.41	1.14	0.86	
	692 920	692	692 920	2407 2715 3447	692 920	692	692	692	2407 2715 3447	2407 2715 3447	0.700	0.67	0.73	0.89	0.96	1.07	1.16	

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.3-12 設計用震度 (S s) (低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽) (2/2)

構造物名	節点番号								標高* EL(m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$					
	NS方向				鉛直方向					設計用震度 I			設計用震度 II		
	NS方向 (水室)		NS断面 (ポンプ室)		EW方向		NS断面 (水室)			NS断面 (ポンプ室)		S s			
	NS方向	EW方向	NS断面 (水室)	EW断面	NS断面 (水室)	EW断面	NS断面 (ポンプ室)	EW断面		NS方向	鉛直方向	EW方向	NS方向	鉛直方向	
低圧原子炉代替注水 ポンプ格納槽	-	2731	-	2731	775	775	2731	2731	18.300	2.16	1.12	2.19	2.66	1.49	2.25
	674	2391 2739 3431	674	2391 2739 3431	674	674	2391 2739 3431	2391 2739 3431	14.700	1.54	1.17	1.25	2.31	1.76	1.80
	682	2398	682	2398	682	682	2398	2398	8.200	1.30	0.92	0.72	1.70	1.37	1.02
	692 920	2407 2715 3447	692 920	2407 2715 3447	692 920	692 920	2407 2715 3447	2407 2715 3447	0.700	0.81	0.87	1.06	1.16	1.28	1.38

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.3-13 設計用震度 (S s) (ガスタービン発電機用軽油タンク基礎) (1/2)

構造物名	質点番号		標高 EL(m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$			
				設計用震度 I		設計用震度 II	
				S s		S s	
	水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向	
ガスタービン発電機用軽油タンク	1	1	58.212	5.06	0.80	6.89	1.10
	2	2	56.112	4.42	0.74	6.02	1.07
	3	3	54.012	3.80	0.69	5.18	1.04
	4	4	51.912	2.70	0.67	3.62	1.01
	5	5	49.812	1.57	0.66	2.06	0.98
	6	6	47.700	1.08	0.64	1.52	0.96
ガスタービン発電機用軽油タンク基礎	7	7	47.200	1.07	0.64	1.52	0.95
	8	8	45.800	1.06	0.63	1.50	0.93
防油堤	9	9	49.700	2.40	0.65	3.06	0.96
	10	10	49.700				
	11	11	47.200	1.07	0.64	1.52	0.95
	12	12	47.200				

表 4.3-13 設計用震度 (S s) (ガスタービン発電機用軽油タンク基礎) (2/2)

構造物名	質点番号		標高 EL (m)	震度 ($\times 9.80665 \text{m/s}^2$) $\times 1.2$			
				設計用震度 I		設計用震度 II	
				S s		S s	
	水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向	
ガスタービン発電機用軽油タンク	1	1	58.212	6.08	0.96	8.27	1.31
	2	2	56.112	5.30	0.89	7.22	1.28
	3	3	54.012	4.55	0.83	6.21	1.23
	4	4	51.912	3.24	0.81	4.34	1.20
	5	5	49.812	1.89	0.79	2.48	1.17
	6	6	47.700	1.30	0.77	1.83	1.14
ガスタービン発電機用軽油タンク基礎	7	7	47.200	1.29	0.77	1.82	1.14
	8	8	45.800	1.27	0.76	1.80	1.13
防油堤	9	9	49.700	2.87	0.77	3.66	1.16
	10	10	49.700				
	11	11	47.200	1.29	0.77	1.82	1.14
	12	12	47.200				

表 4.3-14 設計用震度 (S s) (屋外配管ダクト (ガスタービン発電機用軽油タンク〜ガスタービン発電機)) (1/2)

構造物名	節点番号		標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$			
				設計用震度 I		設計用震度 II	
	S s			S s		S s	
	水平方向	鉛直方向		水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向
屋外配管ダクト (ガスタービン発電機用軽油タンク 〜ガスタービン発電機)	33	33	46.000	0.98	0.55	1.46	0.83

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.3-14 設計用震度 (S s) (屋外配管ダクト (ガスタービン発電機用軽油タンク〜ガスタービン発電機)) (2/2)

構造物名	節点番号	標高* EL (m)	震度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$			
			設計用震度 I		設計用震度 II	
			S s		S s	
			水平方向	鉛直方向	水平方向	鉛直方向
屋外配管ダクト (ガスタービン発電機用軽油タンク 〜ガスタービン発電機)	水平方向 33 鉛直方向 33	46.000	水平方向 1.18 鉛直方向 0.66	水平方向 1.76 鉛直方向 0.99		

注記*: 機器設置位置レベルを示す。

表 4.4-1 設計用床応答スペクトル (S_s) 一覧表 (原子炉建物) (1/6)

地震波	建物機器	方向	質点番号	標高 EL(m)	減衰定数(%)	図番
S _s	原子炉建物	NS 方向	6, 20	63.500	0.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 1
					1.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 2
					1.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 3
					2.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 4
					2.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 5
					3.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 6
					4.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 7
			5.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 8		
			7, 21	51.700	0.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 9
					1.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 10
					1.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 11
					2.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 12
					2.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 13
					3.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 14
					4.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 15
			5.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 16		
			8, 14, 22, 28	42.800	0.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 17
					1.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 18
					1.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 19
					2.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 20
					2.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 21
					3.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 22
					4.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 23
			5.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 24		
			1, 9, 15, 23, 29	34.800	0.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 25
					1.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 26
					1.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 27
					2.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 28
					2.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 29
					3.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 30
					4.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 31
			5.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 32		
			2, 10, 16, 24, 30	30.500	0.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 33
					1.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 34
					1.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 35
					2.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 36
					2.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 37
					3.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 38
					4.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 39
			5.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 40		
			10, 16, 24	30.500 (燃料プール)	0.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 41
					1.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 42
					1.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 43
					2.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 44
					2.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 45
					3.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 46
					4.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 47
			5.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 48		

表 4.4-1 設計用床応答スペクトル (S_s) 一覧表 (原子炉建物) (2/6)

地震波	建物機器	方向	質点番号	標高 EL(m)	減衰定数(%)	図番
S _s	原子炉建物	NS 方向	3, 11, 17, 25, 31	23.800	0.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 49
					1.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 50
					1.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 51
					2.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 52
					2.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 53
					3.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 54
					4.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 55
			5.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 56		
			4, 12, 18, 26, 32	15.300	0.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 57
					1.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 58
					1.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 59
					2.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 60
					2.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 61
					3.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 62
					4.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 63
			5.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 64		
			19	10.100	0.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 65
					1.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 66
					1.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 67
					2.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 68
					2.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 69
					3.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 70
					4.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 71
			5.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 72		
			5, 13, 27, 33	8.800	0.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 73
					1.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 74
					1.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 75
					2.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 76
					2.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 77
					3.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 78
					4.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 79
			5.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 80		
			34	1.300	0.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 81
					1.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 82
					1.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 83
					2.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 84
					2.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 85
					3.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 86
					4.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 87
			5.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 88		
			35	-4.700	0.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 89
					1.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 90
					1.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 91
					2.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 92
					2.5	NS2 - RB - S _s NS - RB 93
3.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 94					
4.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 95					
5.0	NS2 - RB - S _s NS - RB 96					

赤枠部：今回の提出範囲

表 4.4-1 設計用床応答スペクトル (S s) 一覧表 (原子炉建物) (3/6)

地震波	建物機器	方向	質点番号	標高 EL(m)	減衰定数(%)	図番
S s	原子炉建物	EW 方向	3, 17	63.500	0.5	NS2 - RB - SsEW - RB 1
					1.0	NS2 - RB - SsEW - RB 2
					1.5	NS2 - RB - SsEW - RB 3
					2.0	NS2 - RB - SsEW - RB 4
					2.5	NS2 - RB - SsEW - RB 5
					3.0	NS2 - RB - SsEW - RB 6
					4.0	NS2 - RB - SsEW - RB 7
					5.0	NS2 - RB - SsEW - RB 8
			4, 18, 22	51.700	0.5	NS2 - RB - SsEW - RB 9
					1.0	NS2 - RB - SsEW - RB 10
					1.5	NS2 - RB - SsEW - RB 11
					2.0	NS2 - RB - SsEW - RB 12
					2.5	NS2 - RB - SsEW - RB 13
					3.0	NS2 - RB - SsEW - RB 14
					4.0	NS2 - RB - SsEW - RB 15
					5.0	NS2 - RB - SsEW - RB 16
			5, 11, 19, 23	42.800	0.5	NS2 - RB - SsEW - RB 17
					1.0	NS2 - RB - SsEW - RB 18
					1.5	NS2 - RB - SsEW - RB 19
					2.0	NS2 - RB - SsEW - RB 20
					2.5	NS2 - RB - SsEW - RB 21
					3.0	NS2 - RB - SsEW - RB 22
					4.0	NS2 - RB - SsEW - RB 23
					5.0	NS2 - RB - SsEW - RB 24
			6, 12, 20, 24, 29	34.800	0.5	NS2 - RB - SsEW - RB 25
					1.0	NS2 - RB - SsEW - RB 26
					1.5	NS2 - RB - SsEW - RB 27
					2.0	NS2 - RB - SsEW - RB 28
					2.5	NS2 - RB - SsEW - RB 29
					3.0	NS2 - RB - SsEW - RB 30
					4.0	NS2 - RB - SsEW - RB 31
					5.0	NS2 - RB - SsEW - RB 32
			7, 13, 21, 25, 30	30.500	0.5	NS2 - RB - SsEW - RB 33
					1.0	NS2 - RB - SsEW - RB 34
					1.5	NS2 - RB - SsEW - RB 35
					2.0	NS2 - RB - SsEW - RB 36
					2.5	NS2 - RB - SsEW - RB 37
					3.0	NS2 - RB - SsEW - RB 38
					4.0	NS2 - RB - SsEW - RB 39
					5.0	NS2 - RB - SsEW - RB 40
			13, 21	30.500 (燃料プール)	0.5	NS2 - RB - SsEW - RB 41
					1.0	NS2 - RB - SsEW - RB 42
					1.5	NS2 - RB - SsEW - RB 43
					2.0	NS2 - RB - SsEW - RB 44
					2.5	NS2 - RB - SsEW - RB 45
					3.0	NS2 - RB - SsEW - RB 46
					4.0	NS2 - RB - SsEW - RB 47
					5.0	NS2 - RB - SsEW - RB 48

表 4.4-1 設計用床応答スペクトル (S_s) 一覧表 (原子炉建物) (4/6)

地震波	建物機器	方向	質点番号	標高 EL (m)	減衰定数 (%)	図番
S _s	原子炉建物	EW 方向	8, 14, 26, 31	23.800	0.5	NS2 - RB - S _s EW - RB 49
					1.0	NS2 - RB - S _s EW - RB 50
					1.5	NS2 - RB - S _s EW - RB 51
					2.0	NS2 - RB - S _s EW - RB 52
					2.5	NS2 - RB - S _s EW - RB 53
					3.0	NS2 - RB - S _s EW - RB 54
					4.0	NS2 - RB - S _s EW - RB 55
			5.0	NS2 - RB - S _s EW - RB 56		
			1, 9, 15, 27, 32	15.300	0.5	NS2 - RB - S _s EW - RB 57
					1.0	NS2 - RB - S _s EW - RB 58
					1.5	NS2 - RB - S _s EW - RB 59
					2.0	NS2 - RB - S _s EW - RB 60
					2.5	NS2 - RB - S _s EW - RB 61
					3.0	NS2 - RB - S _s EW - RB 62
					4.0	NS2 - RB - S _s EW - RB 63
			5.0	NS2 - RB - S _s EW - RB 64		
			16	10.100	0.5	NS2 - RB - S _s EW - RB 65
					1.0	NS2 - RB - S _s EW - RB 66
					1.5	NS2 - RB - S _s EW - RB 67
					2.0	NS2 - RB - S _s EW - RB 68
					2.5	NS2 - RB - S _s EW - RB 69
					3.0	NS2 - RB - S _s EW - RB 70
					4.0	NS2 - RB - S _s EW - RB 71
			5.0	NS2 - RB - S _s EW - RB 72		
			2, 10, 28, 33	8.800	0.5	NS2 - RB - S _s EW - RB 73
					1.0	NS2 - RB - S _s EW - RB 74
					1.5	NS2 - RB - S _s EW - RB 75
					2.0	NS2 - RB - S _s EW - RB 76
					2.5	NS2 - RB - S _s EW - RB 77
					3.0	NS2 - RB - S _s EW - RB 78
					4.0	NS2 - RB - S _s EW - RB 79
			5.0	NS2 - RB - S _s EW - RB 80		
			34	1.300	0.5	NS2 - RB - S _s EW - RB 81
					1.0	NS2 - RB - S _s EW - RB 82
					1.5	NS2 - RB - S _s EW - RB 83
					2.0	NS2 - RB - S _s EW - RB 84
					2.5	NS2 - RB - S _s EW - RB 85
					3.0	NS2 - RB - S _s EW - RB 86
					4.0	NS2 - RB - S _s EW - RB 87
			5.0	NS2 - RB - S _s EW - RB 88		
			35	-4.700	0.5	NS2 - RB - S _s EW - RB 89
					1.0	NS2 - RB - S _s EW - RB 90
					1.5	NS2 - RB - S _s EW - RB 91
					2.0	NS2 - RB - S _s EW - RB 92
					2.5	NS2 - RB - S _s EW - RB 93
3.0	NS2 - RB - S _s EW - RB 94					
4.0	NS2 - RB - S _s EW - RB 95					
5.0	NS2 - RB - S _s EW - RB 96					

赤枠部：今回の提出範囲

表 4.4-1 設計用床応答スペクトル (S_s) 一覧表 (原子炉建物) (5/6)

地震波	建物機器	方向	質点番号	標高 EL(m)	減衰定数(%)	図番
S _s	原子炉建物	鉛直方向	7	63.500	0.5	NS2 - RB - S _s V - RB 1
					1.0	NS2 - RB - S _s V - RB 2
					1.5	NS2 - RB - S _s V - RB 3
					2.0	NS2 - RB - S _s V - RB 4
					2.5	NS2 - RB - S _s V - RB 5
					3.0	NS2 - RB - S _s V - RB 6
					4.0	NS2 - RB - S _s V - RB 7
			8	51.700	5.0	NS2 - RB - S _s V - RB 8
					0.5	NS2 - RB - S _s V - RB 9
					1.0	NS2 - RB - S _s V - RB 10
					1.5	NS2 - RB - S _s V - RB 11
					2.0	NS2 - RB - S _s V - RB 12
					2.5	NS2 - RB - S _s V - RB 13
					3.0	NS2 - RB - S _s V - RB 14
			9, 17	42.800	4.0	NS2 - RB - S _s V - RB 15
					5.0	NS2 - RB - S _s V - RB 16
					0.5	NS2 - RB - S _s V - RB 17
					1.0	NS2 - RB - S _s V - RB 18
					1.5	NS2 - RB - S _s V - RB 19
					2.0	NS2 - RB - S _s V - RB 20
					2.5	NS2 - RB - S _s V - RB 21
			1, 10, 18	34.800	3.0	NS2 - RB - S _s V - RB 22
					4.0	NS2 - RB - S _s V - RB 23
					5.0	NS2 - RB - S _s V - RB 24
					0.5	NS2 - RB - S _s V - RB 25
					1.0	NS2 - RB - S _s V - RB 26
					1.5	NS2 - RB - S _s V - RB 27
					2.0	NS2 - RB - S _s V - RB 28
			2, 11, 19	30.500	2.5	NS2 - RB - S _s V - RB 29
					3.0	NS2 - RB - S _s V - RB 30
					4.0	NS2 - RB - S _s V - RB 31
					5.0	NS2 - RB - S _s V - RB 32
					0.5	NS2 - RB - S _s V - RB 33
					1.0	NS2 - RB - S _s V - RB 34
					1.5	NS2 - RB - S _s V - RB 35
			11, 19	30.500 (燃料プール)	2.0	NS2 - RB - S _s V - RB 36
					2.5	NS2 - RB - S _s V - RB 37
					3.0	NS2 - RB - S _s V - RB 38
					4.0	NS2 - RB - S _s V - RB 39
					5.0	NS2 - RB - S _s V - RB 40
					0.5	NS2 - RB - S _s V - RB 41
					1.0	NS2 - RB - S _s V - RB 42
					1.5	NS2 - RB - S _s V - RB 43
					2.0	NS2 - RB - S _s V - RB 44
					2.5	NS2 - RB - S _s V - RB 45
					3.0	NS2 - RB - S _s V - RB 46
					4.0	NS2 - RB - S _s V - RB 47
					5.0	NS2 - RB - S _s V - RB 48

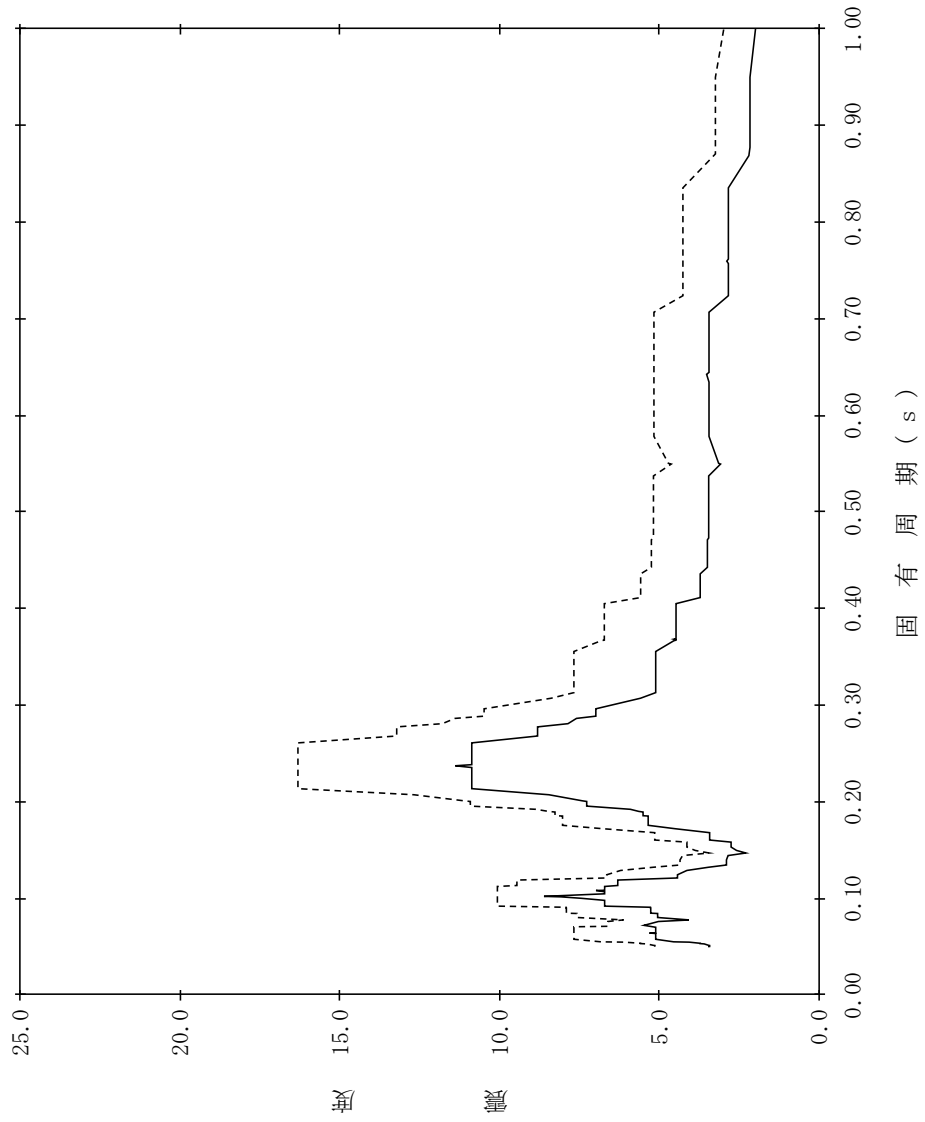
表 4.4-1 設計用床応答スペクトル (S s) 一覧表 (原子炉建物) (6/6)

地震波	建物機器	方向	質点番号	標高 EL(m)	減衰定数(%)	図番
S s	原子炉建物	鉛直方向	3, 12, 20	23.800	0.5	NS2 - RB - SsV - RB 49
					1.0	NS2 - RB - SsV - RB 50
					1.5	NS2 - RB - SsV - RB 51
					2.0	NS2 - RB - SsV - RB 52
					2.5	NS2 - RB - SsV - RB 53
					3.0	NS2 - RB - SsV - RB 54
					4.0	NS2 - RB - SsV - RB 55
			5.0	NS2 - RB - SsV - RB 56		
			4, 13, 21	15.300	0.5	NS2 - RB - SsV - RB 57
					1.0	NS2 - RB - SsV - RB 58
					1.5	NS2 - RB - SsV - RB 59
					2.0	NS2 - RB - SsV - RB 60
					2.5	NS2 - RB - SsV - RB 61
					3.0	NS2 - RB - SsV - RB 62
					4.0	NS2 - RB - SsV - RB 63
			5.0	NS2 - RB - SsV - RB 64		
			22	10.100	0.5	NS2 - RB - SsV - RB 65
					1.0	NS2 - RB - SsV - RB 66
					1.5	NS2 - RB - SsV - RB 67
					2.0	NS2 - RB - SsV - RB 68
					2.5	NS2 - RB - SsV - RB 69
					3.0	NS2 - RB - SsV - RB 70
					4.0	NS2 - RB - SsV - RB 71
			5.0	NS2 - RB - SsV - RB 72		
			5, 14	8.800	0.5	NS2 - RB - SsV - RB 73
					1.0	NS2 - RB - SsV - RB 74
					1.5	NS2 - RB - SsV - RB 75
					2.0	NS2 - RB - SsV - RB 76
					2.5	NS2 - RB - SsV - RB 77
					3.0	NS2 - RB - SsV - RB 78
					4.0	NS2 - RB - SsV - RB 79
			5.0	NS2 - RB - SsV - RB 80		
			6, 15, 23	1.300	0.5	NS2 - RB - SsV - RB 81
					1.0	NS2 - RB - SsV - RB 82
					1.5	NS2 - RB - SsV - RB 83
					2.0	NS2 - RB - SsV - RB 84
					2.5	NS2 - RB - SsV - RB 85
					3.0	NS2 - RB - SsV - RB 86
					4.0	NS2 - RB - SsV - RB 87
			5.0	NS2 - RB - SsV - RB 88		
			16	-4.700	0.5	NS2 - RB - SsV - RB 89
					1.0	NS2 - RB - SsV - RB 90
					1.5	NS2 - RB - SsV - RB 91
					2.0	NS2 - RB - SsV - RB 92
					2.5	NS2 - RB - SsV - RB 93
					3.0	NS2 - RB - SsV - RB 94
					4.0	NS2 - RB - SsV - RB 95
			5.0	NS2 - RB - SsV - RB 96		

赤枠部：今回の提出範囲

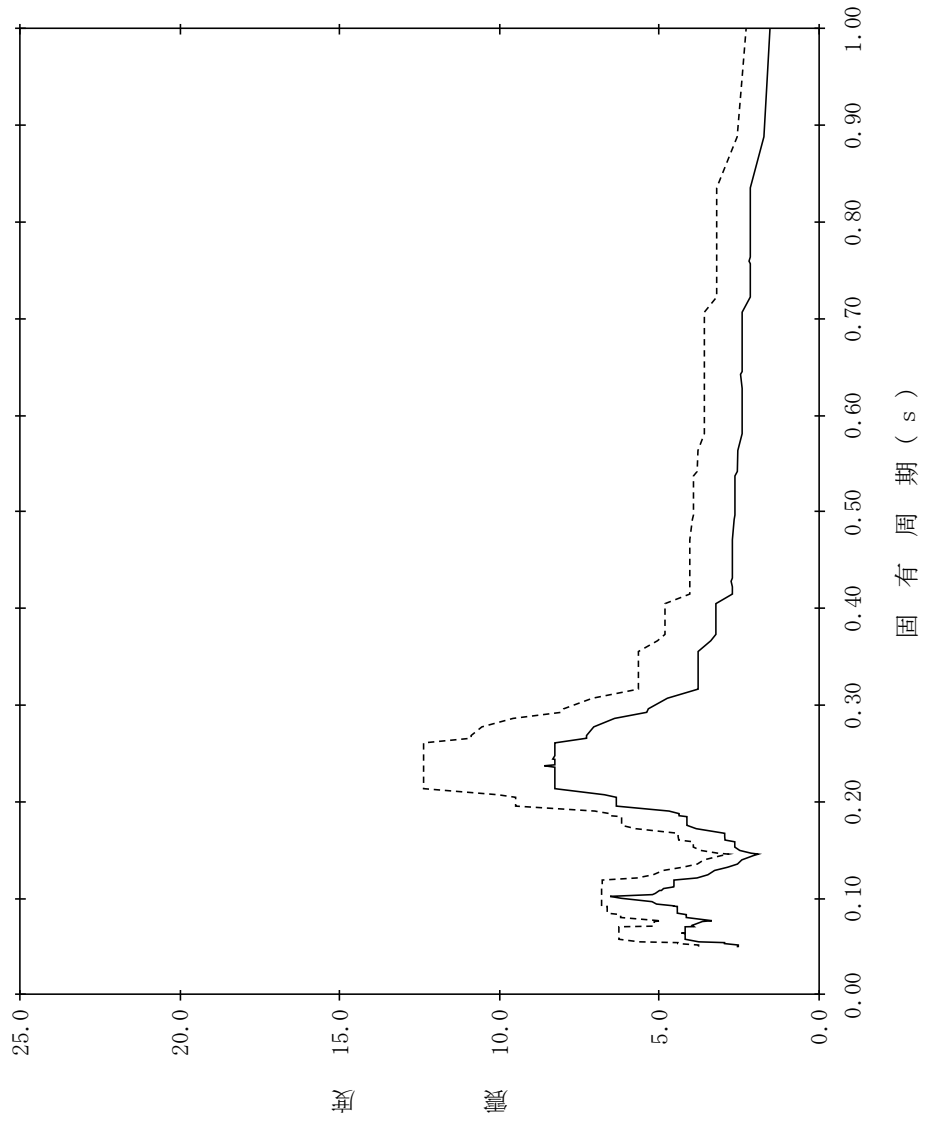
【NS2-RB-SsNS-RB49】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：0.5%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (NS方向)
 設計用床応答スペクトル II (NS方向)



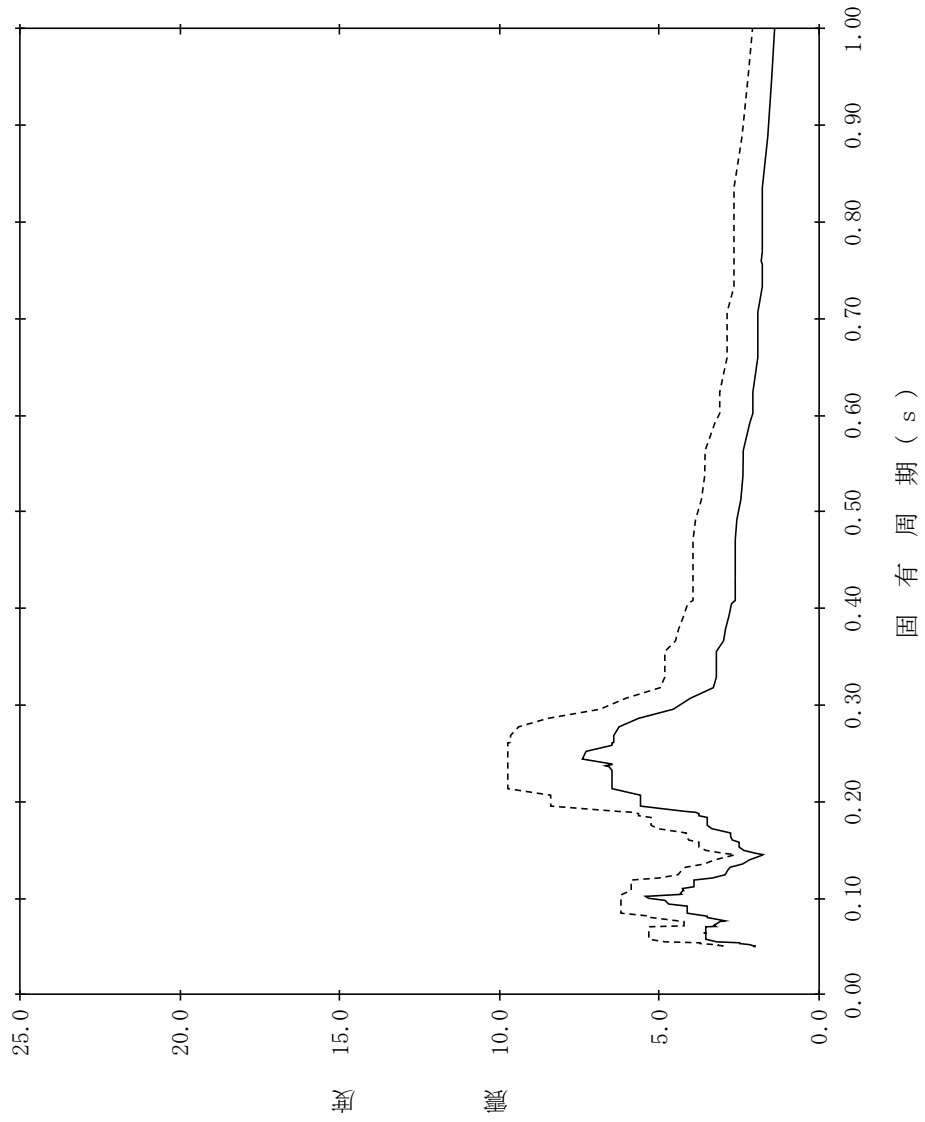
【NS2-RB-SsNS-RB50】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：1.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (NS方向)
 設計用床応答スペクトル II (NS方向)



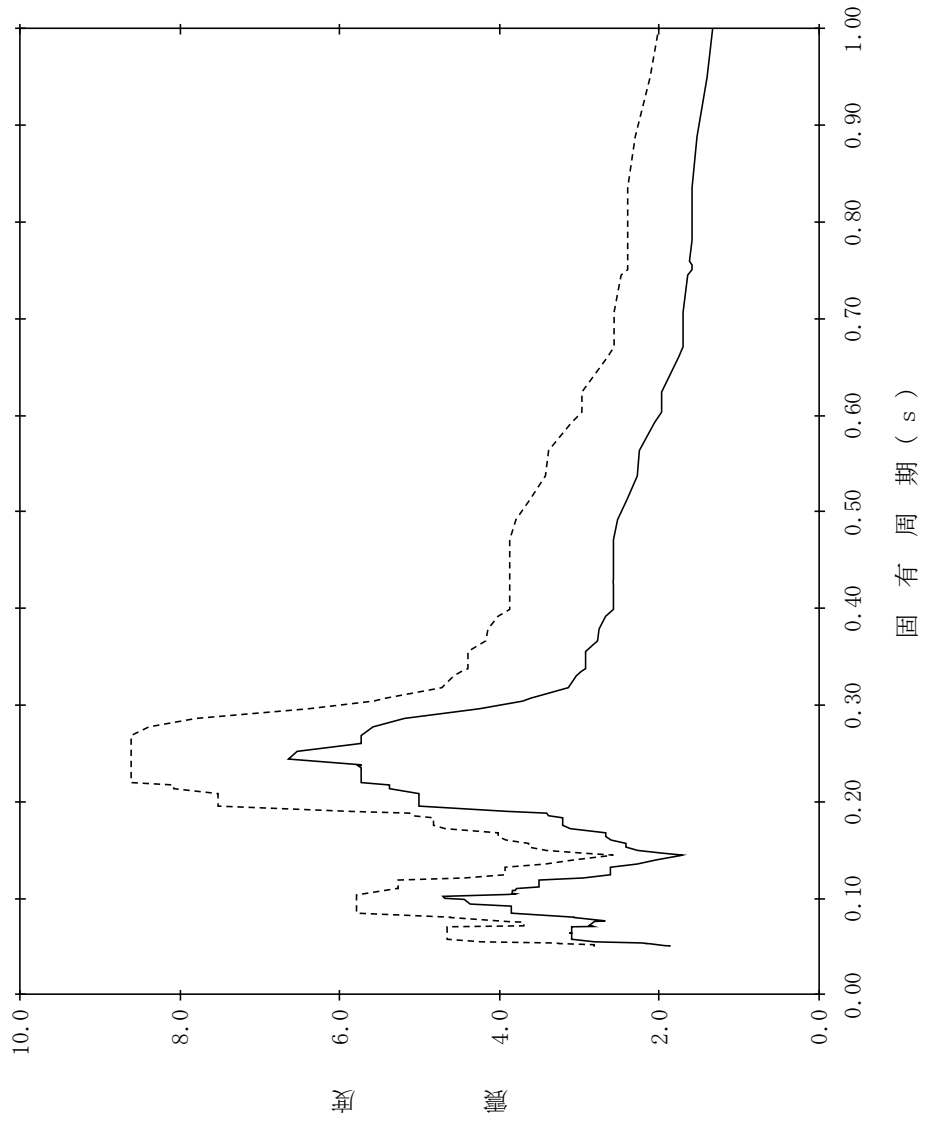
【NS2-RB-SsNS-RB51】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：1.5%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (NS方向)
 設計用床応答スペクトル II (NS方向)



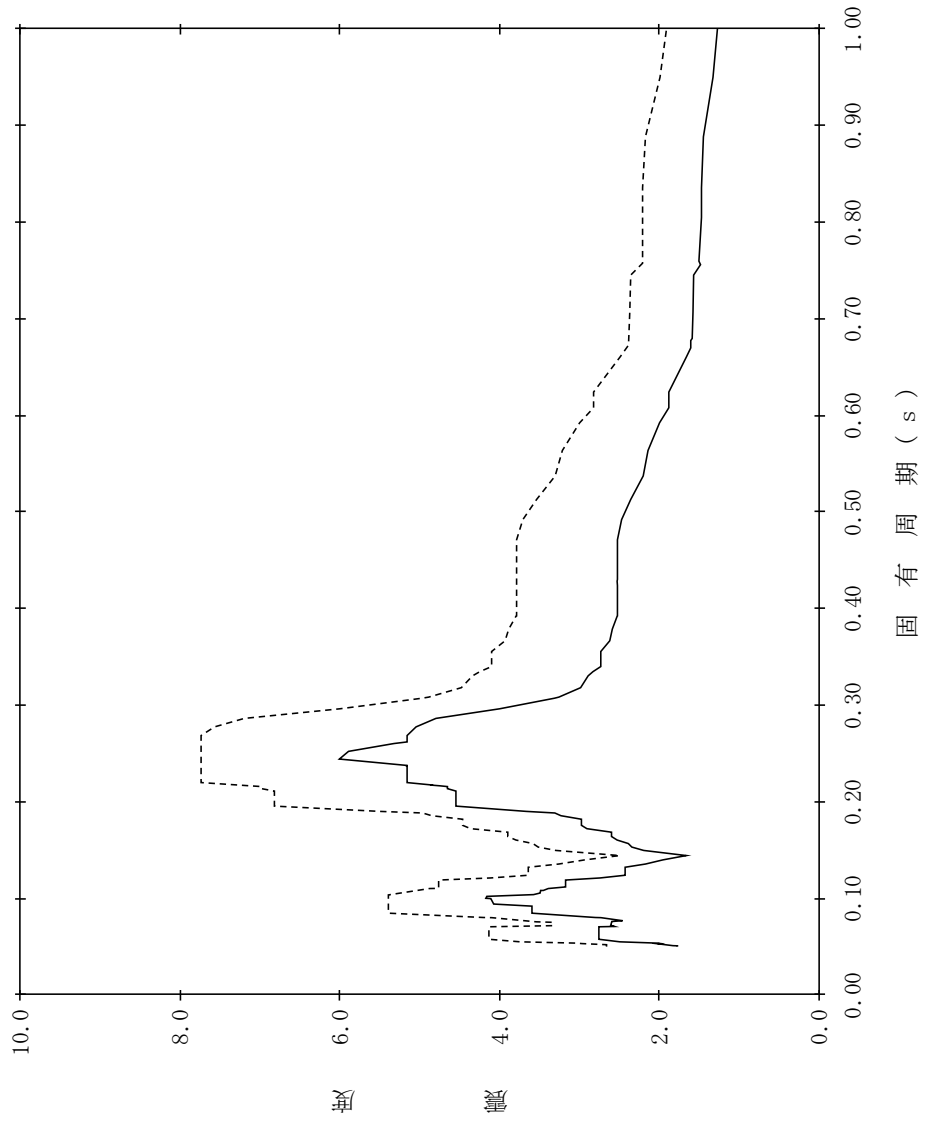
【NS2-RB-SsNS-RB52】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：2.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (NS方向)
 設計用床応答スペクトル II (NS方向)



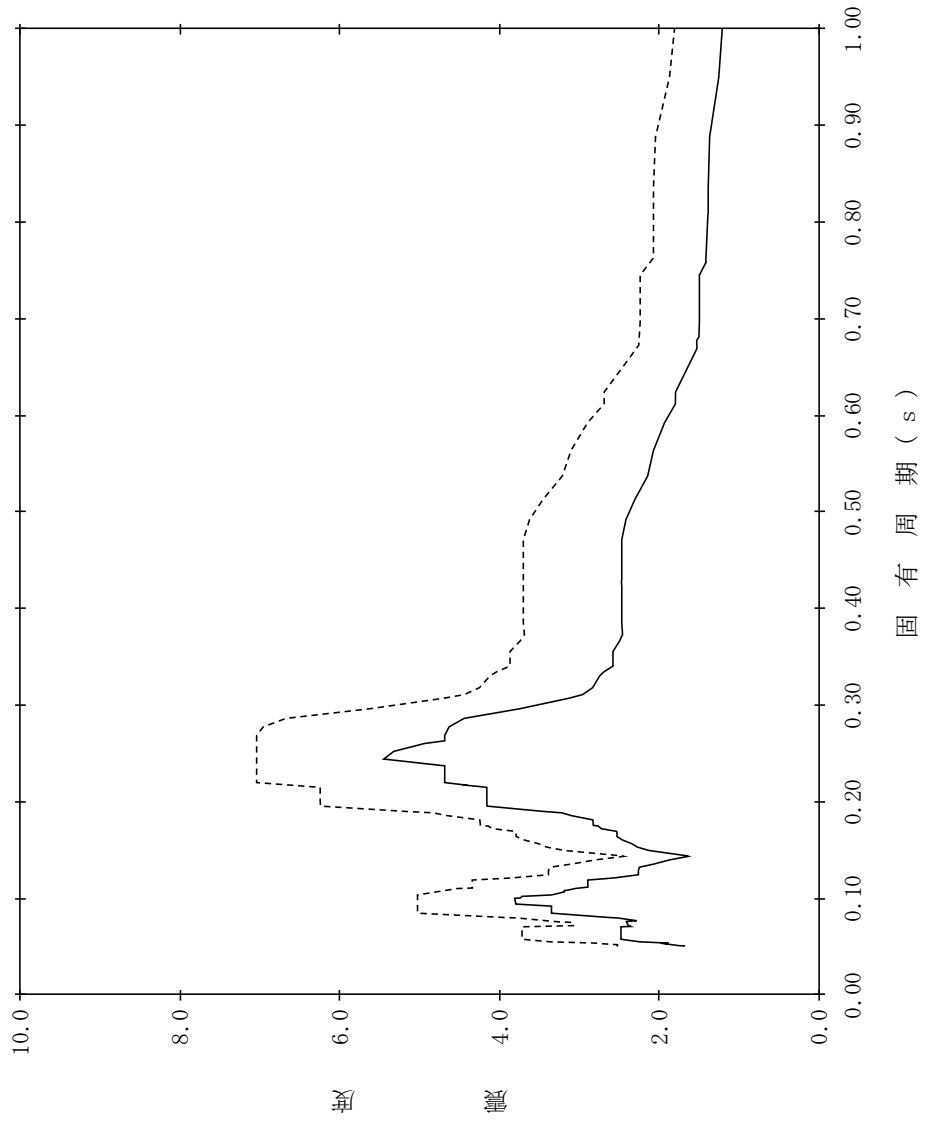
【NS2-RB-SsNS-RB53】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：2.5%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (NS方向)
 設計用床応答スペクトル II (NS方向)



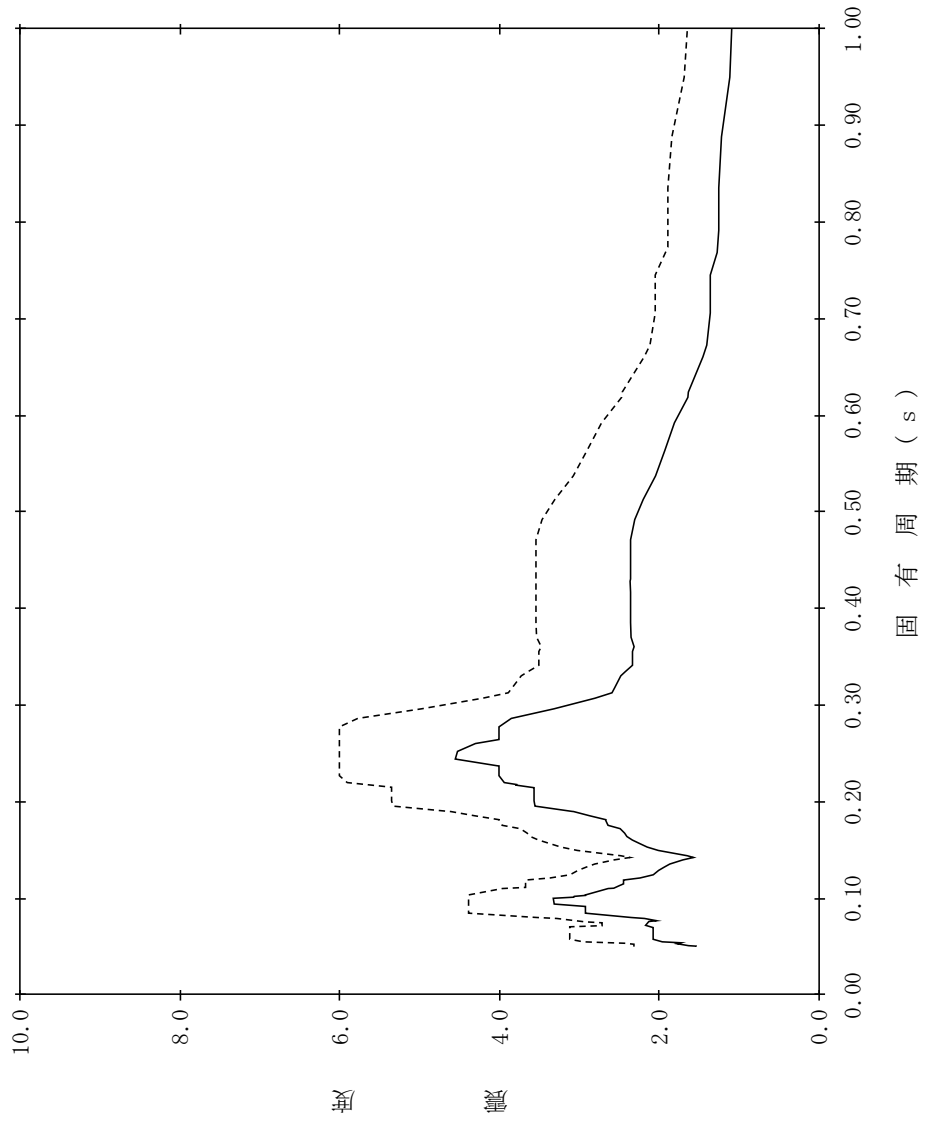
【NS2-RB-SsNS-RB54】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：3.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (NS方向)
 設計用床応答スペクトル II (NS方向)



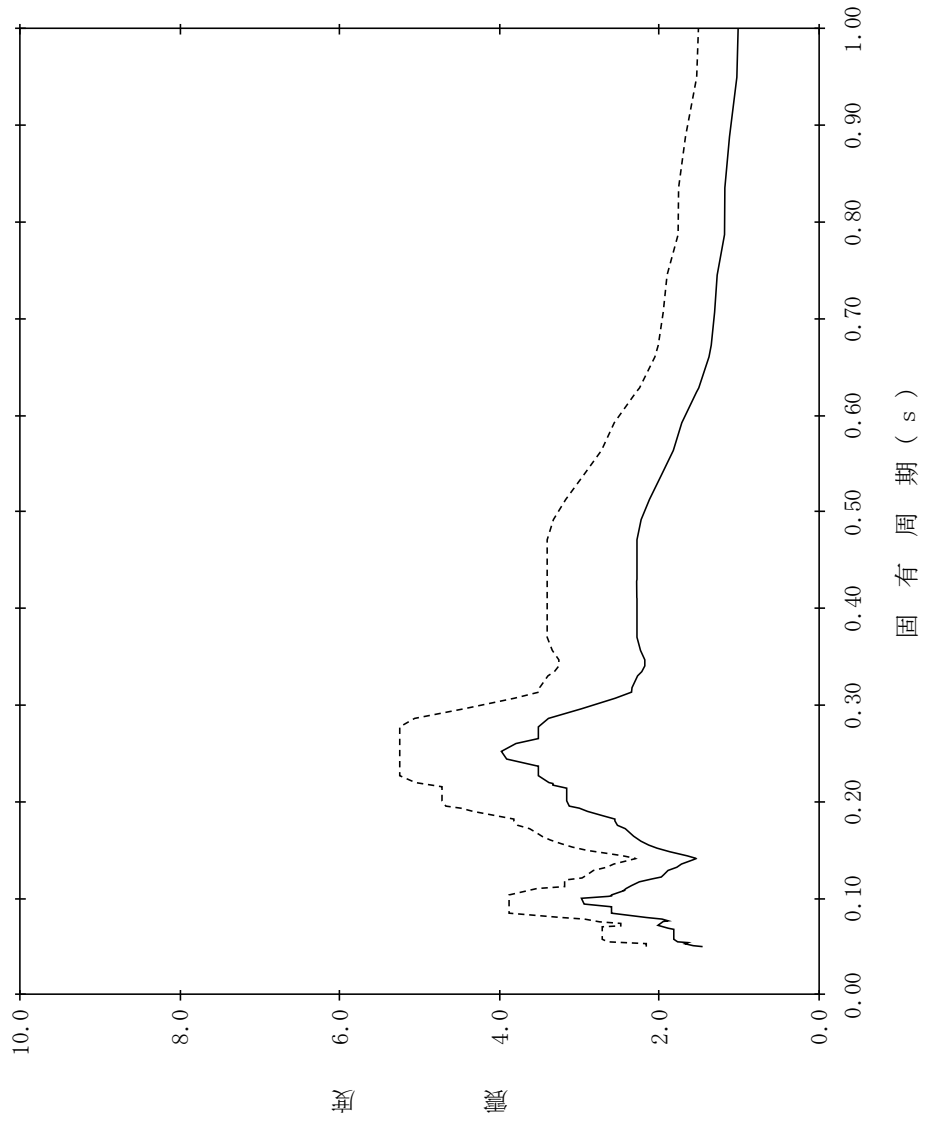
【NS2-RB-SsNS-RB55】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：4.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (NS方向)
 設計用床応答スペクトル II (NS方向)

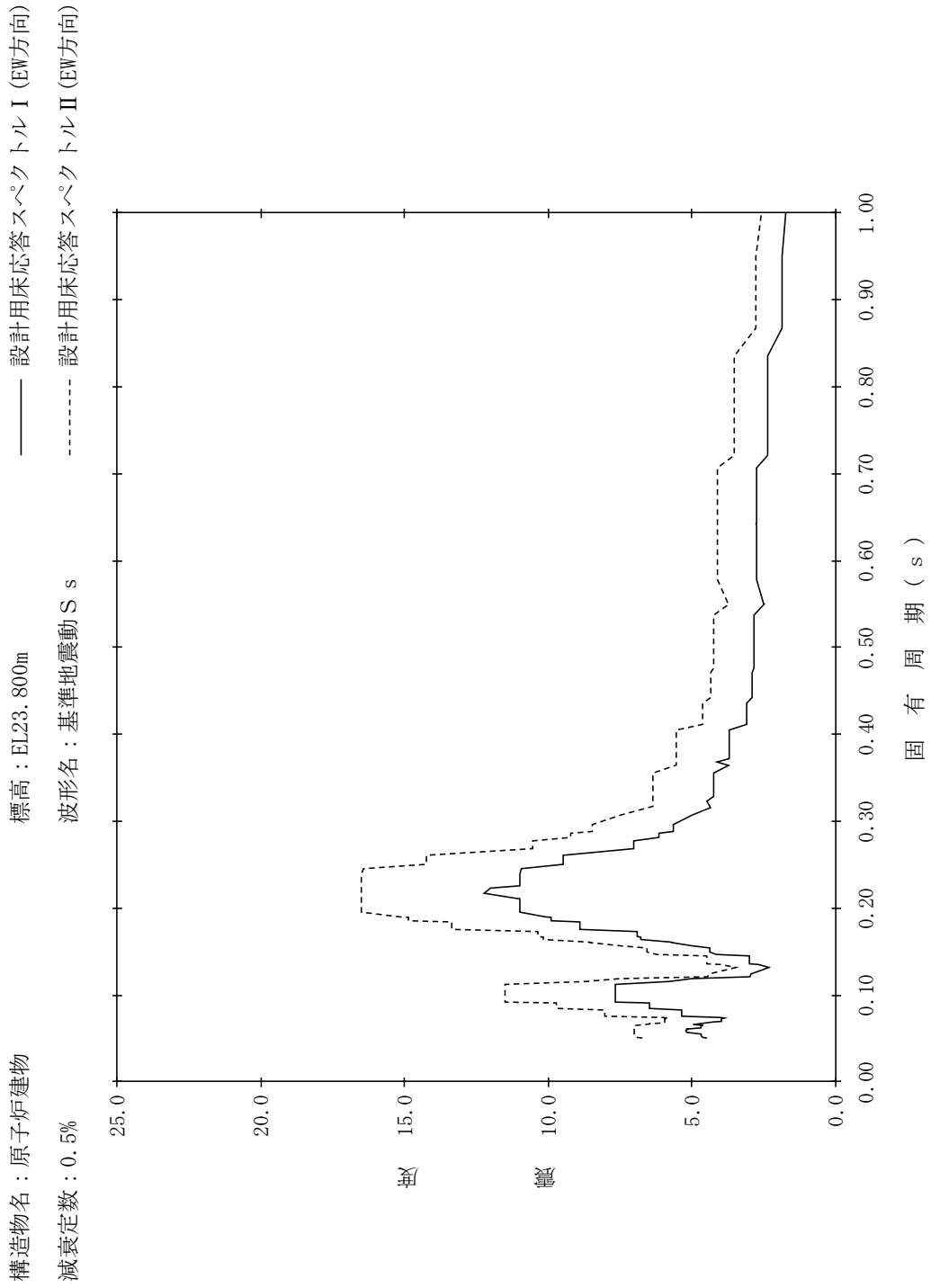


【NS2-RB-SsNS-RB56】

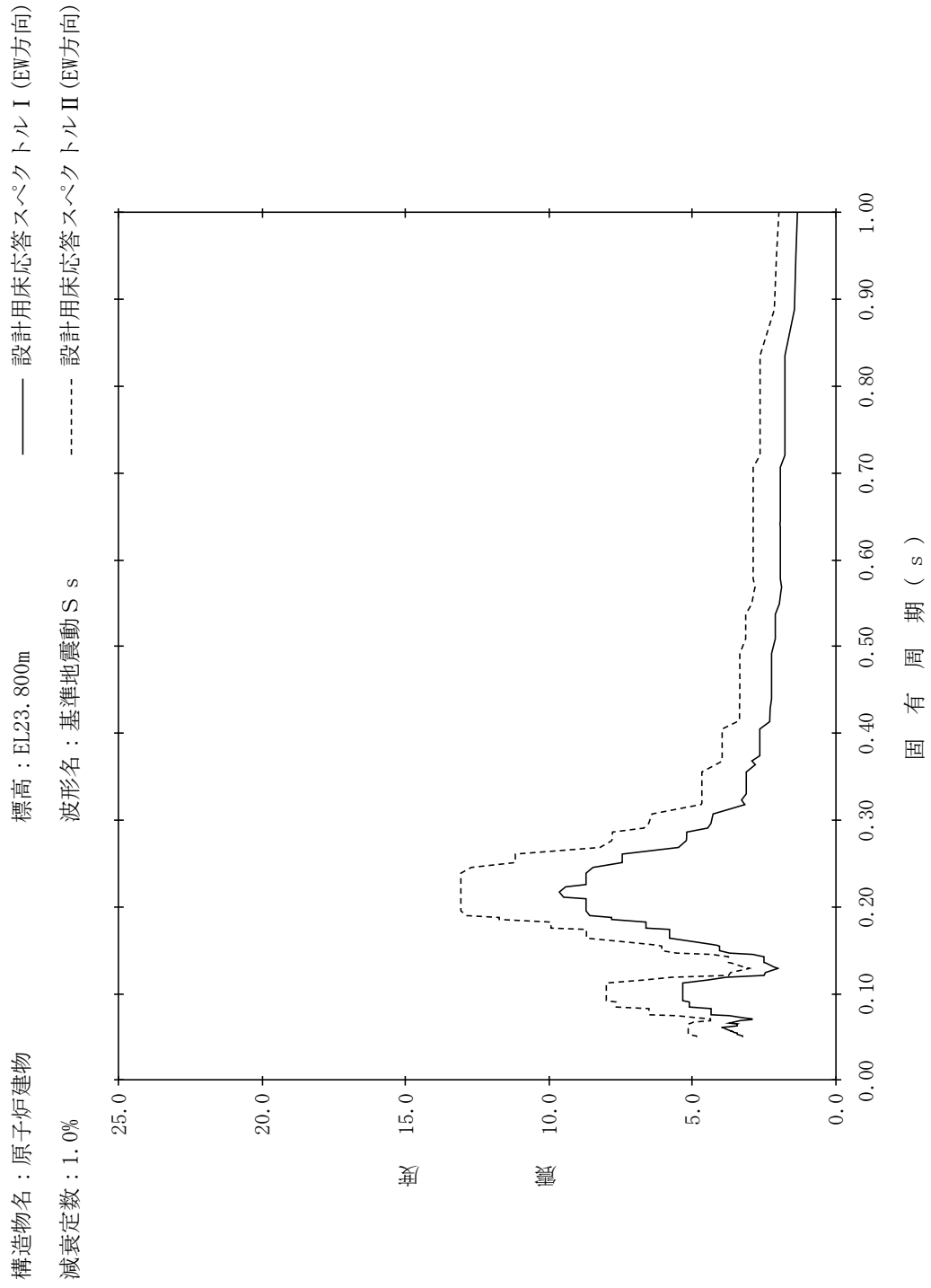
構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：5.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (NS方向)
 設計用床応答スペクトル II (NS方向)



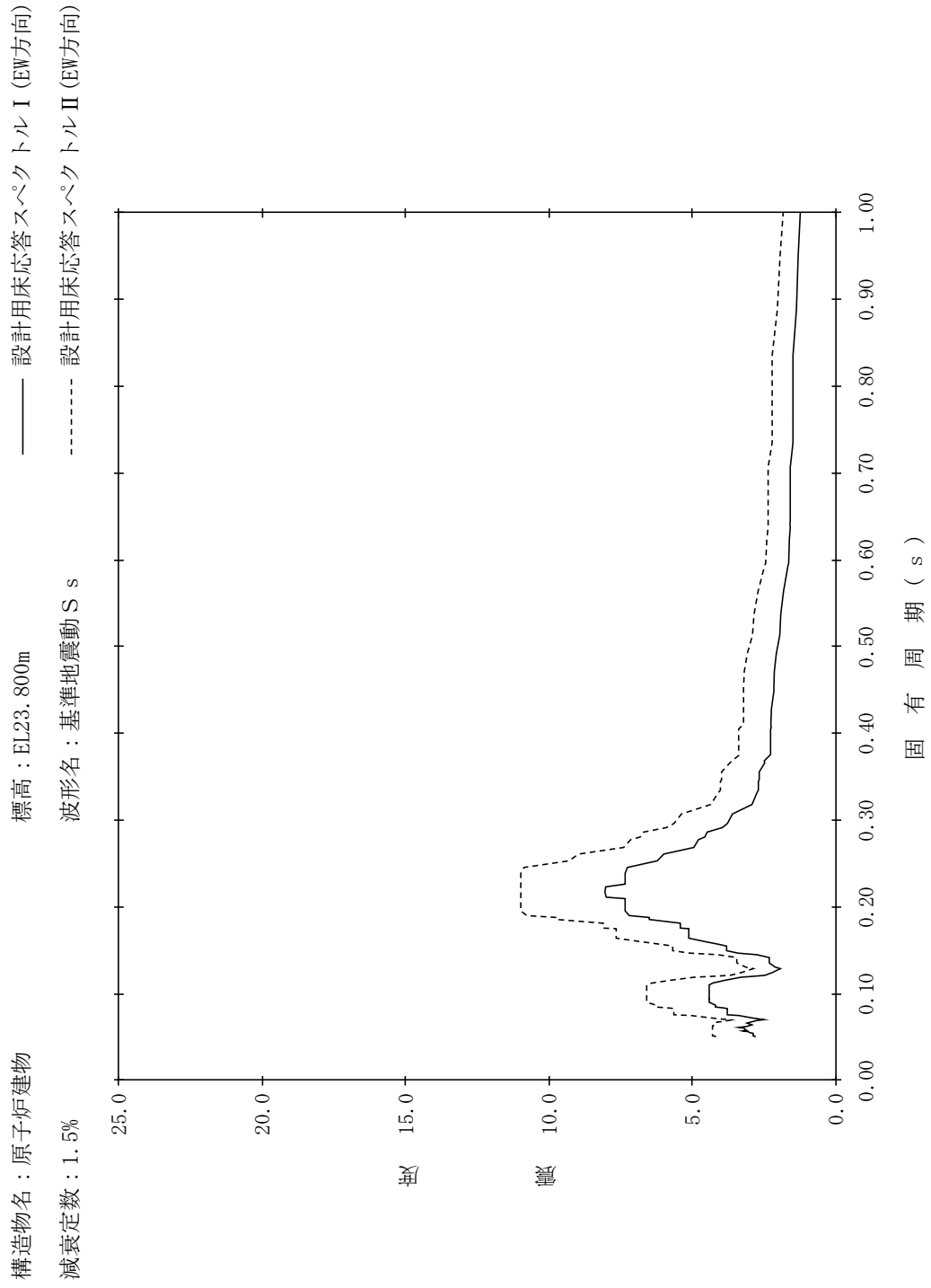
【NS2-RB-SsEW-RB49】



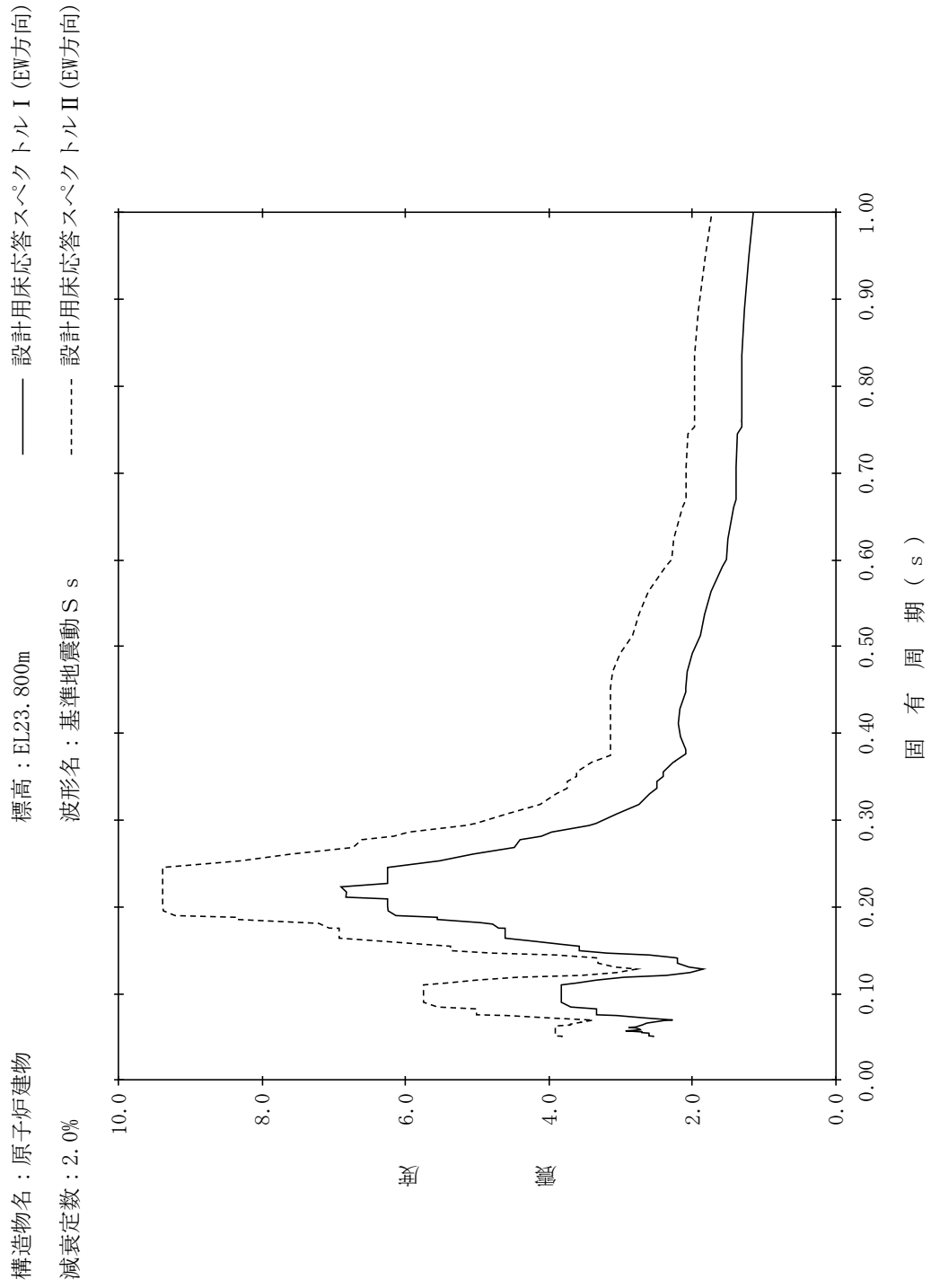
【NS2-RB-SsEW-RB50】



【NS2-RB-SsEW-RB51】

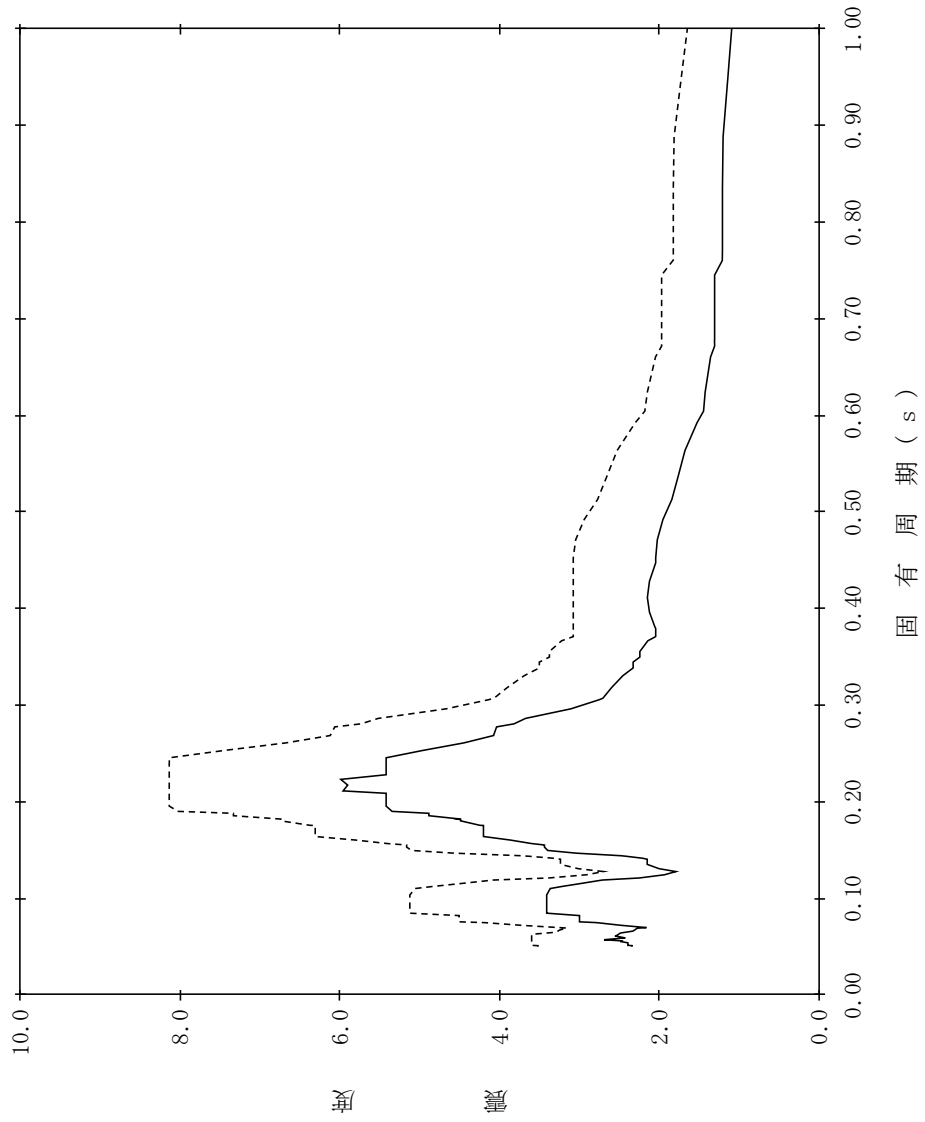


【NS2-RB-SsEW-RB52】



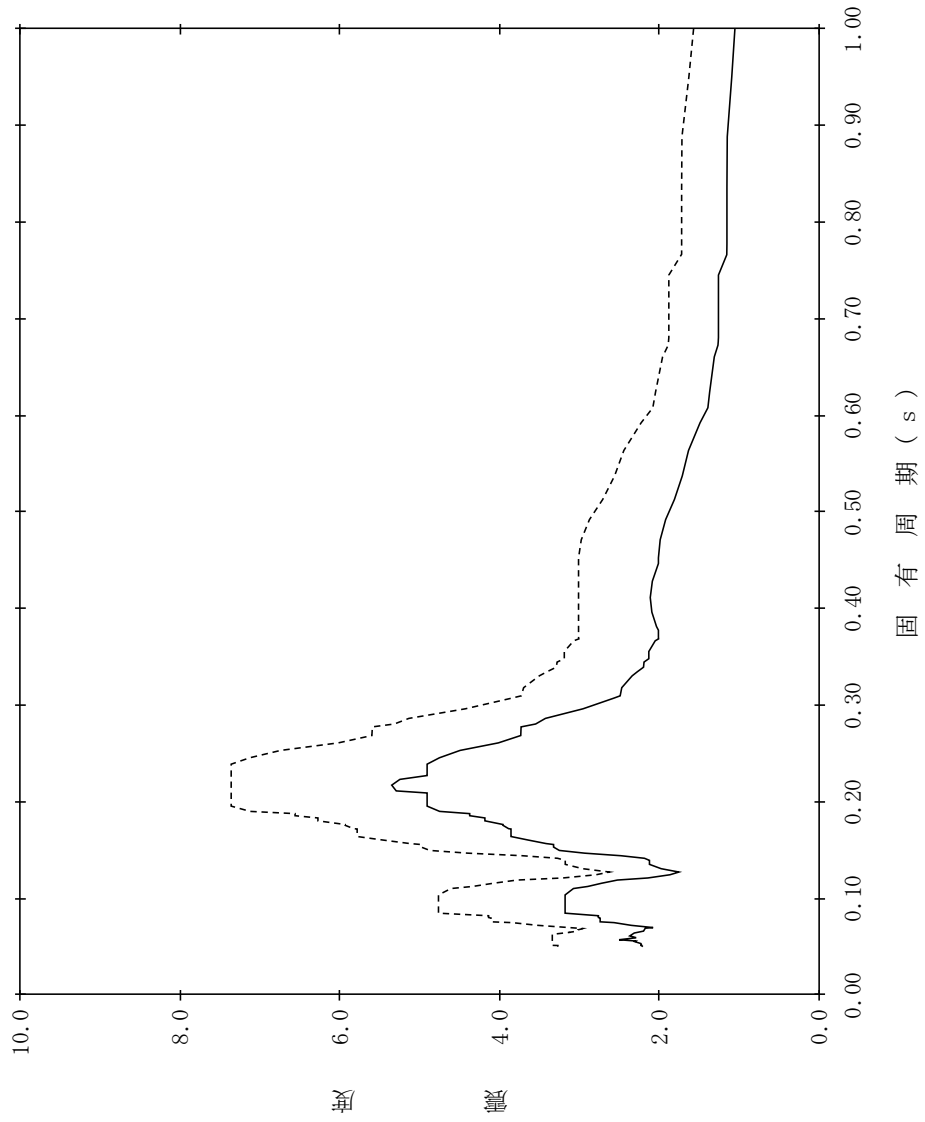
【NS2-RB-SsEW-RB53】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：2.5%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (EW方向)
 設計用床応答スペクトル II (EW方向)



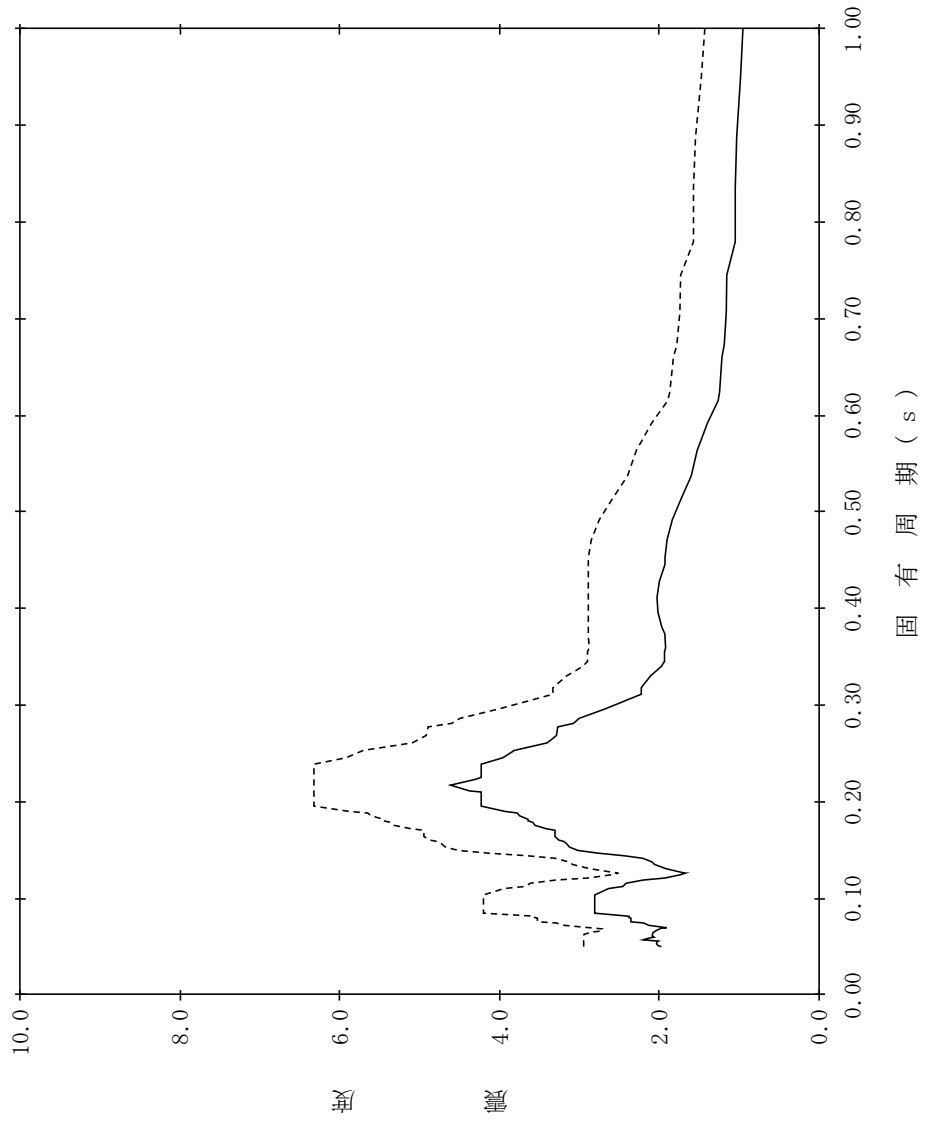
【NS2-RB-SsEW-RB54】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：3.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (EW方向)
 設計用床応答スペクトル II (EW方向)



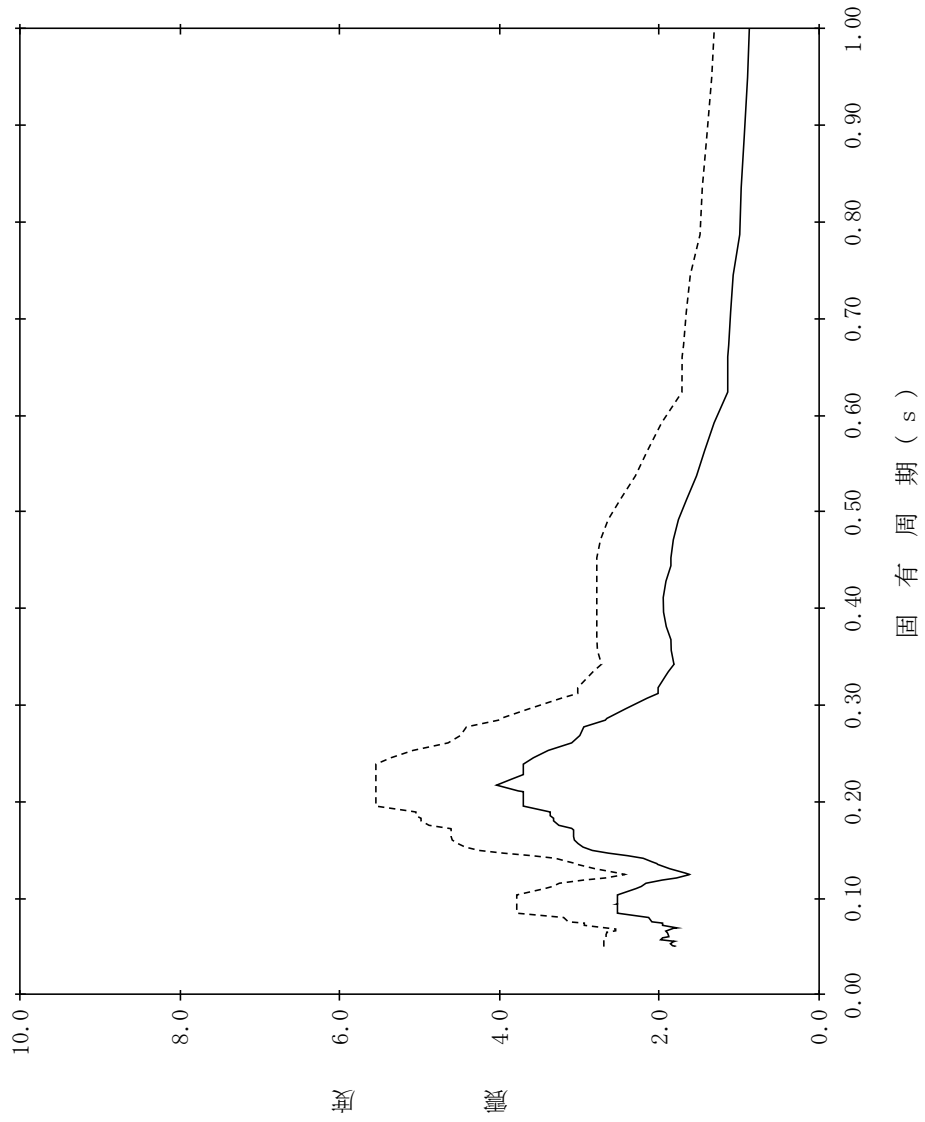
【NS2-RB-SsEW-RB55】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：4.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (EW方向)
 設計用床応答スペクトル II (EW方向)

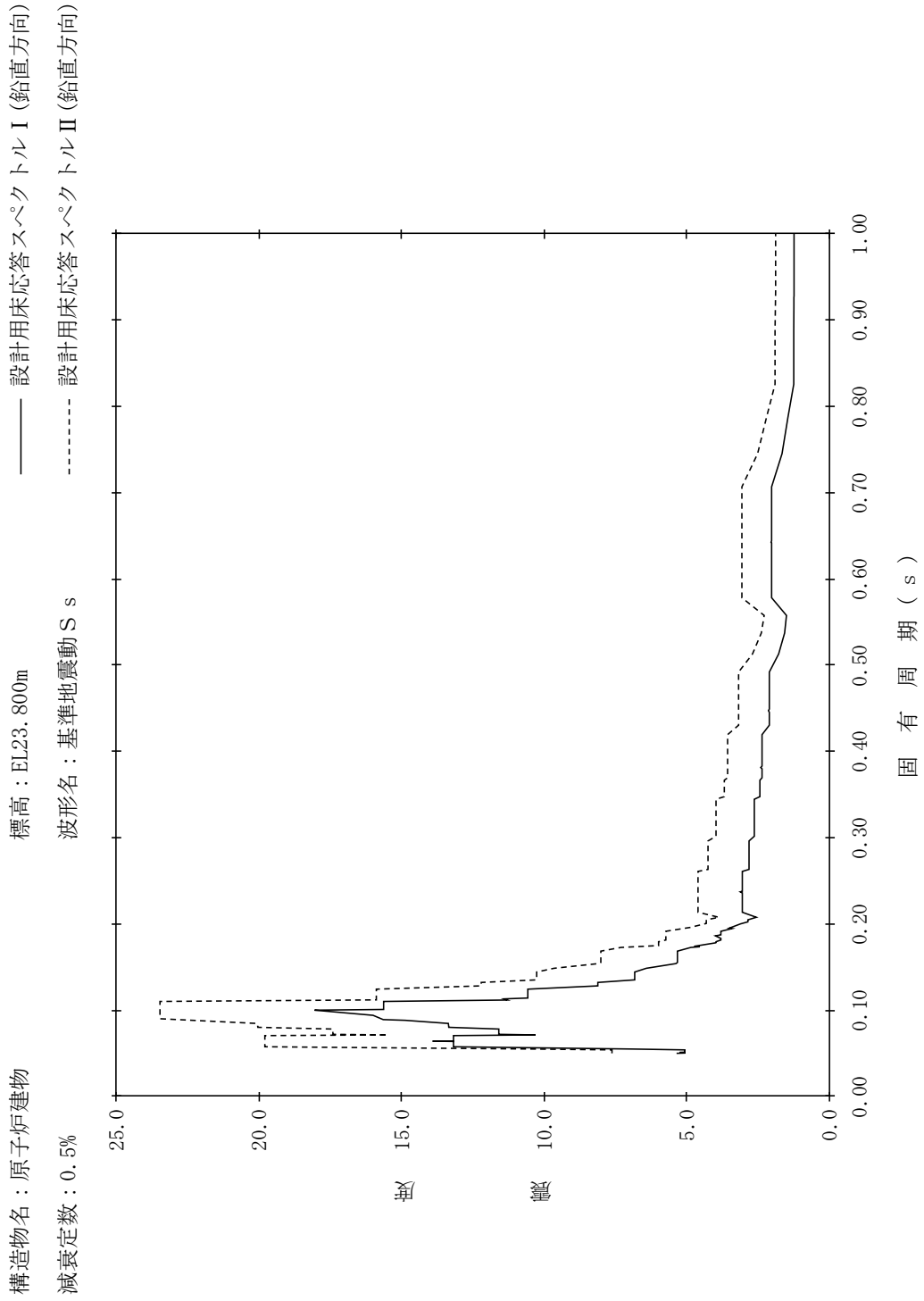


【NS2-RB-SsEW-RB56】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：5.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (EW方向)
 設計用床応答スペクトル II (EW方向)

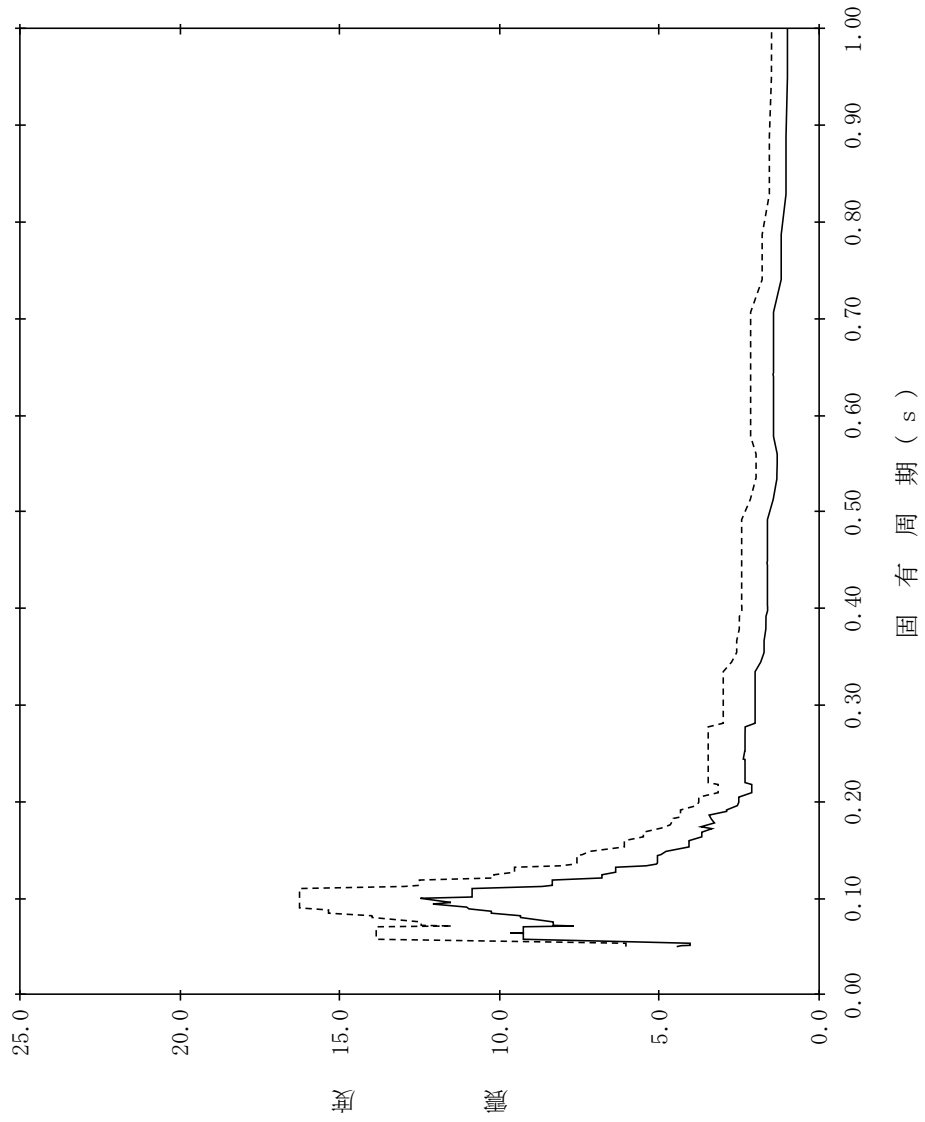


【NS2-RB-SsV-RB49】

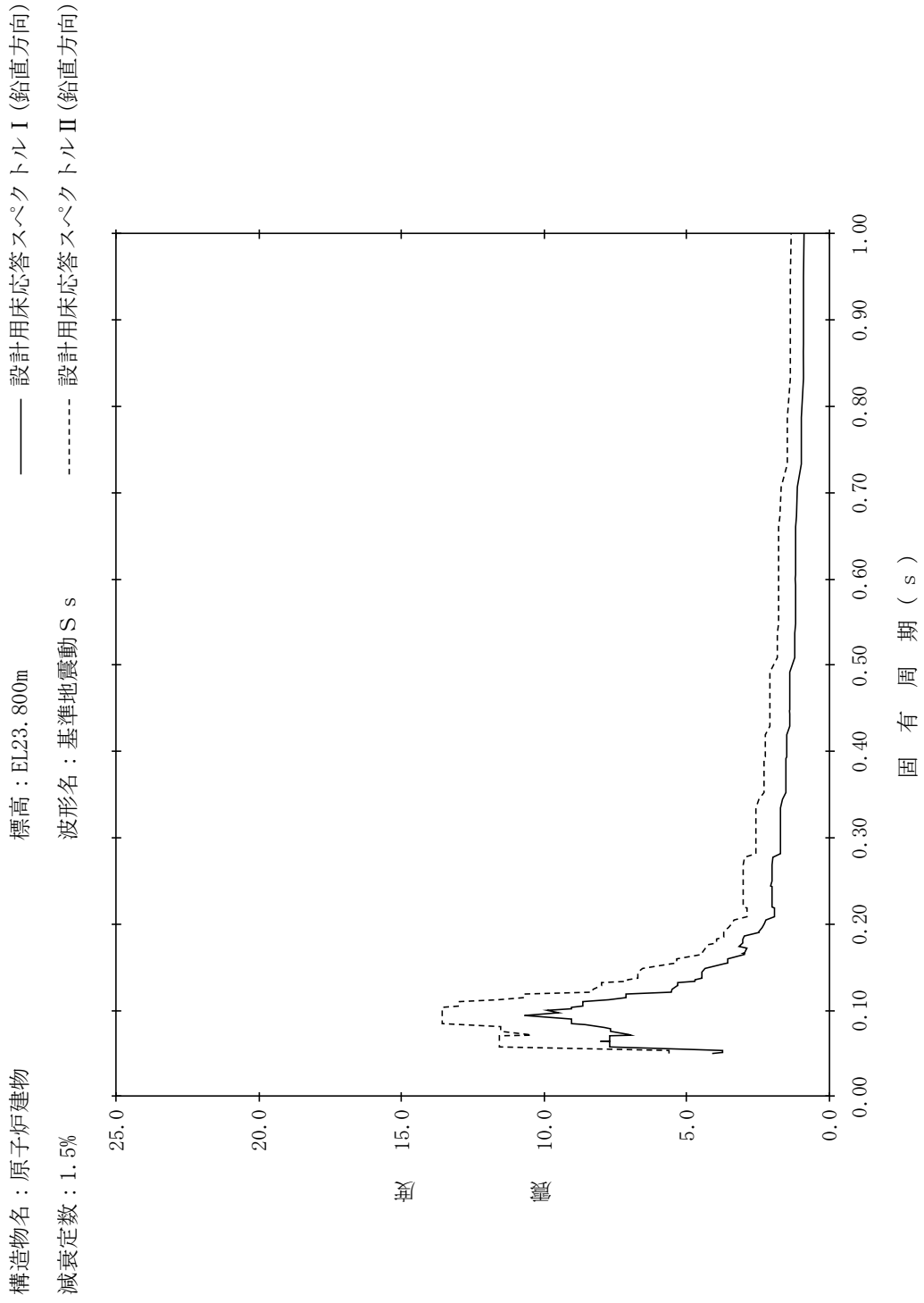


【NS2-RB-SsV-RB50】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：1.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)

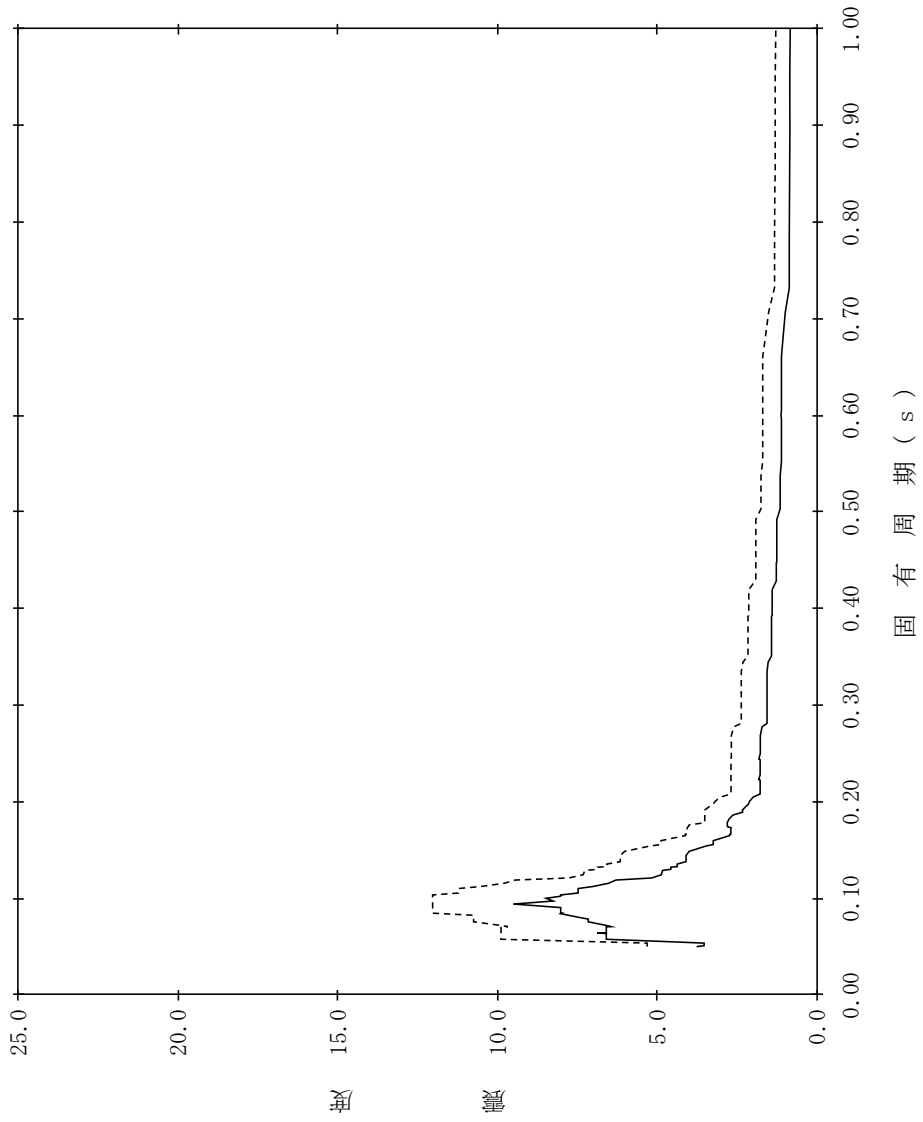


【NS2-RB-SsV-RB51】



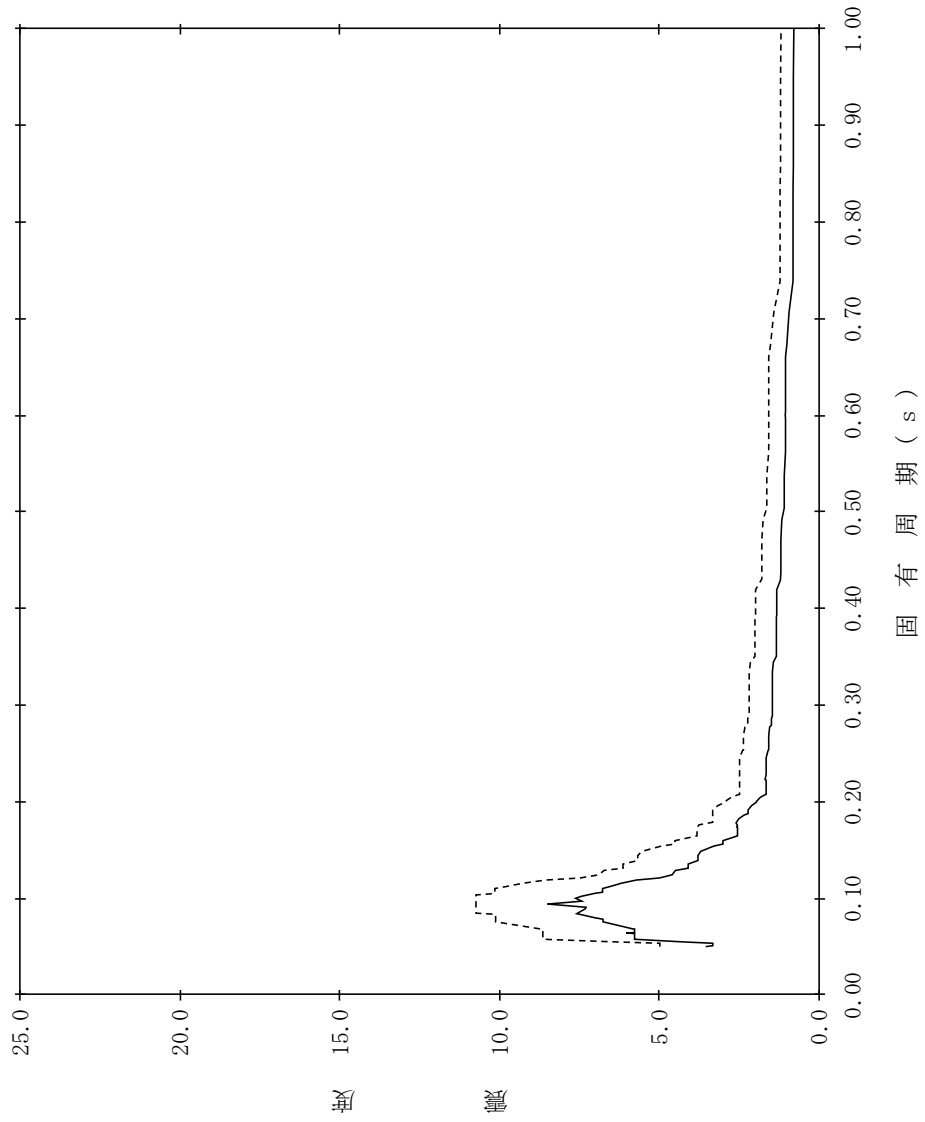
【NS2-RB-SsV-RB52】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：2.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)



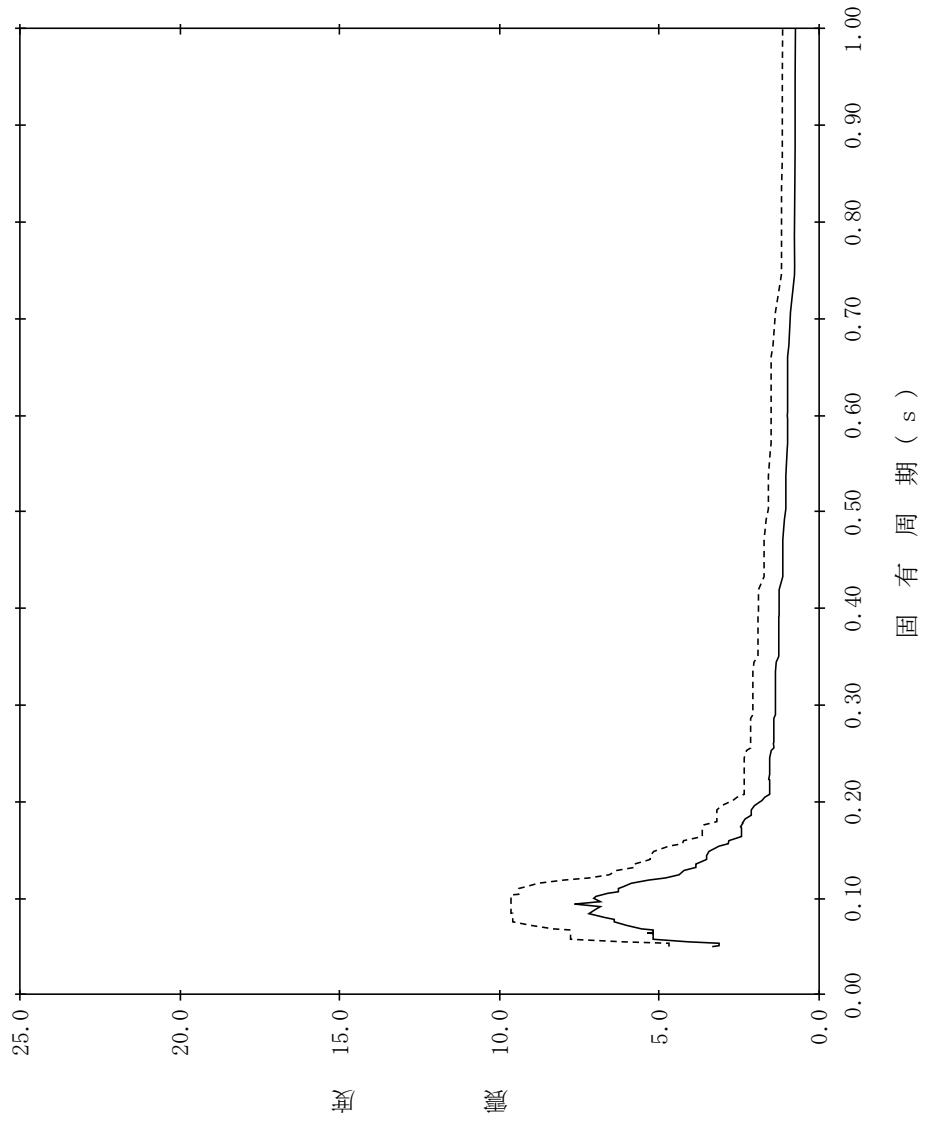
【NS2-RB-SsV-RB53】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：2.5%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)



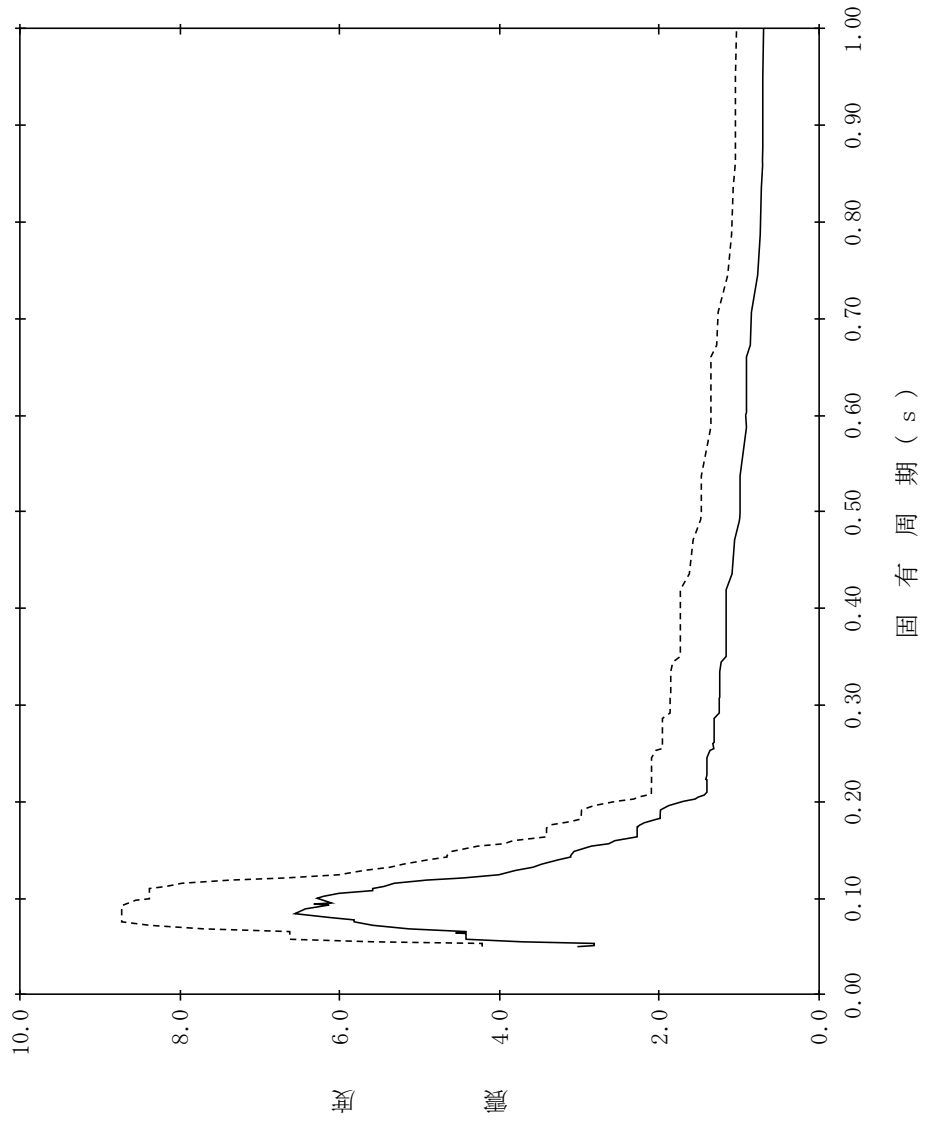
【NS2-RB-SsV-RB54】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：3.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)



【NS2-RB-SsV-RB55】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：4.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)



【NS2-RB-SsV-RB56】

構造物名：原子炉建物
 標高：EL23.800m
 減衰定数：5.0%
 波形名：基準地震動 S s
 設計用床応答スペクトル I (鉛直方向)
 設計用床応答スペクトル II (鉛直方向)

